

消 防 年 報

2026年(令和8年)版



南消防署辻堂出張所配置・30m級梯子付消防自動車

藤 沢 市 消 防 局



藤 沢 市 市 民 憲 章

制定 昭和 3 9 年 7 月 1 日

前 文

わたくしたち藤沢市民は、藤沢市を豊かな明るい美しい産業、文化、観光都市とするために、市民ひとりひとりが守るべき規範として、ここに市民憲章を定めます。

本 文

- 1 元気で働き、明るい家庭をつくりましょう。
- 1 つねに健康な心とからだをきたえましょう。
- 1 いつもだれにも親切にしましょう。
- 1 きまりをまもり良い風習をそだてましょう。
- 1 教養を深め、文化の高いまちをきずきましょう。

カワセミ



市 の 鳥

ふ じ



市 の 花

くろまつ



市 の 木

は じ め に

この消防年報は、２０２５年中（一部２０２５年度中）における、藤沢市の消防現勢、業務概要、各種統計を収録し、藤沢市消防行政を紹介することを目的に編集しました。

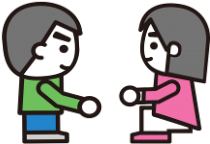
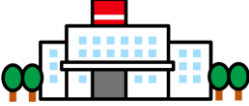
この年報により、藤沢市消防局の現況を認識され、深くご理解いただければ幸いです。

２０２６年(令和８年)４月

藤 沢 市 消 防 局

藤沢消防の基本指標

2026年（令和8年）4月1日

市勢 人口・世帯数 予算				
	面積	人口	世帯数	消防局予算
	69.56 k m ²	442,956 人	206,528 世帯	7,270,857 千円
組織				
	署所	消防職員	消防部隊数	消防団員
	2 署 12 出張所 1 分遣所 1 救急ワークステーション 1 消防防災訓練センター	495 人	指揮隊 2 隊 高度救助隊 1 隊 特別救助隊 2 隊 水難救助隊 1 隊 消防隊 11 隊 救急隊 15 隊	450 人
車両				
	消防ポンプ車	高規格救急車	救助工作車	梯子車
	17 台	19 台	3 台	4 台
災害件数 (2025 年)				
	火災（取扱いのみ）	救急	救助（火災活動含む）	119 番通報
	127 件	28,129 件	60 件	37,534 件
予防				
	防火対象物	危険物施設		
	12,612 対象	331 施設		

総 目 次

1	藤沢市の市勢	1 頁
2	消防の概要	5 頁
3	総 務	2 9 頁
4	予 防	4 7 頁
5	火 災	6 7 頁
6	警 防	8 5 頁
7	救急救命	9 7 頁
8	救 急	1 0 5 頁
9	通信指令	1 2 3 頁
1 0	救 助	1 3 3 頁
1 1	消防団	1 3 7 頁
1 2	その他	1 4 7 頁

細 目 次

1 藤沢市の市勢

1 位置	3
2 地勢	3
3 面積及び広ぼう	3

2 消防の概要

4 消防のあゆみ	7
5 消防力の増強状況	20
6 消防庁舎概況	26

3 総 務

消防組織と事務分掌

7 消防局組織図	31
8 消防署組織図	32

業務概要

9 予算	33
10 「消防出初式」の開催	34
11 消防音楽隊の概要	34

統 計

12 叙位・叙勲者	36
13 消防庁長官表彰授章	43
14 消防職員年齢	43
15 消防職員勤続年数	43
16 消防職員配置表	44
17 消防職員特殊技能資格	45

4 予 防

業務概要

18 火災予防対策	49
19 広報活動	49
20 住宅防火対策の推進	50
21 防火推進員の活動	50
22 防火協力会	51
23 防火対象物の現況	52
24 防火対象物に係る表示制度	54
25 防火管理及び防災管理	54
26 自衛消防組織の設置と 防災管理業務	54
27 違反対象物の公表制度	55

28 建築許可等についての同意事務	55
29 危険物規制事務	56

統 計

30 査察対象物の状況	57
31 建築同意処理状況	59
32 各種申請及び届出状況	60
33 危険物施設の推移・現況	62
34 危険物製造所等立入検査 実施状況	63
35 危険物製造所等許可数量	64

5 火 災

火災の実態

36 火災の概要	69
----------------	----

統 計

37 火災比較表	70
38 出火時間別火災状況	71
39 署所別火災状況	72
40 地区別火災状況	74
41 月別火災状況	76
42 防火対象物別火災状況	78
43 出火原因別火災状況	80
44 他都市との火災比較	82

6 警 防

業務概要

45 一般業務	87
46 大規模災害対策	87
47 本市の訓練実施状況	88
48 消防車両等の整備	89
49 開発行為規制事務	89
50 広域応援体制	90
51 国際消防救助隊	91
52 歳末火災特別警戒	91
53 消防局署現有車両	92
54 署所別消防水利設置状況	95
55 開発行為等事務処理状況	96

7 救急救命

業務概要

56 救急救命事業	100
57 救急高度化事業	101
58 応急手当普及啓発推進事業	102
59 救急隊の配置状況	104

8 救 急

統 計

60 総救急件数	107
61 隊別・地区別・曜日別 救急活動状況	108
62 病院別搬送人員	110
63 時間別・収容所要時間別 救急活動状況	112
64 年齢別・傷病程度別・ 応急処置別救急活動状況	114
65 月別救急事故種別一覧表	116
66 過去5年間の救急業務	117
67 医師同乗出動	118
68 ドクターヘリ	119
69 救急業務の推移	120

9 通信指令

業務概要

70 指令システム	125
71 無線設備	127
72 各種装置	127

統 計

73 119番受信状況	129
74 自動案内サービス（音声合成）	130
75 災害出場指令状況	130
76 気象	131

10 救 助

統 計

77 救助活動状況	135
78 月別救助活動状況	136

11 消防団

消防団の概要

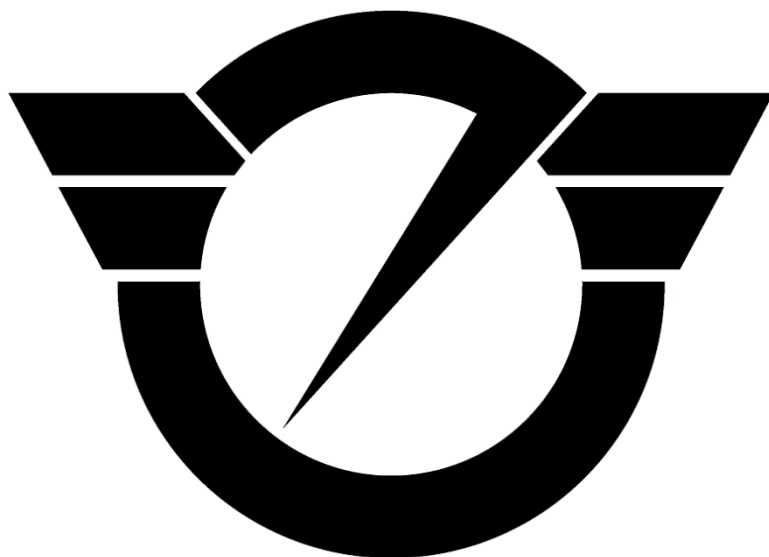
79 藤沢市消防団組織図	139
80 藤沢市消防団施設位置図	140
81 施設及び車両	141

82 消防団員産業別状況	143
83 消防団員基本報酬	144
84 消防団員出動報酬	144
85 過去5年間消防団員の 入団・退団・定数状況	144
86 消防団員勤続年数状況	144
87 消防団員年齢状況	145
88 女性・学生等消防団員数	145
89 消防団の活動状況	146

12 その他

90 藤沢火災史	149
91 自治体消防発足以来の火災状況	152
92 昭和23年以降の主な火災	158
93 過去における風水害等	160

1 藤沢市の市勢



1 位 置

藤沢市は、神奈川県中央南部東経139度23分40秒から139度31分6秒、北緯35度17分39秒から35度25分35秒に位置し、JR東海道本線で東京駅まで51.1km（所要時間50分）横浜駅まで22.3km（所要時間20分）で達し、南は相模湾にのぞみ南北に細長く12km、東西に6.55kmで北は大和市、海老名市、綾瀬市に、西は茅ヶ崎市、寒川町に、北東は横浜市に、南東は鎌倉市に接している。



2 地 勢

北部は相模原台地の南端に当たる標高40～50mの坦々たる丘陵性の台地を形成し、南部は湘南砂丘の低地部から形成され、境川、引地川等の流域は狭い沖積平野となっている。

3 面積及び広ぼう

面 積	周 囲	海 岸 線	東 西	南 北	江の島周囲
69.56km ²	39.72km	5.239km	6.55km	12.00km	約5km

2 消防の概要



4 消防のあゆみ

1908. 4. 1 (明治41年)	鵜沼、明治村を合併して、藤沢町が発足と同時に、藤沢町消防組を組織する。
1939. 4. 1 (昭和14年)	警防団令公布施行と同時に、消防組と自主的に設置された防護団とを統合して警防団を組織する。
1940. 10. 1 (昭和15年)	市制を施行、藤沢市警防団と改名する。
1941. 6. 1 (昭和16年)	村岡村と合併
1942. 3. 10 (昭和17年)	六会村と合併指摘
1943. 3. 31 (昭和18年)	警防団内に常設消防部を置き、石井金太郎 初代常設消防部長に就任 ◎組 織：部長以下13人 ◎設 備：消防ポンプ1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1番地
1944. 3. 31 (昭和19年)	初代常設消防部長 石井金太郎氏勇退
1944. 4. 1 (昭和19年)	米山実 2代目常設消防部長に就任
1947. 4. 1 (昭和22年)	片瀬町と合併
1947. 8. 14 (昭和22年)	消防団令公布施行により警防団を消防団に改組する。 鈴木竹次郎 初代消防団長に就任 ◎組 織：団長以下団員800人 17個分団 ◎設 備：消防ポンプ自動車10台、三輪ポンプ自動車1台、手引ガソリンポンプ10台
1948. 2. 14 (昭和23年)	常設消防部を警察行政の一部として神奈川県警察に移管し、神奈川県藤沢消防署として発足、小山義雄 初代消防署長に就任 ◎組 織：署長以下17人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1858番地
1948. 3. 7 (昭和23年)	消防組織法の施行に伴い、警察行政から分離して消防本部及び消防署を設置、自治体消防として発足する。 小山義雄 初代消防長に就任 ◎組 織：消防長以下18人 ◎設 備：消防ポンプ自動車2台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1858番地
1949. 2. 23 (昭和24年)	定数条例一部改正 36人
1949. 5. 31 (昭和24年)	初代消防団長 鈴木竹次郎氏勇退
1949. 6. 1 (昭和24年)	池田進 2代目消防団長に就任
1949. 10. 16 (昭和24年)	2代目消防団長 池田進氏勇退

1949. 10. 17 (昭和24年)	消防副団長 秋元大太郎 3代目消防団長に就任			
1951. 6. 1 (昭和26年)	市役所庁舎大道東125の5番地に新築移転、併せて、消防本部、署も同庁舎に移転する。			
1951. 6. 15 (昭和26年)	初代消防長 小山義雄氏勇退			
1951. 6. 16 (昭和26年)	元神奈川消防署長 富田伸利 2代目消防長に就任			
1951. 8. 1 (昭和26年)	辻堂出張所を設置する。 ◎組 織：署員12人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市辻堂1383番地(第8分団詰所内)			
1952. 4. 21 (昭和27年)	藤沢遊行寺本堂において、消防慰霊祭を挙げる。 故藤沢市消防司令補 宮沢 長蔵氏 (昭和26. 7. 17殉職) 故第3分団消防部長 吉野 多吉氏 (昭和17. 7. 20殉職) 故第8分団消防副部長 石井善太郎氏 (昭和26. 3. 7殉職) 故第8分団消防副部長 桜井 太典氏 (昭和26. 3. 7殉職)			
1952. 8. 28 (昭和27年)	定数条例一部改正 55人			
1953. 9. 30 (昭和28年)	藤沢市火災予防条例の制定			
1954. 5. 18 (昭和29年)	救急車1台を本署に配置し、救急業務を開始する。			
1955. 4. 5 (昭和30年)	渋谷町の一部、御所見村、小出村の一部と合併し、これらの消防団を藤沢市消防団に統合。併せて分団名を改正する。 ◎組 織：団長以下639人 31個分団 ◎設 備：消防ポンプ自動車15台(内三輪車4台) 可搬動力ポンプ9台、手引動力ポンプ5台 その他……………4台 (分団名新旧対照表)			
	新	旧	新	旧
	1分団 (江 の 島)	17分団	17分団 (湘 南 台)	13分団
	2 " (片瀬州鼻)	16 "	18 " (下 土 棚)	14分団
	3 " (片瀬西方)	15 "	19 " (遠 藤)	} 小出村 消防団
	4 " (鵜沼海岸)	5 "	20 " (")	
	5 " (本 鵜 沼)	4 "	21 " (高 倉)	} 渋谷町 消防団
	6 " (村 岡)	9 "	22 " (")	
	7 " (南 藤 沢)	3 "	23 " (長 後)	
	8 " (大 鋸)	1 "	24 " (")	
	9 " (本 町)	2 "	25 " (")	} 御所見村 消防団
	10 " (辻 堂)	8 "	26 " (瀬 郷)	
	11 " (羽 鳥)	6 "	27 " (打 戻)	
	12 " (大 庭)	7 "	28 " (宮 原)	
	13 " (石 川)	12 "	29 " (菖 蒲 沢)	
	14 " (西 俣 野)	18 "	30 " (用 田)	
	15 " (亀井野新田)	11 "	31 " (葛 原)	
	16 " (亀 井 野)	10 "		

1957. 4. 1 (昭和32年)	片瀬分遣所を設置する。(第2分団と併設) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市片瀬2846番地
1957. 4. 1 (昭和32年)	定数条例一部改正 61人
1957. 7. 15 (昭和32年)	中短波無線局(基地局 1 移動局 4)
1957. 12. 27 (昭和32年)	長後分遣所を設置する。(第23分団と併設、昭和39. 3. 3分離) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市長後513番地
1959. 4. 1 (昭和34年)	定数条例一部改正 63人
1961. 12. 1 (昭和36年)	定数条例一部改正 75人
1962. 7. 1 (昭和37年)	定数条例一部改正 81人
1962. 7. 19 (昭和37年)	鵜沼出張所を設置する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市鵜沼5218番地
1962. 7. 23 (昭和37年)	藤沢市火災予防条例制定(昭和28. 9. 30条例第29号は廃止)
1962. 10. 1 (昭和37年)	定数条例一部改正 83人
1963. 4. 1 (昭和38年)	定数条例一部改正 96人
1963. 6. 1 (昭和38年)	中短波無線を超短波無線に切替え業務を開始する。
1963. 7. 1 (昭和38年)	長後出張所を設置する。(分遣所を昇格させる。) ◎組 織：署員12人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市長後513番地
1964. 3. 31 (昭和39年)	2代目消防長 富田伸利氏勇退
1964. 4. 1 (昭和39年)	消防次長 瀬沼和男 3代目消防長に就任
1964. 4. 1 (昭和39年)	消防署に専任消防署長を置く
1964. 7. 1 (昭和39年)	定数条例一部改正 106人
1964. 7. 1 (昭和39年)	機構改革により、消防本部に総務課、警防課の2課を新設する。
1965. 4. 1 (昭和40年)	定数条例一部改正 110人
1965. 9. 27 (昭和40年)	消防庁舎を鵜沼2121番地に新築、消防本部、消防署を移転する。

1966. 4. 1 (昭和41年)	定数条例一部改正 120人
1966. 6. 16 (昭和41年)	救助隊を編成する。署員 16人
1966. 7. 10 (昭和41年)	警防課を予防課に改め、警防事務を消防署に移管する。
1967. 4. 1 (昭和42年)	定数条例一部改正 126人
1967. 4. 1 (昭和42年)	長後出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1967. 10. 1 (昭和42年)	定数条例一部改正 140人
1968. 2. 1 (昭和43年)	本町出張所を設置する。(第9分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 2、3階独身寮併設(18人収容) ◎設置場所：藤沢市本町4丁目5番21号
1968. 3. 7 (昭和43年)	消防庁長官から消防本部、消防団に竿頭授与
1968. 4. 1 (昭和43年)	定数条例一部改正 147人
1968. 9. 16 (昭和43年)	消防本部組織を一部改正し、総務課、予防課に加え警防課を新設する。
1968. 12. 25 (昭和43年)	用田分遣所を設置する。(第30分団と併設) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市用田480番地の1
1969. 4. 1 (昭和44年)	定数条例一部改正 154人
1970. 4. 1 (昭和45年)	定数条例一部改正 161人
1971. 12. 16 (昭和46年)	荻田出張所を設置する。(第5分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市本鵠沼4丁目3番1号
1972. 3. 31 (昭和47年)	3代目消防団長 秋元大太郎氏勇退
1972. 4. 1 (昭和47年)	消防副団長 広田博 4代目消防団長に就任
1972. 7. 1 (昭和47年)	定数条例一部改正 181人
1972. 10. 1 (昭和47年)	辻堂出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1973. 4. 1 (昭和48年)	定数条例一部改正 195人
1973. 4. 1 (昭和48年)	消防団定数条例一部改正 579人

1973. 4. 10 (昭和48年)	羽鳥出張所を設置する。(第11分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市羽鳥4丁目12番21号
1973. 5. 16 (昭和48年)	機構改革により消防本部に消防次長を置き、消防署に庶務、警備第1、2担当(主幹)の3担当を新設する。
1973. 10. 1 (昭和48年)	藤沢市火災予防条例の全部改正
1973. 12. 1 (昭和48年)	六会出張所を設置し、長後出張所に仮配置して業務を開始する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台
1974. 4. 1 (昭和49年)	定数条例一部改正 209人
1974. 4. 1 (昭和49年)	消防団定数条例一部改正 532人
1974. 6. 1 (昭和49年)	消防署の組織を一部改正、庶務、警備第1、2担当を課に改め、救助第1、2担当(主幹)の2担当を新設する。
1974. 12. 1 (昭和49年)	御所見出張所を設置する。(用田分遣所を昇格させる。) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市用田480番地の1
1975. 4. 1 (昭和50年)	定数条例一部改正 213人
1975. 4. 1 (昭和50年)	機構改革により、消防本部に消防担当次長及び防災担当次長の2担当次長を置き、地震対策課を新設する。
1975. 6. 2 (昭和50年)	広域避難場所を指定する。(市内12か所)
1975. 6. 25 (昭和50年)	地震対策条例を制定
1975. 8. 1 (昭和50年)	自主防災組織の育成始まる。
1975. 10. 4 (昭和50年)	藤沢市消防団葬を市民会館で挙げる。 故第21分団班長 岡本正勝氏 (昭和50. 6. 28殉職)
1976. 1. 1 (昭和51年)	街頭消火器設置開始
1976. 3. 6 (昭和51年)	六会出張所を建設、長後出張所から移転する。(第16分団と併設) ◎設置場所：藤沢市亀井野1261番地の3
1976. 3. 31 (昭和51年)	藤沢市地域防災計画地震対策編策定
1976. 4. 1 (昭和51年)	定数条例一部改正 222人
1976. 6. 1 (昭和51年)	消防署の組織を一部改正し、救助第1、2担当を救助第1、2課に、警備課を南警備第1、2課及び北警備第1、2課に改める。

1976. 7. 1 (昭和51年)	消防団定数条例一部改正 504人
1976. 7. 21 (昭和51年)	本町出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1977. 3. 29 (昭和52年)	藤沢市地域防災計画風水害対策編改正
1977. 4. 1 (昭和52年)	定数条例一部改正 226人
1978. 4. 1 (昭和53年)	定数条例一部改正 233人
1979. 3. 31 (昭和54年)	藤沢市防災行政用広報無線局開局 ◎親 局 1局 ◎支 局 1局 ◎子 局 7局
1979. 4. 1 (昭和54年)	定数条例一部改正 242人
1979. 6. 1 (昭和54年)	消防本部の組織を一部改正し、消防総務担当参事及び消防担当次長を置き、総務課を消防総務担当に改める。
1980. 3. 5 (昭和55年)	消防庁長官から消防本部、消防署、消防団に表彰旗授与
1980. 3. 31 (昭和55年)	消防本部敷地内に防災センターを設置する。
1980. 3. 31 (昭和55年)	善行出張所を設置する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢3415番地の5
1980. 3. 31 (昭和55年)	4代目消防団長 広田博氏勇退
1980. 4. 1 (昭和55年)	消防副団長 秋本良夫 第5代目消防団長に就任
1980. 4. 1 (昭和55年)	消防本部の組織を一部改正し、指令第1、2課を新設する。
1980. 4. 1 (昭和55年)	定数条例一部改正 254人
1980. 6. 12 (昭和55年)	藤沢市火災予防条例全部改正
1980. 7. 11 (昭和55年)	市行政組織及び職制の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の全部を改正し、消防本部に消防総務室、消防部を新設、消防総務担当を消防総務課に改め、救助第1、2課を消防本部所属とする。
1981. 3. 31 (昭和56年)	東海地震対策に伴い、地域防災計画地震対策編を改正する。
1981. 3. 31 (昭和56年)	5代目消防団長 秋本良夫氏勇退
1981. 4. 1 (昭和56年)	消防副団長 木村千代吉 第6代目消防団長に就任
1981. 4. 1 (昭和56年)	定数条例一部改正 284人

1981. 7. 31 (昭和56年)	3代目消防長 瀬沼和男氏勇退
1981. 8. 1 (昭和56年)	消防総務室長 大久保一 4代目消防長に就任
1981. 10. 1 (昭和56年)	御所見出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員8人 ◎設 備：救急自動車1台
1982. 4. 1 (昭和57年)	定数条例一部改正 290人
1982. 4. 1 (昭和57年)	消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の全部を改正し、消防本部を消防局に、消防署を南消防署とし、北消防署を新たに設置する。救助第1、2課を廃止し、南消防署警備課に救助隊として所属させる。
1982. 4. 1 (昭和57年)	北消防署を設置する。 ◎組 織：署長以下28人 ◎設 備：指揮車 広報車 消防ポンプ自動車 救急車各1台 ◎設置場所：藤沢市湘南台2丁目7番1号
1983. 3. 1 (昭和58年)	50mの総括無線塔設置
1983. 4. 1 (昭和58年)	定数条例一部改正 298人
1983. 4. 1 (昭和58年)	消防音楽隊を設置する。(隊員44人)
1983. 7. 1 (昭和58年)	消防署組織等規程の一部を改正し、北消防署本署隊を救助隊として所属させる。
1984. 4. 1 (昭和59年)	定数条例一部改正 312人
1984. 7. 10 (昭和59年)	定数条例一部改正 311人
1984. 7. 21 (昭和59年)	消防本部組織等規則の一部改正に伴い、消防総務室を消防部に改める。
1984. 8. 2 (昭和59年)	第34回神奈川県消防操法大会に藤沢市消防団第16分団が出場し、最優秀賞を受賞
1984. 10. 21 (昭和59年)	第9回全国消防操法大会に藤沢市消防団第16分団が県代表として出場し、優良賞を受賞
1985. 3. 8 (昭和60年)	南消防署に訓練塔を設置する。(地上5階建)
1985. 3. 31 (昭和60年)	4代目消防長 大久保一氏勇退
1985. 4. 1 (昭和60年)	土地開発公社 理事長 稲葉易祐 5代目消防長に就任
1985. 4. 1 (昭和60年)	西部出張所を設置する。 ◎組 織：署員22人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 救急車1台 ◎設置場所：藤沢市大庭4364番地の2
1985. 4. 1 (昭和60年)	定数条例一部改正 319人

1986. 3. 31 (昭和61年)	6代目消防団長 木村千代吉氏勇退
1986. 4. 1 (昭和61年)	市行政組織の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等の規程を一部改正し、消防局を消防本部に改め、消防総務課を消防総務担当に、指令第1、2課を指令一、二課に、南北消防署庶務課を管理課に、警備第1、2課を警備一、二課とした。
1986. 4. 1 (昭和61年)	消防副団長 鯨井義一 7代目消防団長に就任
1987. 5. 1 (昭和62年)	荻田出張所において救急業務を変則的に開始する。
1987. 11. 25 (昭和62年)	辻堂出張所を辻堂5653番地に移転
1988. 3. 9 (昭和63年)	日本消防協会から特別表彰。まといを藤沢市消防団が授章する。
1988. 3. 31 (昭和63年)	7代目消防団長 鯨井義一氏勇退
1988. 4. 1 (昭和63年)	市行政組織の改正に伴い消防本部消防部を廃止、次長制とし、消防総務担当を消防総務課に、地震対策課を市長部局総務部地震防災課とした。
1988. 4. 1 (昭和63年)	定数条例一部改正 322人
1988. 4. 1 (昭和63年)	消防副団長 福島其一 8代目消防団長に就任
1988. 5. 1 (昭和63年)	荻田出張所において救急業務を正式に開始する。 ◎組 織：署員8人 ◎設 備：救急車1台
1988. 6. 30 (昭和63年)	5代目消防長 稲葉易祐氏収入役に就任
1988. 7. 1 (昭和63年)	市場長 佐藤彰美 6代目消防長に就任
1989. 3. 31 (平成元年)	消防緊急情報システムを導入し運用を開始する。
1989. 9. 27 (平成元年)	日本損害保険協会から、普通消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
1990. 3. 31 (平成 2年)	鵜沼出張所を改築する。3階に津波現地対策本部室を設置する。
1990. 3. 31 (平成 2年)	6代目消防長 佐藤彰美氏勇退
1990. 4. 1 (平成 2年)	南消防署長 亀井敬一 7代目消防長に就任
1990. 12. 10 (平成 2年)	鵜沼出張所で水難救助業務を開始する。
1991. 3. 31 (平成 3年)	7代目消防長 亀井敬一氏勇退
1991. 4. 1 (平成 3年)	消防次長 山口正直 8代目消防長に就任
1992. 4. 1 (平成 4年)	定数条例一部改正 335人
1992. 7. 1 (平成 4年)	長後出張所を長後163番の1に新築移転する。

1993. 2. 1 (平成 5年)	定数条例一部改正 367人
1993. 3. 31 (平成 5年)	8代目消防長 山口正直氏助役付行政課題担当理事に就任
1993. 4. 1 (平成 5年)	市民病院 事務局長 佐藤龍緒 9代目消防長に就任
1995. 3. 31 (平成 7年)	9代目消防長 佐藤龍緒氏民生総務部長に就任
1995. 4. 1 (平成 7年)	消防次長 伊藤昭男 10代目消防長に就任
1995. 7. 29 (平成 7年)	消防本部を藤沢市役所庁舎内に移転
1995. 9. 15 (平成 7年)	南消防署を鵠沼東8番地3号に新築移転
1996. 10. 1 (平成 8年)	藤沢市消防本部消防職員委員会を設置
1997. 4. 1 (平成 9年)	定数条例一部改正 393人
1997. 4. 1 (平成 9年)	女性消防吏員2人採用
1998. 4. 1 (平成10年)	村岡出張所を設置する。 ◎組 織：署員16人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市渡内656番地の1
1999. 2. 9 (平成11年)	日本消防協会から、指揮広報車1台寄贈を受ける。
1999. 4. 1 (平成11年)	善行出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
1999. 10. 15 (平成11年)	日本損害保険協会から、普通消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
2000. 3. 31 (平成12年)	10代目消防長 伊藤昭男氏勇退
2000. 4. 1 (平成12年)	消防本部参事兼警防課長 前崎文男 11代目消防長に就任
2000. 4. 1 (平成12年)	消防本部の組織を一部改正し、救急救命課を新設し、指令一・二課を廃止し通信指令課を新設する。
2000. 4. 1 (平成12年)	消防署の組織を一部改正し、南・北消防署に副署長を置き、鵠沼出張所消防隊を鵠沼出張所水難救助隊とした。
2000. 11. 15 (平成12年)	渡内北部土地区画整理組合から、消防広報車1台寄贈を受ける。
2000. 12. 11 (平成12年)	いすゞ自動車株式会社から、高規格救急車1台寄贈を受ける。
2001. 3. 31 (平成13年)	11代目消防長 前崎文男氏勇退
2001. 3. 31 (平成13年)	8代目消防団長 福島其一氏勇退
2001. 4. 1 (平成13年)	消防本部参事兼警防課長 小野寺正一 12代目消防長に就任

2001. 4. 1 (平成13年)	消防副団長 植木謙治 9代目消防団長に就任
2002. 7. 1 (平成14年)	消防本部 藤沢市総合防災センターに移転
2003. 3. 31 (平成15年)	12代目消防長 小野寺正一氏勇退
2003. 4. 1 (平成15年)	総務部長 塩崎不志雄 13代目消防長に就任
2003. 4. 1 (平成15年)	村岡出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2004. 3. 19 (平成16年)	片瀬分遣所を改築する。(第2分団と併設)
2005. 3. 31 (平成17年)	13代目消防長 塩崎不志雄氏勇退
2005. 4. 1 (平成17年)	消防次長 大津正男 14代目消防長に就任
2006. 2. 9 (平成18年)	藤沢東ロータリークラブから、軽自動車1台寄贈を受ける。
2006. 3. 31 (平成18年)	14代目消防長 大津正男氏勇退
2006. 4. 1 (平成18年)	消防次長 金子司洋 15代目消防長に就任 南藤沢救急隊2を増隊 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2006. 12. 21 (平成18年)	藤沢市消防防災訓練センターを設置する。 ◎所在地：藤沢市石川3417-1 ◎敷地面積：19,573.23㎡ ◎施設内容 ○訓練塔(鉄骨造)3棟(A塔：高さ19.4m、B・C塔：高さ7m) ○耐震性防火水槽40㎡1基 ○模擬消火栓1基 ○教育訓練棟(軽量鉄骨平屋建・延面積210㎡)
2007. 3. 23 (平成19年)	羽鳥出張所を辻堂新町1丁目11番23号に新築移転。名称を明治出張所に改める。
2007. 3. 31 (平成19年)	9代目消防団長 植木謙治氏勇退
2007. 4. 1 (平成19年)	消防副団長 川口勇喜夫 10代目消防団長に就任
2007. 4. 1 (平成19年)	明治出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2007. 4. 1 (平成19年)	消防署の組織を一部改正し、南・北消防署に指揮隊を新設する。
2008. 3. 31 (平成20年)	15代目消防長 金子司洋氏勇退
2008. 4. 1 (平成20年)	消防本部参事兼救急救命課長 阿部正昭 16代目消防長に就任

2008. 11. 13 (平成20年)	救急振興財団から、救急普及啓発広報車1台寄贈を受ける。
2008. 12. 18 (平成20年)	日本損害保険協会から、ミニ消防車1台寄贈を受ける。
2009. 3. 31 (平成21年)	16代目消防長 阿部正昭氏勇退
2009. 4. 1 (平成21年)	消防本部参事兼救急救命課長 鈴木正明 17代目消防長に就任
2009. 4. 1 (平成21年)	南消防署に高度救助隊を新設する。
2009. 4. 1 (平成21年)	通信指令課に情報通信担当を新設する。
2009. 7. 1 (平成21年)	南本署において高度救助隊の運用を開始する。
2010. 1. 27 (平成22年)	日本消防協会から、防災活動車1台寄贈を受ける。
2010. 12. 15 (平成22年)	大塚達美氏からミニ消防車1台寄贈を受ける。
2011. 3. 31 (平成23年)	17代目消防長 鈴木正明氏勇退
2011. 4. 1 (平成23年)	南消防署長 見澤由郎 18代目消防長に就任
2011. 4. 1 (平成23年)	消防本部に担当部長を新設する。
2012. 3. 31 (平成24年)	18代目消防長 見澤由郎氏勇退
2012. 4. 1 (平成24年)	消防次長 伊澤稔 19代目消防長に就任
2012. 4. 1 (平成24年)	通信指令課の情報通信担当を廃止する。
2013. 3. 31 (平成25年)	19代目消防長 伊澤稔氏勇退
2013. 4. 1 (平成25年)	消防本部参事兼消防総務課長 松藤弘行 20代目消防長に就任
2013. 4. 1 (平成25年)	市行政組織の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、消防本部を消防局に、消防次長を副消防局長に、消防局に予防室、警防室、査察指導課を新設し、予防課及び査察指導課を予防室所属、警防課及び救急救命課を警防室所属とし、通信指令課を通信指令担当に改め、警防課所属とする。救急救命課にワークステーション担当を新設するとともに、本町救急隊を配置する。
2013. 4. 1 (平成25年)	藤沢市消防防災訓練センターに自家用給油取扱所を新設する。 ◎所在地：藤沢市石川3417-1 ◎貯蔵量：30,000ℓ（軽油：15,000ℓ、ガソリン：15,000ℓ）
2013. 8. 1 (平成25年)	救急ワークステーションの運用を開始する。
2014. 9. 1 (平成26年)	受付勤務の廃止に伴い、全署所に駆付け通報装置を設置し運用を開始する。
2015. 3. 1 (平成27年)	藤沢市消防局総合基本指針を策定する。

2015. 12. 7 (平成27年)	日本消防協会から、防災活動車1台寄贈を受ける。
2015. 2. 26 (平成28年)	藤沢東ロータリークラブから、軽自動車1台寄贈を受ける。
2016. 3. 18 (平成28年)	六会出張所を改築する。(第16分団と併設)
2017. 3. 31 (平成29年)	10代目消防団長 川口勇喜夫氏勇退
2017. 4. 1 (平成29年)	消防副団長 井上和弘 11代目消防団長に就任
2017. 4. 1 (平成29年)	定数条例一部改正 443人
2017. 4. 1 (平成29年)	市行政組織の改正に伴い、消防局組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、予防室及び警防室を廃止し、消防局に副消防局長(警防オリンピック・パラリンピック担当)を、警防課にオリンピック・パラリンピック担当を新設する。
2017. 4. 1 (平成29年)	遠藤出張所を設置する。 ◎組 織：署員24人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 救急車1台 ◎設置場所：藤沢市遠藤2932番地の1
2019. 1. 9 (平成31年)	鬼島忠氏から消防局旗一式寄贈を受ける。
2019. 3. 6 (平成31年)	消防庁長官から消防局、消防団に竿頭授与
2019. 3. 31 (平成31年)	20代目消防長 松藤弘行氏勇退
2019. 4. 1 (平成31年)	副消防局長 衛守玄一郎 21代目消防長に就任
2019. 4. 1 (平成31年)	定数条例一部改正 453人
2020. 4. 1 (令和 2年)	六会出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2020. 4. 30 (令和 2年)	11代目消防団長 井上和弘氏勇退
2020. 8. 1 (令和 2年)	消防副団長 西山幸成 12代目消防団長に就任
2021. 8. 6 (令和 3年)	辻堂出張所を辻堂西海岸2丁目1番17号に新築移転する。 (辻堂市民センターと併設)
2022. 4. 1 (令和 4年)	消防局組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、警防課のオリンピック・パラリンピック担当を廃止。副消防局長(警防オリンピック・パラリンピック担当)を(警防担当)とする。 警防課消防団担当に「主幹」を、警防課通信指令担当に「総括主幹」を新設する。
2022. 4. 1 (令和 4年)	定数条例一部改正 450人
2023. 4. 1 (令和 5年)	消防局組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、救急救命課に「機動救急隊」を新設する。

2023. 4. 1 (令和 5年)	定数条例一部改正 454人
2023. 11. 1 (令和 5年)	藤沢市消防団に関する規則の一部を改正し「藤沢市消防団機能別音楽団員」を新設する。
2024. 3. 13 (令和 6年)	南消防署本町出張所（第9分団）再整備に伴い、仮設庁舎へ移転
2024. 3. 31 (令和 6年)	21代目消防長 衛守玄一郎氏勇退
2024. 4. 1 (令和 6年)	副消防局長（警防担当） 築瀬欣二 22代目消防長に就任
2025. 1. 1 (令和 7年)	藤沢市消防団に関する条例及び藤沢市消防団に関する規則の一部を改正し、「藤沢市消防団機能別大規模災害団員」を新設する。
2025. 1. 28 (令和 7年)	日本消防協会から、防災活動車1台寄贈を受ける。
2025. 3. 31 (令和 7年)	12代目消防団長 西山幸成氏勇退
2025. 4. 1 (令和 7年)	消防副団長 伊澤孝次 13代目消防団長に就任
2025. 4. 1 (令和 7年)	定数条例一部改正 455人
2025. 4. 1 (令和 7年)	市行政組織の改正に伴い、消防局組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正。「情報指令センター」を新設し、情報管理担当と指令担当で運用を開始する。副消防局長（警防担当）を副消防局長とする。
2025. 4. 1 (令和 7年)	「機動救急隊」の365日運用を開始する。
2026. 4. 1 (令和 8年)	定数条例一部改正 465人

5 消防力の増強状況

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
発足 当時	18		1本部 1署	消防ポンプ車	2	319	49
昭和 24	増 18 定 36	辻堂出張所及び 充実要員				319	64
25						391	64
26			消防本部、署が市役所庁舎 に移転(6. 1) 辻堂出張所を開所(8. 1)	消防ポンプ車(辻堂)	1	350	75
27	増 19 定 55	消防力の充実要員				360	85
28						407	97
29				救急車(本署)	1	431	107
30						448	112
31						522	135
32	増 6 定 61	長後分遣所及び 片瀬分遣所要員	片瀬分遣所開所(4. 1) 長後分遣所開所(12. 27)	消防ポンプ車 (長後・片瀬)	2	583	139
33						600	142
34	増 2 定 63	消防力の充実要員				617	146
35			辻堂出張所改築(6. 28)			657	151
36	増 12 定 75	鶴沼出張所要員				691	163
37	増 8 定 83	片瀬分遣所及び 救急隊要員	鶴沼出張所新築、 開所(7. 19)	消防ポンプ車(鶴沼) 広報車(本署)	1 1	714	170
38	増 13 定 96	長後出張所要員	長後出張所開所(7. 1)	消防ポンプ車(長後)	1	774	179
39	増 10 定 106	消防力の充実要員				869	198
40	増 4 定 110	各署所及び 本部充実要員	消防本部、署新築移転 (9. 27)			1, 110	197
41	増 10 定 120	消防力の充実要員		梯子車(24m本署)	1	1, 220	201
42	増 20 定 140	長後救急隊及び 本町出張所要員	長後出張所改築(4. 1) 本町出張所新築、開所 (2. 1)	救急車(長後) 消防ポンプ車(本町)	1 1	1, 311	207
43	増 7 定 147	用田分遣所及び本 部署所充実要員	用田分遣所新築、開所 (12. 25)	化学車(本署) 指令車(本部) 消防ポンプ車(用田)	1 1 1	1, 546	219
44	増 7 定 154	荏田出張所要員				1, 680	223
45	増 7 定 161	荏田出張所要員	片瀬分遣所改築(6. 29)			1, 940	225

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
46			荏田出張所新築、開所 (12. 16)	消防ポンプ車(荏田)	1	2, 110	236
47	増 定	20 181	羽鳥出張所及び 辻堂救急隊要員	救急車(辻堂)	1	2, 203	262
48	増 定	14 195	六会出張所要員	消防用ポンプ車 (羽鳥・六会) 指揮車(本署) 乗用車(本部)	2 1 1	2, 272	281
49	増 定	14 209	御所見出張所及び 救急隊要員	御所見出張所開所 (用田分遣所を昇格) (12. 1)	1	2, 429	334
50	増 定	4 213	御所見出張所要員	六会出張所新築(3. 6)	1	2, 585	368
51	増 定	9 222	御所見出張所及び 本町救急隊要員	救急車(本町)	1	2, 731	398
52	増 定	4 226	本町救急隊要員	御所見出張所改築(3. 31)		2, 893	425
53	増 定	7 233	善行出張所要員	シュノーケル車(本署) 査察車(本部)	1 1	3, 186	476
54	増 定	9 242	善行出張所及び 指令室要員	善行出張所新築、開所 防災センター開設(3. 31)	1	3, 297	527
55	増 定	12 254	救助工作車、本部 充実要員、北消防 署開設準備要員			3, 407	582
56	増 定	30 284	北消防署要員及び 御所見救急隊要員	北消防署新築(3. 6)	1	3, 480	617
57	増 定	6 290	北消防署要員	北消防署開所(4. 1)	1 1 1 1 1	3, 569	650
58	増 定	8 298	北消防署救助隊 要員	梯子車(47m南署)	1	3, 631	672
59	増 定	13 311	西部出張所要員			3, 708	698
60	増 定	8 319	西部出張所要員	西部出張所新築、開所 (4. 1)	1 1	3, 792	727
61			南消防署本署待機室改築 (10. 27)	化学車(北署)	更新1	3, 863	755
62			荏田救急業務開始(5. 1) 辻堂出張所新築移転(11. 25)	梯子車(30m南署)	更新1	3, 918	779
63	増 定	3 322	荏田救急隊要員	六会出張所増築(3. 31)	1 1 更新1 更新1	4, 016	787

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
平成 元			鵜沼出張所改築 (3. 31) 津波現地対策本部室設置	団指令車(本部) 消防ポンプ車 (南署・荻田) 水防車	1 更新2 1	4, 062	825
2				梯子車(40m北署) 指揮車(北署)	更新1 更新1	4, 124	839
3	増 3 定 335			排煙高発泡車(荻田) 水防車(本町・荻田)	1 1	4, 222	845
4	増 32 定 367	週休2日制に伴う 要員 辻堂梯子車要員	長後出張所新築移転 (7. 1) 辻堂出張所梯子車車庫増 築(3. 26)	梯子車(40m辻堂) 高規格救急車 (南署・北署)	1 更新2	4, 243	858
5				指揮車(南署) 消防ポンプ車 (辻堂・西部) 高規格救急車 (本町・西部) 小型ポンプ積載型照 明(御所見)	更新1 更新2 更新2 1	4, 316	868
6			南消防署新築 平成6・7年継続	高規格救急車 (辻堂・長後) 水防用活動車(鵜沼)	更新2 更新1	4, 363	886
7			消防本部移転(7. 29) 南消防署新築移転 (9. 15)	消防ポンプ車 (本町・長後) 高規格救急車 (荻田・御所見) 小型動力ポンプ付大 型水槽車 (御所見・村岡) 海水利用型消防水利 システム	更新2 更新2 2 2	4, 409	884
8				消防ポンプ車(南署) 消防団広報車(警防課) 予防査察車(予防課) 指令車(総務課)	更新1 更新1 更新1 更新1	4, 469	898
9	増 26 定 393	村岡出張所要員 善行救急隊要員		消防ポンプ車 (鵜沼・御所見) 工作車(北署) 高規格救急車 (南署・北署) 水難救助艇 (ふじさわ1号)	更新2 更新1 更新2 1	4, 509	917
10			村岡出張所新築、開所 (4. 1)	消防ポンプ車(善行) 消防ポンプ車(村岡) 警防活動車(警防課)	更新1 1 更新1	4, 580	924
11				化学車(南署) 高規格救急車(御所見) 高規格救急車(善行)	更新1 更新1 1	4, 609	930
12				消防ポンプ車(荻田) 高規格救急車(荻田)	更新1 更新1	4, 636	937

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
13				化学車(北署) 高規格救急車(辻堂) 指揮車(北署) 水難救助ボート (ふじさわ2号)	更新1 更新1 更新1 更新1	4,664	947
14	増 4 定 397	村岡救急隊要員	消防本部移転(7.1) 藤沢市総合防災センター 新築、開所(7.1) 通信指令課移転(7.1) 六会前進基地局御所見 出張所に移転(7.1)	梯子車(50m南署) 消防ポンプ車(北署)	更新1 更新1	4,688	977
15			片瀬分遣所改築(3.19)	消防ポンプ車(羽鳥) 高規格救急車(本町) 高規格救急車(村岡)	更新1 更新1 1	4,707	978
16				高規格救急車 (長後・御所見)	2	4,723	922
17	増 10 定 407	南藤沢救急隊2要員		支援車(本部) 梯子車(30m南署) 工作車(南署) 高規格救急車 (南署・北署) 指揮車(南署) 消防ポンプ車(辻堂)	1 更新1 更新1 更新2 更新1 更新1	4,737	979
18			羽鳥出張所新築移転 併せて明治出張所に名称 変更(3.23) 藤沢市消防防災訓練セン ター新設(12.21)	鵜沼水難救助車 予防火災調査車 高規格救急車(南藤2)	更新1 更新1 1	4,747	995
19	増 8 定 415	明治救急隊要員		消防ポンプ車(西部) 高規格救急車(善行) 高規格救急車(明治) 水上オートバイ (ふじさわ3号)	更新1 更新1 1 1 1	4,756	997
20	減 1 定 414	再任用職員の活用		梯子車(30m西部) 消防ポンプ車 (本町・長後) 高規格救急車 (辻堂・荏田・西部) 救急普及啓発広報車 (本部) ミニ消防車(南署)	更新1 更新2 更新3 1 1 1	4,807	1,012
21	減 1 定 413	再任用職員の活用		消防ポンプ車 (南署・鵜沼) 高規格救急車(本町)	更新2 更新1	4,814	1,009
22				梯子車(40m北署) 消防ポンプ車 (村岡・御所見)	更新1 更新2	4,822	1,011
23				消防ポンプ車(善行) 高規格救急車(村岡) 支援Ⅱ型(南署) 水難救助艇 (ふじさわ1号)	更新1 更新1 更新1 更新1	4,837	1,002

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
24	増1 定414	県からの移譲事務 対応に伴う予防課 要員		高規格救急車 (北署・御所見) 支援Ⅲ型(南署)	更新2 継続1	4,853	1,002
25			六会出張所改築に伴い仮 設庁舎に移転(3.17) 救急ワークステーション 開所(8.1)	消防ポンプ車(荻田) 化学車(明治) 梯子車(40m辻堂) 工作車(北署) 高規格救急車 (南署・長後)	更新1 更新1 更新1 更新1 更新2	4,864	1,002
26				消防ポンプ車(北署) 高規格救急車 (南署・明治) 小型動力ポンプ付水 槽車(御所見)	更新1 更新2 更新1	4,875	1,004
27			六会出張所改築(3.18)	大型ブローカー車 (荻田) 高規格救急車 (辻堂・善行)	1 更新2	4,892	1,008
28	増24 定438	遠藤出張所要員		化学車(六会) 高規格救急車 (西部・荻田)	更新1 更新2	4,907	1,004
29	増4 定442	東京オリンピック・パラ リンピック開催に向け た警備体制の整備 に伴う警防課要員	遠藤出張所新築、開所 (4.1)	広報車(救急救命課) 指揮車(北署) 高規格救急車 (本町・村岡) 水上オートバイ (ふじさわ3号) 消防ポンプ車(遠藤) 高規格救急車(遠藤) 江の島救急車(鵜沼)	更新1 更新1 更新2 更新1 1 1 1	4,922	1,005
30				指令車(警防) 消防ポンプ車(南署) 資機材搬送車 (南署・善行) 高規格救急車 (北署・御所見)	更新1 更新1 更新2 更新2	4,924	1,006
令和 元	増10 定452	六会救急隊要員		指揮車(南署) 高規格救急車 (南署・長後) 高規格救急車(六会) 資機材搬送車(本町) 水難救助ボート (ふじさわ2号)	更新1 更新2 1 更新1 更新1	4,927	1,004
2				工作車(南署) 消防ポンプ車 (長後・西部) 署長車(南署・北署) 高規格救急車(南藤2)	更新1 更新2 更新2 更新1	4,931	1,001

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公 設 消 火 栓	公 設 防 火 水 そう
3			辻堂出張所新築移転、開所 (8. 6)	遠距離送・排水システム車 (南署)	1	4, 932	1, 000
4	減 4 増 1 定449	東京リリック・パ リニック要員を廃止 し、警防課消防団 担当に主幹を配置		消防ポンプ車 (鶴沼・本町) 高規格救急車 (明治)	更新2 更新1	4, 933	999
5	増 5 定454	機動救急隊要員 雇用と年金による 定数調整	本町出張所改築に伴い仮 設庁舎へ移転 (3. 13)	高規格救急車 (辻堂・善行) 査察軽自動車 (査察指 導課) 広報車 (南署・北署)	更新2 更新1 更新2	4, 933	999
6				消防ポンプ車 (御所見) ポンプ付救助工作車 (辻堂) 高規格救急車 (荏田・西部・遠藤) 広報車 (査察指導課) 予防火災調査車 (予防 課)	更新1 更新1 更新3 更新1 更新1	4, 943	991
7	増 1 定455	機動救急隊365日 運用要員		消防ポンプ車 (村岡) 梯子車 (30m辻堂) 高規格救急車 (WS・村岡) 江の島救急車 (鶴沼)	更新1 更新1 更新2 更新1	4, 954	988

6 消防庁舎概況

区分 局 署所別		所在地 電話番号	開署(所) 年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	備 考
消防局	消防局	朝日町 1-1 (25) 1111	S 23. 3. 7	鉄筋コンクリート (免震構造) 7階建	市防災センター 1,257.15	623.33	消防局 (1~4F 2,191.07 ※4Fの一部を除く) 3,648.03	大道東125-5 移転 S.26. 6. 1 鶴沼2121 新築 S.40. 9. 27 市役所第1庁舎に入る H. 7. 7. 29 市総合防災センター新築 H.14. 7. 1 市防災センターに名称変更 H.30.1.4
	消防防災訓練センター	石川 3417-1	H 18.12.21	鉄骨造 2階建	19,587.29	787.79	1052.16	訓練塔 教育訓練棟 事務所棟 車庫棟
	救急 ワークステーション	藤沢 2-6-1 (54) 5500	H 25. 8. 1	鉄骨造 3階建	39,712.01 (併設施設含む)	131.12	406.64	1F 事務室 車庫 2F 会議室 3F 仮眠室
南消防署	本署	鶴沼東 8-3 (27) 8181	S 23. 3. 7	鉄骨造 5階建 地下1階	2,891.53	1,118.48 76.32	3,540.93 337.06	大道東125-5移転 S.26. 6. 1 鶴沼2121 新築移転 S.40. 9. 27 新築移転 H. 7. 9. 15 訓練塔A鉄筋コンクリート・B鉄骨
	辻堂出張所	辻堂西海岸 2-1-17 (34) 3100	S 26. 8. 1	鉄筋コンクリート 3階建	6,036.77 (併設施設含む)	2,379.784 (併設施設含む)	1,091.22 (消防部分)	辻堂1383 消防団第10分団と合同庁舎 改築 S.35. 6. 28 辻堂5-5-18 新築移転 S.62.11.25 車庫増築 H. 5. 3. 26 新築移転 R. 3. 8. 6 (辻堂市民センター併設)
	片瀬分遣所	片瀬 3-15-17 (27) 3200	S 32. 4. 1	鉄骨造 2階建	128.92	92.05	176.51	消防団第2分団と合同庁舎 改築 H.16. 3. 19
	本町出張所	本町 4-5-21 (27) 3000	S 43. 2. 1	鉄筋コンクリート 3階建	800.89	187.17 32.40 42.70	494.25 32.40 42.70	消防団第9分団と合同庁舎 本町出張所再整備に伴い、仮設 庁舎へ移転(藤沢1-9-17) R. 6. 3. 13
	荏田出張所	本鶴沼 4-3-1 (25) 3000	S 46.12.16	鉄筋コンクリート 平屋建	1,194.67	285.42 32.40 98.54	440.86	消防団第5分団と合同庁舎 増築 S.62.12.23
	明治出張所	辻堂新町 1-11-23 (33) 3000	S 48. 4. 10	鉄筋コンクリート 2階建	5,974.42 (併設施設含む)	2,219.83 (併設施設含む)	630.16 (消防部分)	羽鳥4-12-21 消防団第11分団と合同庁舎 新築移転 H.19. 3. 23 羽鳥から明治に名称変更 消防団第11分団と分離 (明治市民センター併設)

	鵜沼出張所	鵜沼海岸 4-1-12 (33) 3600	S 37. 7. 19	鉄筋コンクリート 3階建	535.08	208.67	407.34	改築 H. 2. 3. 31
	村岡出張所	渡内 5-1-1 (54) 2630	H 10. 4. 1	鉄骨・鉄筋 コンクリート 2階建	1,246.83	454.38	629.66	1F 事務室 車庫 防災備蓄倉庫 2F 仮眠室 会議室
北 消 防 署	本署	湘南台 2-7-1 (45) 8181	S 57. 4. 1	鉄筋コンクリート 3階建	1,351.07	504.21	1,467.23	1F 車庫及び防災備蓄倉庫 ボンベ庫 2F 事務室 仮眠室 3F 講堂 会議室
	長後出張所	長後 163-1 (43) 3000	S 38. 7. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,799.25	364.39	533.47	長後513 新築移転 H. 4. 7. 1
	西部出張所	大庭 5406-11 (87) 8119	S 60. 4. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,134.97	322.19	399.28	車庫増築 H. 1. 3. 30
	御所見出張所	用田 480 (48) 3000	S 49. 12. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,605.33	245.75 57.08 22.96	355.79 57.08 39.47	改築 S. 53. 3. 30 消防団第30分団と合同庁舎 車庫増築 倉庫別棟
	善行出張所	善行 7-7-10 (81) 2661	S 55. 3. 31	鉄筋コンクリート 2階建	657.38	245.84	329.45	増改築 H. 11. 3. 16 仮眠室 食堂増築 事務室改修
	六会出張所	亀井野 4-8-1 (81) 3200	S 51. 3. 6	鉄筋コンクリート 3階建	4,072.03 (併設施設 含む)	1,126.73 (併設施設 含む)	799.04 (消防部分)	第16分団と合同庁舎 増築 H. 1. 3. 31 改築 H. 28. 3. 18 (六会市民センター併設)
	遠藤出張所	遠藤 2932-1 (88) 5100	H 29. 4. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,238.00	612.95	981.88	1F 事務室 車庫 仮眠室 2F 仮眠室 会議室

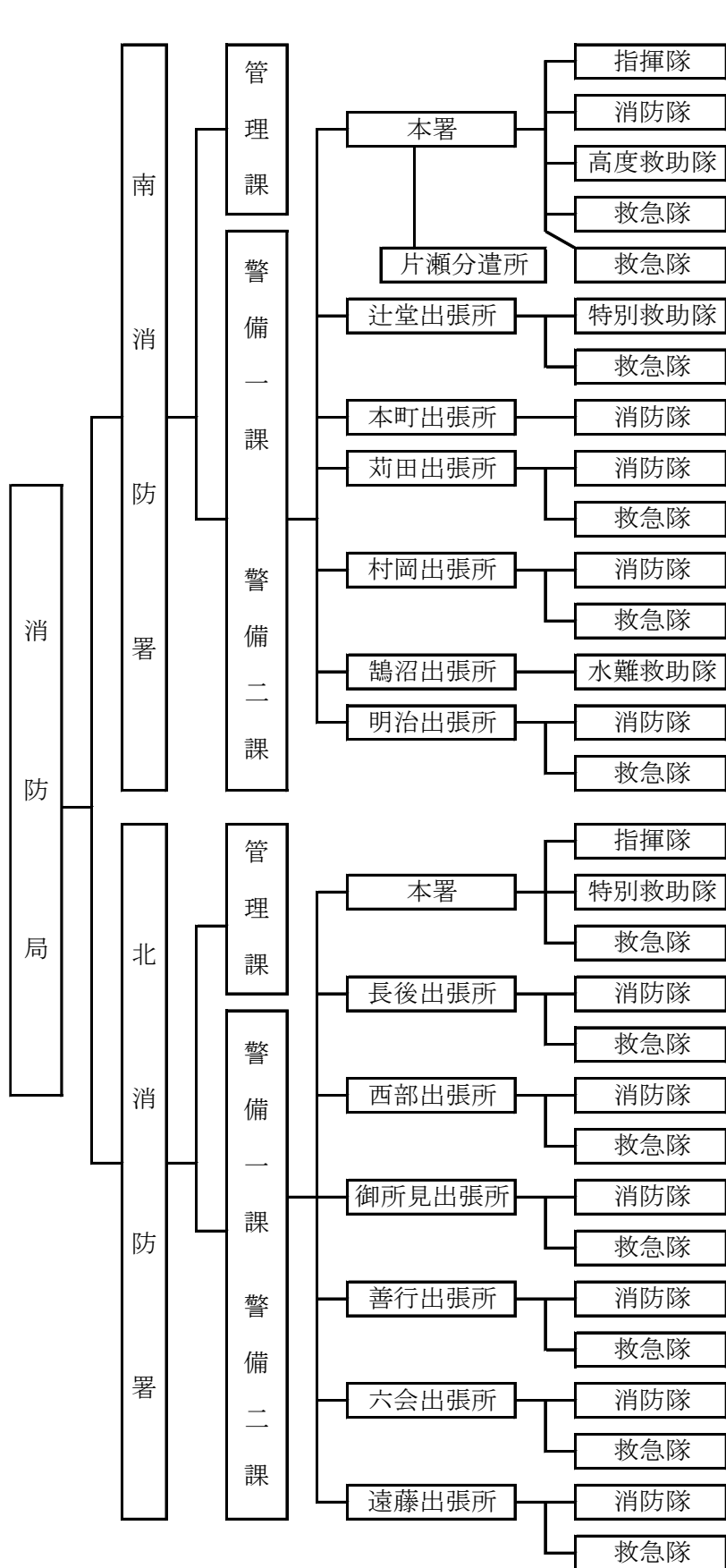
3 総務



7 消防局組織図



8 消防署組織図（2署12出張所1分遣所）



管理課の事務分掌

- ・署内の連絡調整
- ・公印の管理
- ・署内人事の内申
- ・消防活動上支障となる物件等の排除に関する事
- ・消防水利標識に関する事
- ・火災予防査察の計画及び指導
- ・火災予防違反の処理
- ・住宅防火対策推進に関する事
- ・普通及び上級救命講習に関する事
- ・救急搬送証明に関する事
- ・署内の消防統計に関する事
- ・署員の教育訓練計画に関する事
- ・署員の装備の管理に関する事
- ・車両の定期点検整備及び管理
- ・法令、条例等に基づく届出等の受理及び検査
- ・消防用設備等の審査及び指導に関する事
- ・火気の使用制限に関する事
- ・署指揮隊に関する事
- ・災害の調査及び火災の原因等の調査に関する事
- ・火災により災の証明に関する事
- ・署内の物品の出納及び管理
- ・署の庶務

警備課の事務分掌

- ・指揮隊、消防隊、救助隊、水難救助隊（藤沢市南消防署の警備一課及び警備二課に限る）及び救急隊の運用
- ・消防警備及び災害発生時における救助その他の活動の指揮並びに災害情報の収集及び調査に関する事
- ・火災等の防御及び人命救助
- ・傷病者に対する救急救命処置及び応急処置並びに傷病者の搬送
- ・火災防御計画の策定
- ・災害防御に係る特殊技術の研究及び訓練
- ・救急活動及び救助活動に係る特殊技術の研究及び訓練
- ・消防訓練及び地水利調査
- ・火災予防査察及び防火指導
- ・救命講習の指導
- ・開発行為等に係る消防施設の検査及び指導
- ・火災その他の災害の原因調査
- ・雑草地の火災予防対策
- ・自主防災組織等の訓練等の指導
- ・街頭消火器の点検
- ・所属施設等の管理

業務概要

9 予 算

(1) 令和8年度消防予算

款	項	目	金額(千円)	比率(%)
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	5,751,378	79.1
7,270,857千円	7,270,857千円	非 常 備 消 防 費	126,883	1.7
		消防施設整備費	1,392,596	19.2

(2) 市総予算と消防予算との比較

	市 総 予 算 (千 円)	消 防 予 算 (千 円)	比率(%)
令和8年度	191,981,000	7,270,857	3.8
令和7年度	180,895,000	5,856,666	3.2
令和6年度	167,906,000	5,801,381	3.5

(3) 消防費と人口の比較

予 算 額 (千 円)		1世帯当たり(円)	人口1人当たり(円)
市 総 予 算 額	191,981,000	929,564	433,408
消 防 予 算 額	7,270,857	35,205	16,414
常 備 消 防 費	5,751,378	27,847	12,984
非 常 備 消 防 費	126,883	614	286
消防施設整備費	1,392,596	6,742	3,143

2026.4.1 現在

(令和2年国勢調査人口等基本集計結果(確報)を基礎とした推計人口)

世帯 206,528世帯

人口 442,956人

10 「消防出初式」の開催

消防出初式は、年の初めに消防職員や消防団員が一堂に会し、消防活動に対する決意や士気を新たにする行事。

消防車両の行進、放水訓練及び救助訓練など、消防部隊の技術力や日頃の訓練成果を市民に示すと共に、消防団や地域住民との結びつきを強め、地域防災の重要性を共有し、市民に防火・防災意識を高めてもらう啓発の役割も担っている。

令和7年度は、2026年（令和8年）1月11日（日）に藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施した。



11 消防音楽隊の概要

1983年（昭和58年）4月1日、消防音楽隊として発足、消防総務課に属し、隊員は本部及び署所に配属され、隊長以下36人の職員をもって編成し、各種消防業務の傍ら練習に励み、消防広報のひとつとして、消防の行事及び市、その他諸行事に出演し、市民に親しまれ、愛される音楽隊として演奏活動に従事している。

消防音楽隊のあゆみ（発足経過）

1982.10. 1 (昭和 57 年)	消防職員福利厚生会音楽部として結成（部員 28 人） 羽田啓一（元横浜市消防局音楽隊長）専任講師 就任
1983. 4. 1 (昭和 58 年)	消防音楽隊として発足 隊長 1 人、隊員 43 人により編成する。

1987. 8. 1 (昭和 62 年)	隊長 1 人、副隊長 1 人、隊員 41 人に改める。
1990. 7. 1 (平成 2 年)	隊長 1 人、副隊長 2 人、隊員 41 人に改める。
1994. 9.30 (平成 6 年)	羽田啓一専任講師 勇退
1995. 4. 1 (平成 7 年)	山田哲朗（元横浜市消防局音楽隊長）専任講師 就任 隊長 1 人、副隊長 3 人、隊員 40 人に改める。
1996. 4. 1 (平成 8 年)	隊長 1 人、副隊長 3 人、隊員 36 人に改める。
1998. 4. 1 (平成 10 年)	隊長 1 人、副隊長 3 人、隊員 38 人に改める。
2000. 4. 1 (平成 12 年)	統括者 1 人、副統括者 2 人、隊員 50 人以内に改める。 （隊員のうち隊長 1 人、副隊長 3 人、楽長 1 人を置く）
2001. 4. 1 (平成 13 年)	山田哲朗専任講師 勇退
2001. 4. 2 (平成 13 年)	清水誠専任講師 就任

統 計

1 2 叙位・叙勲者

2026.4.1 現在

区 分	職・階 級	氏 名	受章年月日	概 要
消防職員	消防司令長	小 山 義 雄	S53. 8. 10	正七位勲六等単光旭日章
	消 防 監	富 田 伸 利	S54. 11. 3 S57. 9. 25	勲四等瑞宝章 従五位
	消防司令長	渡 辺 秀 一	S59. 4. 29 H12. 12. 23	勲六等単光旭日章 従七位
	消 防 司 令	武 井 桂一郎	S60. 4. 29 H13. 12. 22	勲六等瑞宝章 従七位
	消 防 正 監	大久保 一	S60. 10. 2	正五位勲四等瑞宝章
	消 防 監	大 塚 實	S63. 11. 3 H22. 1. 15	勲五等瑞宝章 正六位
	消 防 司 令	鯉 渕 勲	H 1. 11. 3	勲五等瑞宝章
	消 防 司 令	山 崎 秀 夫	H 2. 4. 29	勲六等単光旭日章
	消 防 司 令	鈴 木 章	H 4. 11. 3	勲六等単光旭日章
	消 防 正 監	瀬 沼 和 男	H 8. 4. 29 H21. 1. 16	勲四等瑞宝章 正五位
	消 防 監	端 山 誠 二	H10. 1. 25	従五位勲五等双光旭日章
	消 防 監	池 田 俊 雄	H10. 4. 29	勲五等瑞宝章
	消 防 監	山 田 喜 作	H11. 4. 29 H24. 6. 10	勲六等単光旭日章 正七位
	消防司令長	田 邊 積	H12. 4. 29 H13. 9. 5	勲六等瑞宝章 従七位
	消防司令長	星 崎 敏 久	H12. 11. 3 H21. 6. 30	勲五等瑞宝章 正七位
	消 防 監	小 澤 豊 作	H13. 4. 29	勲五等瑞宝章
	消 防 監	古 谷 昭五郎	H13. 11. 3 H24. 10. 25	勲五等瑞宝章 正七位
	消 防 監	神 崎 優 治	H15. 5. 4	従六位勲五等瑞宝章
	消 防 司 令	石 川 満 男	H15. 5. 25	正七位勲六等単光旭日章
	消防司令補	笠 間 宏 信	H15. 11. 3	瑞宝単光章
	消防司令補	富 田 久 司	H15. 11. 3	瑞宝単光章
	消防司令長	石 井 一 春	H15. 11. 3 R 6. 5. 8	瑞宝単光章 正七位

消防職員	消防司令長	廣 田 金 彌	H16. 4. 29 H20. 8. 31	瑞宝单光章 従七位
	消 防 司 令	山 本 完 夫	H16. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	鈴 木 清	H16. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	青 木 重 雄	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	岡 本 義 友	H16. 11. 3 R 4. 3. 16	瑞宝单光章 正七位
	消 防 司 令	日 下 嶺 雄	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	曾 我 高 秋	H17. 4. 25	正七位瑞宝单光章
	消 防 司 令	阿 部 信 雄	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	小 泉 英 雄	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	小 菅 章	H17. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 監	富 塚 秀 夫	H18. 7. 24	正七位瑞宝双光章
	消 防 監	矢 口 新 二	H18. 11. 3 H21. 10. 28	瑞宝双光章 正六位
	消 防 司 令	東海林 正 雄	H18. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	富 田 吉 守	H19. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	守 屋 行 雄	H19. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	小 松 義 治	H19. 11. 14 R 2. 4. 21	瑞宝双光章 正七位
	消 防 司 令	山 崎 朗	H19. 11. 14	瑞宝单光章
	消 防 監	日 下 清	H20. 11. 3 H24. 8. 5	瑞宝双光章 従五位
	消 防 監	神 山 喜代治	H20. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	加 藤 俊 彦	H20. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	吉 原 惣一郎	H20. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 正 監	亀 井 敬 一	H21. 4. 29 R 4. 4. 19	瑞宝小綬章 正七位
	消 防 監	櫻 井 利 春	H21. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	鈴 木 良 雄	H21. 4. 29 H25. 2. 23	瑞宝双光章 正六位
	消 防 監	重 田 優	H21. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 司 令	吉 成 一 二	H21. 10. 5	正七位瑞宝单光章
	消 防 正 監	山 口 正 直	H21. 11. 3 H29. 10. 6	瑞宝小綬章 従五位

消防職員	消 防 監	山 田 弘 明	H21. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	金 指 光 春	H21. 11. 3 R 5. 4. 24	瑞宝双光章 従六位
	消 防 監	武 田 安	H21. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	鬼 島 忠	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消防司令長	小 嶋 音 作	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	小 山 彰	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	林 一 治	H22. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	工 藤 榮	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	西 村 武	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	阿 部 上 弘	H23. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	安 部 智 徳	H23. 4. 29 H31. 4. 20	瑞宝单光章 正七位
	消 防 司 令	郷 戸 吉 雄	H23. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 正 監	伊 藤 昭 男	H23. 11. 3	瑞宝小綬章
	消 防 監	青 木 征 男	H23. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	加 藤 正 男	H23. 11. 3 H25. 8. 7	瑞宝双光章 従六位
	消 防 司 令	設 樂 俊 男	H23. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	関 庚 二	H23. 12. 15	正七位瑞宝单光章
	消 防 司 令	蛭 名 修	H24. 1. 9	瑞宝单光章
	消 防 監	桑 村 忠 藏	H24. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 司 令	杉 本 安 幸	H24. 4. 29 R 5. 8. 19	瑞宝单光章 正七位
	消 防 司 令	古 藤 光 康	H24. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 正 監	前 崎 文 男	H24. 11. 3	瑞宝小綬章
	消 防 監	川 端 敏 雄	H24. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	渡 邊 勇一郎	H24. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	若 菜 正 三	H24. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	大 石 良 雄	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	山 崎 清 治	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	富 田 孝 行	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	竹 森 良 一	H25. 8. 18	正七位瑞宝单光章
	消 防 司 令	関 根 昭 光	H25. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	千 田 功 治	H25. 11. 3	瑞宝单光章

消防職員	消 防 監	山 口 章	H25. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 正 監	小野寺 正 一	H26. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	小 池 正	H26. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 司 令	富 澤 幹 雄	H26. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	吉 田 秀 行	H26. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	西 村 光 夫	H26. 10. 8	正七位瑞宝单光章
	消 防 監	大牟禮 盛 雄	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	天 野 浩	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	加 藤 武	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	松 本 輝 雄	H27. 4. 29 H28. 1. 1	瑞宝单光章 正七位
	消 防 監	由 井 敏 郎	H27. 4. 29 R 6. 6. 29	瑞宝双光章 正七位
	消 防 監	矢 萩 幸 雄	H27. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	川 田 昭	H27. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	亀 井 寛	H28. 2. 13	正七位瑞宝单光章
	消 防 正 監	大 津 正 男	H28. 11. 3	瑞宝小綬章
	消 防 監	阿 部 眞 二	H28. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	日 下 昇	H29. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	山 口 登志男	H29. 4. 29	瑞宝双光章
	消 防 監	山 田 義 一	H29. 6. 1 R 8. 1. 9	瑞宝双光章 従六位
	消 防 監	鈴 木 肇	H29. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	佐 藤 則 克	H29. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	石 井 栄 二	H29. 12. 27	正七位瑞宝单光章
	消 防 正 監	金 子 司 洋	H30. 4. 29	瑞宝小綬章
	消防司令長	今 野 祐 二	H30. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	佐 藤 成 司	H30. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 監	小 池 賢 治	H30. 11. 3 R 6. 3. 10	瑞宝双光章 正七位
	消 防 監	福 島 節 夫	H30. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令長	角 田 達 美	H30. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	佐 藤 敬太郎	H30. 12. 23	正七位瑞宝单光章
	消 防 正 監	阿 部 正 昭	R 1. 5. 21	瑞宝双光章
	消 防 監	石 倉 隆 広	R 1. 5. 21	瑞宝双光章
	消防司令長	早 川 誠	R 1. 5. 21	瑞宝单光章

消防職員	消防司令長	竹 内 修	R 1. 5. 21	瑞宝单光章
	消 防 監	北 村 守 良	R 1. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 監	丸 山 孝 夫	R 1. 11. 3	瑞宝双光章
	消 防 司 令	長 島 利 夫	R 2. 4. 10	瑞宝单光章
	消 防 司 令	斉 藤 仁	R 2. 4. 10	瑞宝单光章
	消 防 司 令	安 齊 三 郎	R 2. 4. 10	瑞宝单光章
	消 防 司 令	小 松 実	R 2. 9. 13	正七位瑞宝单光章
	消 防 司 令	菊 池 久 壽	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消 防 司 令	小 島 輝 治	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消防司令長	小 川 哲 雄	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消防司令長	根 岸 和 夫	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消防司令長	三 觜 孝 男	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消 防 司 令	久 保 廣 文	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消 防 正 監	鈴 木 正 明	R 3. 4. 29	瑞宝小綬章
	消 防 司 令	植 田 雄 司	R 3. 10. 21	瑞宝单光章
	消防司令長	羽 田 啓 治	R 3. 10. 21	瑞宝单光章
	消防司令長	浦 澤 二三男	R 4. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	櫻 井 信 美	R 4. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	天 岸 重 徳	R 4. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	工 藤 大 成	R 4. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	野 毛 勉	R 4. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	増 田 良 一	R 4. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 正 監	見 澤 由 郎	R 4. 11. 3	瑞宝小綬章
	消 防 監	伊 藤 文 雄	R 5. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	清 水 学	R 5. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 監	小 野 清	R 5. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令長	丸 山 克 巳	R 5. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 監	安 齋 明 夫	R 5. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令長	岡 本 時 雄	R 6. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	高 橋 修	R 6. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	長 田 則 明	R 6. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	手 塚 良 司	R 6. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	比留川 雅 司	R 6. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	内 山 信 一	R 6. 11. 3	瑞宝单光章

消防職員	消 防 監	標 由 次	R 7. 4. 29	瑞宝双光章
	消防司令長	鈴 木 宗 一	R 7. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	早 坂 勉	R 7. 4. 29	瑞宝单光章
	消 防 司 令	佐 川 友 久	R 7. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	矢 野 雅 一	R 7. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	孫 田 由 夫	R 7. 11. 3	瑞宝单光章
	消 防 司 令	中 田 治 男	R 7. 11. 3	瑞宝单光章

区 分	職・階級	氏 名	受章年月日	概 要
消防団員	団 長	秋 元 大太郎	S 40. 11. 3 S 50. 5. 27	勲五等双光旭日章 正六位
	副 団 長	広 田 博	S 43. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	奥 富 文 吉	S 45. 11. 3	勲七等旭日章
	副 団 長	桜 井 竹次郎	S 46. 11. 3	勲六等单光旭日章
	副 団 長	渡 辺 万 蔵	S 46. 11. 3	勲六等瑞宝章
	副 団 長	福 岡 正 義	S 47. 4. 29	勲五等瑞宝章
	分 団 長	山 本 佐 吉	S 47. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	平 井 友 儀	S 47. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	木 下 豊 治	S 49. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	岡 本 重 治	S 49. 11. 3	勲六等瑞宝章
	副 団 長	湯 口 市太郎	S 50. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	須 藤 浅 次	S 52. 4. 29	勲七等旭日章
	団 長	秋 本 良 夫	S 59. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	山 崎 善 作	S 60. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	桜 井 信 雄	S 61. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	団 長	木 村 千代吉	S 62. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	吉 川 福 松	S 62. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	井 上 初 雄	S 63. 4. 29	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	伊 崎 竹 夫	S 63. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	須 藤 一 夫	H 3. 4. 29	勲六等瑞宝章
	団 長	鯨 井 義 一	H 5. 4. 29	勲六等单光旭日章
	副 団 長	小 池 一 男	H 6. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	西 山 誠 二	H 6. 12. 11	勲六等瑞宝章
	分 団 長	加 藤 久 直	H 7. 1. 6	勲六等瑞宝章
	副 団 長	石 井 完 一	H 8. 4. 29	勲六等瑞宝章

消防団員	副 団 長	田 所 敏 夫	H10. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	砂 川 三 次	H12. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	井 上 雅 夫	H13. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	志 村 俊 和	H13. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	川 戸 勇	H14. 4. 29	勲六等瑞宝章
	団 長	福 島 其 一	H15. 11. 3	瑞宝双光章
	分 団 長	浜 野 傳 吉	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	仙 田 謙 明	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	田 中 忠	H17. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	石 井 文 雄	H18. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	大 川 正 治	H18. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	山 崎 宣 英	H19. 11. 3	瑞宝单光章
	団 長	植 木 謙 治	H20. 4. 29	瑞宝双光章
	分 団 長	林 喜太郎	H20. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	日 尾 良 治	H21. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	池 田 稔	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	高 崎 晃	H24. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	田 中 禄 郎	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	菅 井 功	H25. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	小 嶋 勇	H26. 4. 29	瑞宝单光章
	副 分 団 長	吉 田 勝 政	H27. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	橋 本 鐵 雄	H28. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	小 泉 政 治	H29. 11. 3	瑞宝单光章
	団 長	川 口 勇喜夫	H30. 4. 29	瑞宝双光章
	副 団 長	廣 田 彰	H30. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	井 本 喬 充	R 1. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	桜 井 正 二	R 2. 4. 13	瑞宝单光章
	分 団 長	多 田 稔	R 2. 4. 13	瑞宝单光章
	分 団 長	甘 粕 佐 一	R 3. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	廣 瀬 保 則	R 4. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	柳 川 弘 之	R 4. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	関 根 源	R 5. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	内 山 萬 年	R 6. 3. 1	瑞宝单光章
	分 団 長	安 齋 由 雄	R 6. 4. 29	瑞宝单光章
	団 長	西 山 幸 成	R 7. 11. 3	瑞宝双光章

1 3 消防庁長官表彰授章

2026.4.1 現在

	職団員別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
功労章	消防職員						1				1				
	消防団員		1												
永年勤続功労章	消防職員	3	4	2	4	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3
	消防団員	6	5	5		2	1	1	1	2	1	3	1	2	2

1 4 消防職員年齢

2026.4.1 現在

	合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
合 計	495	1	3	13	99	111	151	48	69	
平均(年齢)	43.8	59.0	57.6	54.4	50.8	44.3	33.9	26.8	22.8	
18歳以上20歳未満	3								3	
20歳以上25歳未満	60							3	57	
25歳以上30歳未満	72						24	40	8	
30歳以上35歳未満	70						65	4	1	
35歳以上40歳未満	73					18	54	1		
40歳以上45歳未満	58				3	51	4			
45歳以上50歳未満	66				38	27	1			
50歳以上55歳未満	54			7	42	5				
55歳以上60歳未満	24	1	3	6	11	3				
60歳以上	15				5	7	3			

1 5 消防職員勤続年数

2026.4.1 現在

	合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
合 計	495	1	3	13	99	111	151	48	69	
平均(年数)	22.7	39.0	38.1	34.4	28.7	22.1	12.5	5.6	1.4	
1年未満	22					3	2		17	
1年以上 5年未満	69				2			15	52	
5年以上10年未満	70				3		35	32		
10年以上15年未満	70				1	2	66	1		
15年以上20年未満	65				1	26	38			
20年以上25年未満	71				9	53	9			
25年以上30年未満	57			2	39	16				
30年以上35年未満	46			7	33	6				
35年以上40年未満	13		2	3	5	2	1			
40年以上	12	1	1	1	6	3				

16 消防職員配置表

2026.4.1 現在

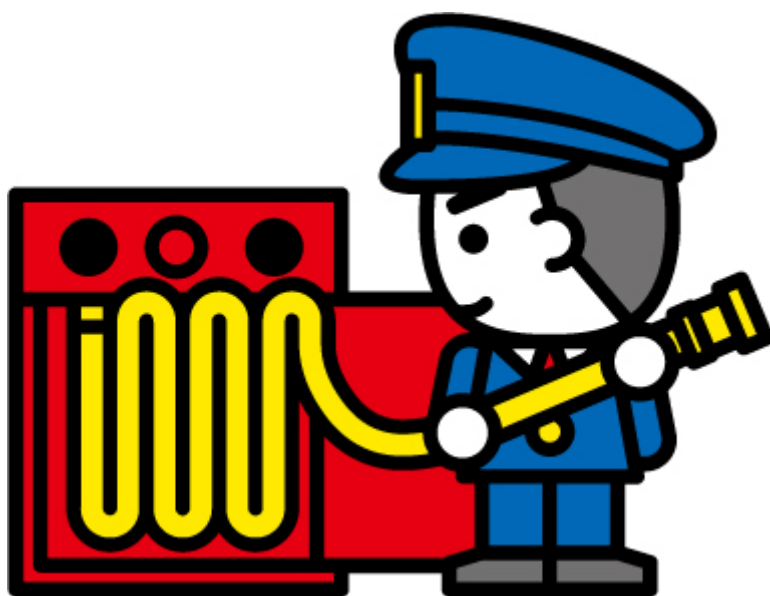
区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計		495	1	3	13	99	111	151	48	69	
消 防 局	消防局長	1	1								
	副消防局長	1		1							
	消防総務課	37			1	5	4	3	1	23	
	予防課	7			1	3	2	1			
	査察指導課	10			1	2	2	4	1		
	警防課	12			1	4	6	1			
	情報指令センター	27			1	7	9	10			
	救急救命課（本町救急隊、機動救急隊含む）	21			1	6	6	6	2		
	市長部局派遣	4			1	2	1				
	小計	120	1	1	7	29	30	25	4	23	
南 消 防 署	南消防署長	1		1							
	副署長	1			1						
	管理課	6				2	2	1	1		
	小計	8		1	1	2	2	1	1		
	南指揮隊	5			1	2	1	1			
	南本署隊	7				1	2	2	1	1	
	高度救助隊	8				1	1	6			
	南藤沢救急隊 1	5				1	1	3			
	南藤沢救急隊 2	5				1	1	1	1	1	
	南特別救助隊	9				1	2	2	2	2	
	辻堂救急隊	5				1	1	1	2		
	本町消防隊	6				1	2	1	1	1	
	荏田消防隊	7				1	2	2		2	
	荏田救急隊	5				1	1	1	1	1	
	村岡消防隊	6				1	2	2		1	
	村岡救急隊	5				1	1	2		1	
	鵜沼水難救助隊	8				1	1	4	2		
	明治消防隊	6				1	2	2		1	
	明治救急隊	5				1	1	1	1	1	
	小計	92			1	16	21	31	11	12	
	南指揮隊	5			1	2	2				
	南本署隊	7				1	3	1	1	1	
	高度救助隊	8				1	2	5			
	南藤沢救急隊 1	5				1	1	2	1		
	南藤沢救急隊 2	5				1	1	2		1	
	南特別救助隊	9				1	1	3	3	1	
	辻堂救急隊	5				1	1	2	1		
	本町消防隊	6				1	1	2	1	1	
	荏田消防隊	6				1	2	2		1	
	荏田救急隊	5				1	1	2		1	
	村岡消防隊	6				2	1	2		1	
	村岡救急隊	5				1	1	2	1		
	鵜沼水難救助隊	8				1	1	4	1	1	
	明治消防隊	6				1	1	2	1	1	
	明治救急隊	5				1	1	1	2		
	小計	91			1	17	20	32	12	9	
北 消 防 署	北消防署長	1		1							
	副署長	1			1						
	管理課	6				2	1	2	1		
	小計	8		1	1	2	1	2	1		
	北指揮隊	5			1	2	1	1			
	北特別救助隊	10				1	1	3	4	1	
	北藤沢救急隊	5				1	1	2	1		
	長後消防隊	6				1	2	2		1	
	長後救急隊	5				1	1	1	2		
	西部消防隊	7				1	1	2	1	2	
	西部救急隊	5				1	1	2		1	
	御所見消防隊	6				1	1	1	2	1	
	御所見救急隊	5				1	1	3			
	善行消防隊	6				1	2	2		1	
	善行救急隊	5				1	1	2	1		
	六会消防隊	6				1	2	1		2	
	六会救急隊	5				1	1	2		1	
	遠藤消防隊	7				1	1	3		2	
	遠藤救急隊	5				1	1	2		1	
	小計	88			1	16	18	29	11	13	
	北指揮隊	5			1	2	1	1			
	北特別救助隊	10				1	2	3	3	1	
	北藤沢救急隊	5				1	1	2	1		
	長後消防隊	6				1	1	3		1	
	長後救急隊	5				1	1	2	1		
	西部消防隊	7				1	2	1		3	
	西部救急隊	5				1	1	3			
	御所見消防隊	6				1	1	3		1	
	御所見救急隊	5				1	1	2		1	
	善行消防隊	6				2	1	2		1	
	善行救急隊	5				1	1	2		1	
	六会消防隊	6				1	2	1	1	1	
	六会救急隊	5				1	1	2	1		
	遠藤消防隊	7				1	1	3		2	
	遠藤救急隊	5				1	2	1	1		
	小計	88			1	17	19	31	8	12	

17 消防職員特殊技能資格

2026.4.1 現在

区 分			合 計	司令長以上	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
職 員 数			495	17	99	111	151	48	69	
自動車関係	大型自動車運転免許 第1種		374	14	91	104	136	28	1	
	大型自動車運転免許 第2種		6	1	2	1	1	1		
	大型特殊運転免許 第1種		5	1	2		2			
	大型特殊運転免許 第2種		2	1	1					
	中型自動車運転免許 第1種		25		2	10	10	2	1	
	普通自動車運転免許 第1種		183	4	22	33	90	22	12	
	普通自動車運転免許 第2種		6	1	1	2		2		
	けん引運転免許 第1種		8	1	3	3	1			
	けん引運転免許 第2種		3	1	1	1				
	普通自動二輪車運転免許		171	3	35	56	63	7	7	
	大型自動二輪車運転免許		51	5	23	15	8			
	自動車整備士		2		1		1			
	小型移動式クレーン		131	7	37	41	39	7		
	玉掛け技能		147	8	40	46	44	9		
船舶関係	小型船舶操縦士		97	11	31	28	20	6	1	
	潜水土		66	3	16	20	23	4		
救急・救助関係	衛生管理者		23	2	3	15	1	2		
	救急隊員資格者(救急科)		279	2	32	79	84	61	21	
	救急隊員資格者(Ⅱ課程)		13	2	5	4	2			
	救急隊員資格者(Ⅰ課程・135時間)		31	2	23	5	1			
	応急手当指導員		279	12	96	94	71	6		
	水上安全法救助員		12	1	8	3				
	毒物・劇物取扱主任者		19	1	6	6	3	2	1	
	酸欠硫化水素危険作業従事者		90	3	22	36	28	1		
機械関係	ガス溶接技能		1			1				
	アーク溶接技能		7	1	3	3				
	ボイラー技師2級		2			1		1		
	高圧ガス三種製造保安責任者		15	3	7	5				
	第1級陸上特殊無線技士		1		1					
	第2級陸上特殊無線技士		423	9	52	111	151	48	52	
	第3級陸上特殊無線技士		4	1	2		1			
予防関係	危険物取扱者(甲)		3		2	1				
	危険物取扱者(乙) 第1類		8	1	4	2	1			
	〃 第2類		6	1	4		1			
	〃 第3類		15	2	8	3	2			
	〃 第4類		467	6	99	111	151	48	52	
	〃 第5類		6	1	4	1				
	〃 第6類		6	1	4	1				
	危険物取扱者(丙)		23	3	12	6	2			
	消防設備士 (甲) 特 類									
	〃 第1類									
	〃 第2類									
	〃 第3類									
	〃 第4類		4			4				
	〃 第5類									
	消防設備士 (乙) 第1類									
	〃 第2類									
	〃 第3類									
	〃 第4類		3		3					
	〃 第5類		1		1					
	〃 第6類		18	1	5	5	7			
	〃 第7類		1		1					
	予防技術資格者		43	4	9	9	19	2		

4 予防



業務概要

1 8 火災予防対策

昭和23年に消防法が制定されて以来、大規模な建築物における消防用設備等の違反や防火管理体制の不備による火災、また小規模雑居ビルや社会福祉施設など、多数の死傷者が発生した火災を教訓としながら消防関係法令の改正がなされてきた。

住宅火災においては、平成18年6月から新築住宅への住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、既存住宅についても、平成23年5月末までに条例により設置が義務付けられた。

令和7年度は、同年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を鑑み、山林や原野等における火災予防の徹底を目的として、市火災予防条例に「林野火災注意報及び警報の発令に関する規定」を新設した。あわせて、近年のサウナブームによる簡易サウナ設備の普及実態を踏まえた総務省令等の改正に伴い、所要の改正を行った。

これらの法令改正等に対応しながら、的確・効率的な立入検査の実施や違反是正を推進するとともに、林野火災注意報・警報の適切な運用を図っている。令和7年度には林野火災注意報を46回、林野火災警報を2回発令した。さらに、地域における住宅防火対策についても、多角的な広報活動やイベントを展開し、火災予防対策のさらなる充実に努めている。

1 9 広報活動

火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るための有効な手段として、予防広報活動がある。火災の中でも、住宅火災は毎年多くの割合を占めているため、住宅防火を呼びかける広報活動は、火災件数の減少につながると考える。

そのため、火災予防キャンペーンや防災訓練等での住宅用火災警報器の普及啓発活動や消火器指導、市HPやSNSなどを活用した多様な広報活動により、広く市民に対し火災予防思想の普及を図っている。



20 住宅防火対策の推進

全国的に住宅火災による死者は、建物火災による死者の大部分を占め、特に高齢者の死者発生率が他の年齢層に比べて極めて高い状況にあるため、今後、高齢化社会が進展すると、本市においても火災による死者が増加することが懸念される。

このような状況に鑑み、本市における住宅火災による死傷者の低減を図ることを目的として、各種メディアの活用や火災予防キャンペーンの実施を通じ、住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理の啓発を推進している。

また、令和6年度からは市内老人クラブへの住宅防火講演等も開始し、地域に密着した防火指導体制の強化を図っている。

21 防火推進員の活動

「開かれた行政、親しみのある行政をモットーに、消防にも女性の目を」と昭和62年4月1日に全国でも初めて、女性消防モニター『藤沢市消防モニター』制度を発足。平成10年度からは、この制度をさらに発展させた『藤沢市家庭防火推進員』制度へと衣替えした。

さらに、令和2年度からは、家庭における自助の火災予防広報の推進から、共助としての地域における火災予防及び住宅火災対策に主眼を置く事業へと深化及び進化を図るため『藤沢市防火推進員』制度に移行。

市内在住の方を対象に毎年度約20人を『藤沢市防火推進員』として委嘱し、消防主催行事への参加、体験研修等を通じて防火に関する知識・技術を習得することで、家庭における自助の火災予防広報の推進はもとより、共助として地域における火災予防及び住宅防火対策への理解を深めるとともに消防に対する意見・提案等を行っていただくことを目的としている。

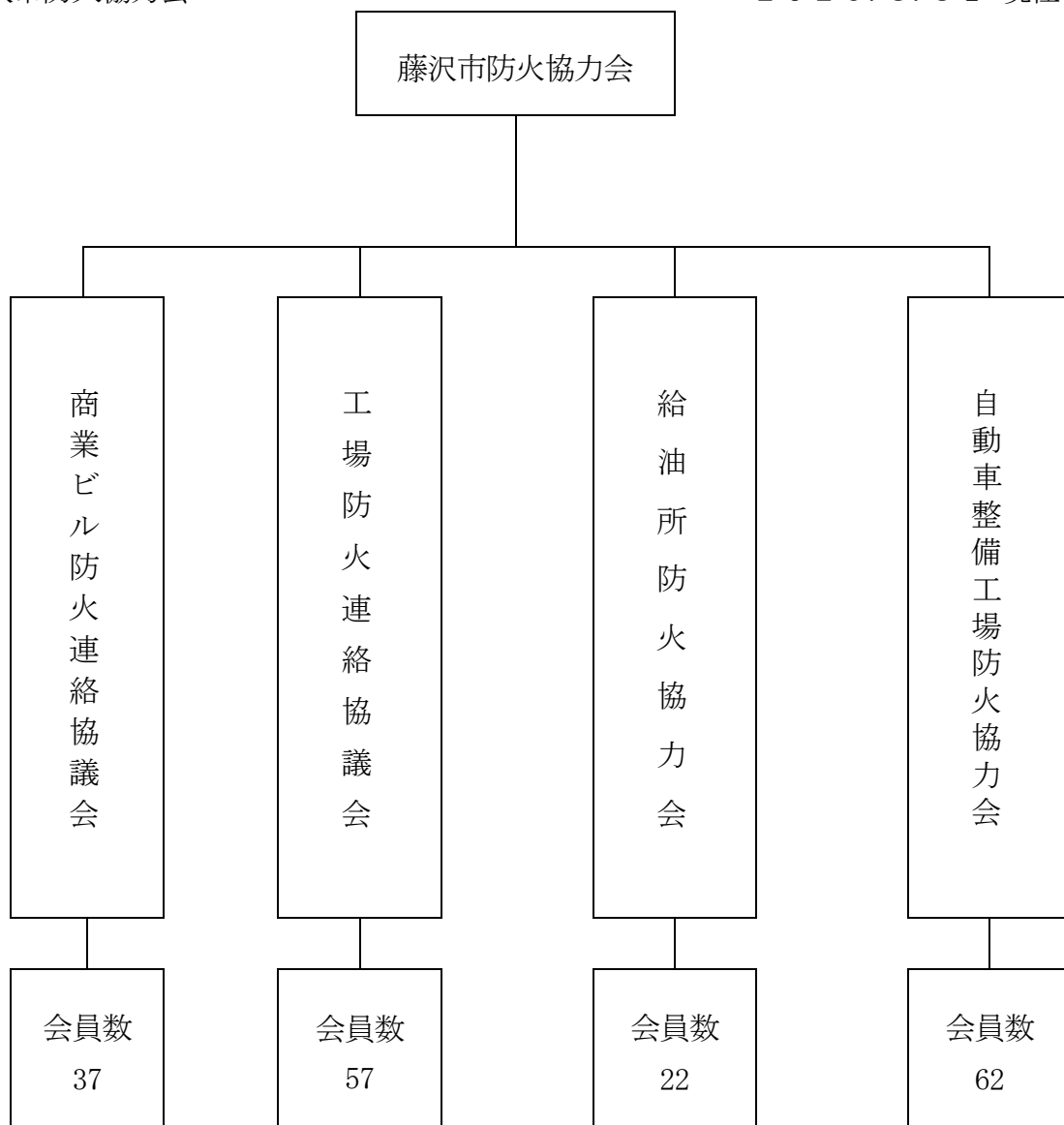
令和7年度防火推進員主な活動実績	4月16日	委嘱状交付
	5月16日	自主防災組織リーダー等研修会
	6月17日	指令室見学・消防用設備等説明会
	7月10日	危険物施設災害対応講習会
	8月30日	総合防災訓練
	11月26・27日	普通救命講習
	1月11日	消防出初式
	3月 1日	春季火災予防キャンペーン
	3月18日	意見交換会

2 2 防火協力会

市内各事業所と消防局との相互連携により、各種事業を通じ火災を含む各種災害の防止を図るとともに、安全で安心なまち藤沢を目指し活動している。

(1) 藤沢市防火協力会

2026.3.31 現在



(2) 主な事業

- ア 消防操法大会
- イ 火災予防運動
- ウ 会員研修
- エ 火災予防キャンペーン
- オ 消防出初式
- カ 役員研修会



2 3 防火対象物の現況

本市は、1960年以降の高度成長期を通じ、JR藤沢駅を中心に建築物の高層・大型化、複雑化に併せて密集化が進んできた。さらに1970年代に入ると、大型商業施設が進出し、湘南地域の商業の中心地として一層発展した。

また、湘南台駅周辺地区は、小田急電鉄江ノ島線のほか、相模鉄道いずみ野線（1999年3月）、横浜市営地下鉄線（同年8月）がそれぞれ乗り入れ、本市北部における新たな都市拠点として形成されて以降、防火対象物の増加が続いている。

JR辻堂駅周辺地域については、湘南C-X（シークロス）等、都市再生事業が進められ、テラスモール湘南や湘南藤沢徳洲会病院など高さ31メートルを超える高層建築物が相次いで建築された。

今後、藤沢駅周辺の再整備や村岡新駅を中心とした村岡地区のまちづくり等により、防火対象物の更なる増加が見込まれる。

（1）高層建築物

2026.3.31 現在

区 分	計	31m超え 11階未満	11階	12階	13階	14階	15階	16階 以 上
合 計	266	86	35	24	31	62	21	7
遊 技 場	2	2						
物 品 販 売	2	2						
ホ テ ル ・ 旅 館	6	3	2	1				
共 同 住 宅	161	12	28	19	28	52	19	3
病 院	2	2						
学 校	2	1						1
その他の事業所	19	19						
複 合 用 途	72	45	5	4	3	10	2	3



藤沢市役所
高さ
44.58m

(2) 主な商業ビル

2026.3.31 現在

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
テラスモール湘南	辻堂神台1-3-1	藤沢プライム	南藤沢2-1-2
L u z 湘南辻堂	辻堂神台1-2-12	ダイエー湘南台店	湘南台1-3-3
ビックカメラ藤沢店	藤沢559	藤沢オーパ	南藤沢22-3
フジサワ名店ビル	南藤沢2-1-1	サンパール藤沢ビル	藤沢555
オーケージャンボ 藤沢ビル	南藤沢6-23	イトーヨーカ堂 湘南台店	石川6-2-1
ODAKYU 湘南GATE	南藤沢21-1	ルミネ藤沢店	藤沢438-1
ダイヤモンドビル	南藤沢2-1-3	湘南とうきゅう	遠藤698-10
ケースデンキ 湘南藤沢店	葛原1695-3	オリンピック 藤沢店	渡内1-3-12
湘南モールフィル	辻堂新町4-1-1	ミスターマックス 湘南藤沢ショッピング センター	辻堂新町4-3-5
辻堂ショッピング デパート	辻堂新町1-6-35		



2025年12月

藤沢市消防局長年末特別立入検査（L u z 湘南辻堂）

2 4 防火対象物に係る表示制度

2003年に防火対象物点検制度が施行され、これに伴い、旅館・ホテル等の安全対策に係る旧適マーク制度が廃止された。その後、2012年5月に発生した広島県福山市のホテル火災において、当該火災が早期に延焼拡大し、多数の死傷者が発生した要因の一つとして、建築構造上の不適合が指摘されたことなどから、旅館・ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物に対して、建築構造等の適合性も盛り込んだ新たな表示制度がスタートすることとなった。

この制度は、2014年4月1日から施行され、旅館・ホテル等の防火管理体制及び建築基準適合の重要性に鑑み、防火対象物の関係者の防火に対する認識を高め、防火管理業務の適正化及び建築構造等の維持管理を促進することを目的としている。また、その情報を住民に公開するため、防火上一定の基準に適合している防火対象物については、その旨の表示マークを掲げることができる制度である。

表示マーク



2 5 防火管理及び防災管理

学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、複合用途防火対象物その他多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者は、その規模に応じ防火（防災）管理者を定め、消防計画の作成、消防訓練の実施など、防火（防災）管理上必要な業務を行わせなければならない。



2 6 自衛消防組織の設置と防災管理業務

消防法の一部改正（2009年6月1日施行）により、一定規模以上の防火対象物に対して自衛消防組織の設置と届出が義務となるとともに、その統括管理者（自衛消防隊長）等は必要な知識等を有すること（自衛消防業務講習の修了等）が必要となった。

また、防火管理業務に加えて地震等の災害に備えた防災管理業務が義務づけられ、防災管理者の選任、防災管理に係る消防計画の作成に加えて、年1回の防災管理点検の実施や防災管理点検の特例認定が制度化された。

これにより、市内にある33の事業所において防災管理の活動を行っている。

2 7 違反対象物の公表制度

この制度は、消防法令等に関する重大な違反のある建物について、その法令違反の内容を公表することにより、建物利用者等の防火安全に対する認識を高め、火災被害の軽減を図ることを目的としており、本市は2016年4月1日から運用を開始している。

対象となる建物は、不特定多数の者が利用する建物で、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備について、設置義務があるにもかかわらず、当該設備を構成する機器等が一切設置されていない建物である。なお、違反の是正が確認できるまで、藤沢市ホームページにおいて公表を行っている。

2 8 建築許可等についての同意事務

消防法第7条に基づき、消防機関が建築物の新築等の計画段階から、建築物の出火防止、消防用設備等の設置や、火災が発生した場合の避難及び延焼拡大防止に関することなど、総合的な防火対策に関する規定について審査するものである。

2025年度中の本市における同意事務件数は、874件で前年度と比較し78件増加した。なお、最も同意件数が多いのは、全体の約63%を占める専用住宅等であり、続いて共同住宅が約17%となっている



29 危険物規制事務

(1) 危険物施設の状況

本市における製造所等の危険物施設は減少傾向にあり、総数は昨年の343件から12件減少し331件となっている。主な内訳は、地下タンク貯蔵所82件、屋内貯蔵所85件、一般取扱所67件、給油取扱所58件、その他39件。類別では第4類の危険物が323件で、全体の97.6%を占めている。

(2) 危険物取扱者試験受験準備講習会

危険物取扱者試験の乙種第4類受験者を対象として、神奈川県危険物安全協会連合会主催により、5月・8月・11月・12月の年4回講習会を実施した。

(3) 危険物取扱者保安講習会

消防法第13条の23の規定に基づき神奈川県が主催する、保安講習（危険物取扱者講習）に9月・2月の年2回消防局から講師を派遣し、489人が受講して危険物取扱いの保安に努めている。

(4) 危険物の事務処理状況

2025.4.1～2026.3.31

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
許 可	設 置											
	変 更	115		2		1				7		105
完 成 検 査	設 置	1				1						
	変 更	115		3		1				7		104
仮使用承認		113		2		1				6		104
廃 止 (転出含む)		13		2	2	2			1	3		3
・ 仮貯蔵承認 0件 ・ 仮取扱承認 11件 ・ 水圧水張検査 0件												

統 計

30 査察対象物の状況

令別表第一		防 火 対 象 物 数 (棟)			
		合 計	消 防 局	南 署	北 署
合 計		12,612	493	5,968	6,151
(1) 項	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	7		2	5
	ロ 公会堂、集会場	37		19	18
(2) 項	イ キャバレー、カフェ				
	ロ 遊技場、ダンスホール	10		5	5
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ カラオケボックス等	2		1	1
(3) 項	イ 待合、料理店	1			1
	ロ 飲食店	152	3	80	69
(4) 項	百貨店、マーケット	318	15	134	169
(5) 項	イ 旅館、ホテル	43		39	4
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	6,852	2	3,382	3,468
(6) 項	イ 病院、診療所、助産所	126	6	64	56
	ロ 老人短期入所施設等	132		53	79
	ハ 老人デイサービスセンター等	198	2	91	105
	ニ 幼稚園、特別支援学校	42		20	22
(7) 項	小学校、中学校、高等学校、大学各種学校	317	101	112	104
(8) 項	図書館、博物館、美術館	4		2	2
(9) 項	イ 蒸気浴場、熱気浴場、その他類するもの	2		1	1
	ロ 公衆浴場	1		1	
(10) 項	車両の停車場、船舶航空機の発着場	11		7	4
(11) 項	神社、寺院、教会	123		71	52
(12) 項	イ 工場、作業所	713	187	121	405
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ				
(13) 項	イ 自動車車庫、駐車場	63	10	25	28
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫				
(14) 項	倉庫	344	23	71	250
(15) 項	前号に該当しない事業所	975	110	399	466
(16) 項	イ 複合用途 一部 1～4、5(イ)、6、9(イ)	1,383	23	852	508
	ロ イ以外の複合用途	753	11	413	329
(16 の 2) 項	地下街				
(16 の 3) 項	準地下街				
(17) 項	文化財施設等	3		3	
(18) 項	延長50m以上のアーケード				
(19) 項	市町村長の指定する山林				
(20) 項	総務省令で定める舟車				

2026.3.31 現在

消防法第8条に該当する 防火対象物数(敷地)				防火管理者選任状況		消防計画届出状況	
合 計	消 防 局	南 署	北 署	選 任 済 数	選 任 率 (%)	届 出 数	届 出 率 (%)
2,614	54	1,438	1,122	2,409	92	2,292	88
1		1		1	100	1	100
24		15	9	23	96	22	92
10		5	5	10	100	10	100
2		1	1	2	100	2	100
1			1	1	100	1	100
135		71	64	126	93	119	88
224	9	96	119	195	87	194	87
31		28	3	29	94	29	94
597		344	253	515	86	472	79
32		12	20	31	97	30	94
107		47	60	102	95	102	95
112		59	53	105	94	106	95
30		15	15	30	100	29	97
84	5	42	37	82	98	80	95
3		1	2	2	67	3	100
2		1	1	2	100	2	100
2		2		2	100	2	100
49		26	23	45	92	45	92
59	10	16	33	55	93	55	93
1	1			1	100	1	100
13	1	1	11	12	92	13	100
165	4	97	64	153	93	148	90
834	22	501	311	796	95	742	89
96	2	57	37	89	93	84	88

3 1 建築同意処理状況

2025.4.1～2026.3.31

項別	区分	同意 件数	指 導 有	指 導 無	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他
	合計	874	779	95	814	52					8	
(1) 項	イ	1	1		1							
	ロ	3	3		3							
(2) 項	イ											
	ロ											
	ハ											
	ニ											
(3) 項	イ											
	ロ	1	1			1						
(4) 項		7	5	2	4	3						
(5) 項	イ	2	2		2							
	ロ	149	149		149							
(6) 項	イ	1	1		1							
	ロ	6	6		5						1	
	ハ	4	4		4							
	ニ	1		1		1						
(7) 項		18	2	16	5	13						
(8) 項												
(9) 項	イ											
	ロ											
(10) 項												
(11) 項												
(12) 項	イ	6	5	1	4	2						
	ロ											
(13) 項	イ	5	5		5							
	ロ											
(14) 項		20	15	5	14	6						
(15) 項		69	25	44	59	8					2	
(16) 項	イ	28	25	3	22	1					5	
	ロ	5	5		5							
専 用 住 宅 等		548	525	23	531	17						

3 2 各種申請及び届出状況

2025.4.1～2026.3.31

区 分	合 計	窓口受付			電子申請
		消 防 局	南 署	北 署	
防火管理者選任(解任)届出書	1372	455	346	223	348
防火管理に係る消防計画作成(変更)届出書	1416	491	361	256	308
防災管理者選任(解任)届出書	215	180	25	10	
防災管理に係る消防計画作成(変更)届出書	222	189	27	6	
自衛消防組織設置(変更)届出書	37	21	2	11	3
消防用設備等着工届	556	556			
消防用設備等設置届	1467	1467			
消防用設備等点検結果報告書	5140	888	2127	1951	174
禁止行為解除承認申請(火気使用等許可申請)	36	14	2	13	7
防火対象物使用開始届	485	485			
火を使用する設備の設置(変更)届	28	22	1	3	2
燃料電池発電・変電・急速・発電・蓄電池設備設置届	97	71	2	10	14
ネオン管灯設備・水素ガス充てん気球設置届					
煙・火炎発生届	347	42	81	105	119
煙火打上・仕掛届	35	3	5	18	9
催物開催届	16	5	7	4	
道路工事等届	1415	176	273	217	749
少量危険物等貯蔵・取扱所設置(廃止)届	119	87	6	15	11
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始(廃止)届	44	3	7	33	1
旅館等防火安全施設調査願	13		13		
自衛消防訓練通知書・消防訓練等届出書	3808	310	1330	1156	1012
り災証明申請数	52		29	23	
危険物製造所等品名、数量及び倍数変更届出書	18	13			5
危険物製造所等廃止届出書	13	11			2
危険物製造所等譲渡引渡届出書					
危険物保安監督者選任・解任届出書	53	43			10
危険物製造所等軽微な変更工事届出書	125	119			6
危険物製造所等設置者氏名等変更届出書	64	50			14
危険物製造所等休止届出書					
危険物製造所等災害発生届出書	1	1			
露店等開設届	391	77	84	90	140
指定洞道等設置届	1		1		
統括防火管理者選任(解任)届出書	59	9	20	13	17

区 分	合 計	窓口受付			電子申請
		消 防 局	南 署	北 署	
全体についての消防計画作成(変更)届出書(防火)	67	15	23	10	19
統括防災管理者選任(解任)届出書	5	2	2	1	
全体についての消防計画作成(変更)届出書 (防災)	12	8	1	3	
工事中の消防計画届出書	57	46	3	1	7
防火対象物点検結果報告書	885	294	392	112	87
防災管理点検結果報告書	239	137	18	12	72
防火対象物点検に係る特例申請	3	1	1		1
防災管理点検に係る特例申請					
防火基準適合表示交付申請	1	1			
合 計	18914	6292	5189	4296	3137

3 3 危険物施設の推移・現況

2026.3.31 現在

推移・現況 区分		令和					令和7年 施設数内訳						
		3年	4年	5年	6年	7年	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在
合 計		364	360	346	343	331	2			323			6
製 造 所													
貯蔵所	小 計	223	221	211	209	203	2			198			3
	屋 内 貯 蔵 所	93	92	88	87	85	2			80			3
	屋外タンク貯蔵所	15	15	15	15	13				13			
	屋内タンク貯蔵所	8	8	7	7	7				7			
	地下タンク貯蔵所	90	89	86	83	82				82			
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1				1			
	移動タンク貯蔵所	8	8	6	7	7				7			
	屋 外 貯 蔵 所	8	8	8	9	8				8			
取扱所	小 計	141	139	135	134	128				125			3
	給 油 取 扱 所	66	64	62	61	58				58			
	販 売 取 扱 所	3	3	3	3	3				3			
	一 般 取 扱 所	72	72	70	70	67				64			3
事 業 所 数		191	191	181	182	179							

3 4 危険物製造所等立入検査実施状況

2025.4.1～2026.3.31

区 分		施設数	検 査 延件数	良 好 施設数	指 導 施設数
合 計		343	326	254	72
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	85	82	67	15
	屋外タンク貯蔵所	15	13	10	3
	屋内タンク貯蔵所	5	5	5	
	地下タンク貯蔵所	85	82	71	11
	簡易タンク貯蔵所	1			
	移動タンク貯蔵所	7	6	4	2
	屋 外 貯 蔵 所	10	9	8	1
取 扱 所	給 油 取 扱 所	61	59	33	26
	販 売 取 扱 所	3	3	1	2
	一 般 取 扱 所	71	67	55	12

3 5 危険物製造所等許可数量

種 別 ・ 品 名		合 計	製 造 所	小 計	貯		
					屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯 蔵 所	屋 内 タンク 貯 蔵 所
第一類 (kg)	第1種酸化性固体	2, 275		2, 275	2, 275		
	第2種酸化性固体						
	第3種酸化性固体	8, 900		8, 900	8, 900		
第二類 (kg)	硫化りん						
	赤りん						
	硫黄						
	鉄粉	4, 091		175	175		
	第1種可燃性固体	240		240	240		
	第2種可燃性固体	200		200	200		
	引 火 性 固 体	15					
第三類 (kg)	自然発火性禁水性	1					
第四類 (ℓ)	特 殊 引 火 物	319		319	319		
	第 1 石 油 類	1, 679, 002		145, 244	97, 668		
	アルコール類	111, 900		104, 876	30, 876	30, 000	
	第 2 石 油 類	3, 414, 813		1, 570, 669	197, 330	374, 099	12, 800
	第 3 石 油 類	1, 939, 413		850, 689	164, 989	155, 200	47, 100
	第 4 石 油 類	1, 057, 739		273, 507	172, 307		2, 000
	動 植 物 油	2, 747		2, 747	2, 747		
第五類 (kg)	第1種自己反応性						
	第2種自己反応性						
	他						
第六類 (ℓ)	酸 化 性 液 体						
施 設 件 数		331		203	85	13	7

2026.3.31 現在

蔵 所				小 計	取 扱 所		
地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所		給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
				3,916			3,916
				15			15
							1
47,000	576			1,533,758	1,507,973	6,400	19,385
44,000				7,024		1,200	5,824
946,600		21,240	18,600	1,844,144	1,433,449	20,400	390,295
431,400		4,000	48,000	1,088,724	49,770	300	1,038,654
49,200			50,000	784,232	4,100		780,132
82	1	7	8	128	58	3	67

5 火災



火災の実態

3 6 火災の概要

2025年中における市内の火災発生件数は127件で、焼損棟数は97棟、建物焼損床面積1,068㎡、損害額209,111千円、死者2人、負傷者13人であった。

区 分		年	2025年
火災件数			127件
同上1日当たり			0.35件
出火率(人口1万人当たり)			2.9件
建物焼損床面積			1,068㎡
損害額			209,111千円
火災1件当たりの損害額			1,647千円
火災による死者			2人
火災による負傷者			13人
出 火 原 因	1位 放火(※)		22 (10) 件
	2位 こんろ		17件
	3位 電気機器		16件

※ カッコ内の数字は「放火の疑い」の件数を示す。

統 計

3 7 火災比較表

区分	2025年	2024年	増減
出火件数（件）	127	106	21
建物火災	78	58	20
林野火災			
車両火災	4	12	-8
船舶火災			
航空機火災			
その他の火災	45	36	9
建物焼損棟数（件）	97	61	36
全焼	7	6	1
半焼	2	1	1
部分焼	26	9	17
ぼや	62	45	17
建物焼損床面積（㎡）	1,068	722	346
林野焼損面積（a）			
死傷者（人）	15	18	-3
死 者	2	4	-2
負傷者	13	14	-1
り災世帯数（世帯）	61	45	16
全損	7	7	
半損	2	4	-2
小損	52	34	18
り災人員（人）	132	116	16
損害額（千円）	209,111	103,214	105,897
建物	204,342	100,564	103,778
建物以外の火災	4,769	2,650	2,119
1件当たりの損害額（千円）	1,647	974	673
1日当たりの出火件数（件）	0.35	0.29	0.06
1日当たりの建物火災件数（件）	0.21	0.16	0.05
1日当たりの損害額（千円）	573	283	290
建物1件当たりの焼損棟数（棟）	1.23	1.05	0.18
建物1件当たりの焼損床面積（㎡）	13.7	12.4	1.3
建物1件当たりの損害額（千円）	2,620	1,734	886
出火率（人口1万人あたり）	2.9	2.4	0.5
主な出火原因			
1位	放火(※) 22(10)	放火(※) 15(10)	
2位	こんろ 17	電気機器 13	
3位	電気機器 16	たばこ 11	

※カッコ内の数字は「放火の疑い」の件数を示す。

3 8 出火時間別火災状況

2025.1.1～2025.12.31

出火時間別	火災種別							爆発
	合計 (件)	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
	127	78		4			45	
0 時 ～ 1 時	1	1						
1 時 ～ 2 時	1	1						
2 時 ～ 3 時	1	1						
3 時 ～ 4 時								
4 時 ～ 5 時								
5 時 ～ 6 時	1	1						
6 時 ～ 7 時	4	3					1	
7 時 ～ 8 時	3	1		1			1	
8 時 ～ 9 時	6	3					3	
9 時 ～ 10 時	5	4					1	
10 時 ～ 11 時	6	2					4	
11 時 ～ 12 時	7	5					2	
12 時 ～ 13 時	12	8					4	
13 時 ～ 14 時	7	5					2	
14 時 ～ 15 時	3	2					1	
15 時 ～ 16 時	9	5					4	
16 時 ～ 17 時	4	3					1	
17 時 ～ 18 時	7	4		1			2	
18 時 ～ 19 時	4	3					1	
19 時 ～ 20 時	13	7		1			5	1
20 時 ～ 21 時	8	7					1	
21 時 ～ 22 時	8	4		1			3	
22 時 ～ 23 時	2	1					1	
23 時 ～ 24 時	3	3						
不 明	12	4					8	

3 9 署所別火災状況

区分 <

2025.1.1～2025.12.31

り 災 世 帯				り 災 人 数	焼 損 床 面 積 （㎡）	焼 損 表 面 積 （㎡）	林 野 （a）	損 害 見 積 額 （ 千 円 ）								
全 損	半 損	小 損	計					合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
									建 築 物	収 容 物						
7	2	52	61	132	1, 068	252		209, 111	84, 154	120, 188		2, 214			1, 625	930
3	1	28	32	66	368	112		45, 343	38, 708	4, 885		1, 742			8	
		6	6	11	9			3, 642	2, 431	1, 211						
2		7	9	23	160	4		11, 867	7, 619	2, 506		1, 742				
		4	4	6	17	10		1, 404	1, 167	237						
		7	7	13		5		167	2	157					8	
1	1	2	4	11	182	65		28, 208	27, 484	724						
		1	1	1		27		15	5	10						
		1	1	1		1		40		40						
4	1	24	29	66	700	140		163, 768	45, 446	115, 303		472			1, 617	930
		2	2	3	146	126		117, 367	2, 716	113, 721						930
		7	7	18	98			34, 740	34, 046	83					611	
		3	3	6	46	8		2, 036	1, 805	129		100			2	
2		5	7	21	180	3		1, 144	489	531		12			112	
2		6	8	13	173	3		6, 086	4, 641	554					891	
		1	1	4				8	1	7						
	1		1	1	57			2, 387	1, 748	278		360			1	

4 0 地区別火災状況

区分 地区別	計	火 災 種 別						爆	原 因 大 別				死者 48 時間	負傷者 30 日間	焼 損 棟 数								計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他		失 火	放 火	不 明	そ の 他			火 元 棟				延 焼 棟				
															全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
	127	78		4		45	1	100	22	5		2	13		5	2	12	58	2		14	4	97
片 瀬	3	2				1		3										2					2
鵜 沼	18	16				2		17	1				1				2	14					16
辻 堂	13	7		1		5		13							1		1	5	2		1	2	12
村 岡	4	2				2		3		1			2		1		1				2		4
藤 沢	15	8				7		9	6			1	3			1	3	4					8
明 治	6	6						6										6					6
善 行	12	8				4		8	3	1		1	1		1			7			3		11
湘南大庭	17	6		1		10		13	4				2				1	5					6
六 会	3	2				1		1	2									2					2
湘南台	10	10					1	10									2	7					9
遠 藤	6	3				3		5	1				1			1		2					3
長 後	6	5				1		4	1	1			1		1			4			5		10
御所見	14	3		2		9		8	4	2			2		1		2				3	2	8

2025.1.1～2025.12.31

り 災 世 帯				り 災 人 数	焼 損 床 面 積 （㎡）	焼 損 表 面 積 （㎡）	林 野 （a）	損 害 見 積 額 （ 千 円 ）								
全 損	半 損	小 損	計					合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
									建 築 物	収 容 物						
7	2	52	61	132	1,068	252		209,111	84,154	120,188		2,214			1,625	930
		2	2	4		27		12		12						
		10	10	16	9	5		3,797	2,438	1,359						
2		9	11	28	160	4		11,882	7,619	2,513		1,742			8	
1		1	2	6	162	62		26,891	26,424	467						
	1	5	6	11	37	13		2,721	2,227	494						
		1	1	1		1		40		40						
2		6	8	13	173	3		6,086	4,641	554					891	
		3	3	6	46	8		2,036	1,805	129		100			2	
		1	1	4				8	1	7						
		2	2	3	146	126		117,367	2,716	113,721						930
	1	1	2	6	57			2,030	1,748	281					1	
		6	6	13	98			34,737	34,046	80					611	
2		5	7	21	180	3		1,504	489	531		372			112	

4 1 月別火災状況

区分 月別	2 0 2 5 年	火 災 種 別						原 因 大 別				死 者 48 時 間	負 傷 者 30 日	焼 損 棟 数										計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発	失 火	放 火	不 明			そ の 他	火 元 棟				延 焼 棟					
															全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
	127	78		4		45	1	100	22	5		2	13		5	2	12	58	2		14	4	97	
1 月	6	4				2		5	1				1					4					4	
2 月	12	7		1		4		11		1			3		1			6			2		9	
3 月	18	8		1		9		14	2	2		1	2		2		1	5			8		16	
4 月	9	6		1		2		9					1			1	1	4					6	
5 月	8	8					1	7	1				1				3	4					7	
6 月	10	7				3		7	2	1		1					2	5					7	
7 月	12	8				4		10	1	1					1		1	6			3	2	13	
8 月	7	4				3		7										4					4	
9 月	5	4				1		5					1				2	2					4	
10 月	9	5		1		3		4	5				1					5					5	
11 月	15	7				8		8	7				2		1	1		5	2		1	2	12	
12 月	16	10				6		13	3				1				2	8					10	

2025.1.1～2025.12.31

り 災 世 帯				り 災 人 数	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	林 野 (a)	損 害 見 積 額 (千 円)								
全 損	半 損	小 損	計					合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
									建 築 物	収 容 物						
7	2	52	61	132	1,068	252		209,111	84,154	120,188		2,214			1,625	930
		1	1	2				96							96	
1		5	6	10	158	80		26,903	26,395	148		360				
2		10	12	25	291	3		43,262	40,323	445		1,015			1,479	
	1	4	5	9	57	5		2,460	1,987	373		100				
		5	5	7	26	9		6,029	3,596	1,503						930
		4	4	9	12	9		1,139	203	911					25	
2		8	10	27	161	3		684	285	398					1	
		3	3	6				9	1	8						
		2	2	2	126	131		114,508	1,079	113,421					8	
		4	4	9		9		15		5		10				
2	1	6	9	26	177			11,788	8,426	2,635		727				
					60	3		2,218	1,859	341		2			16	

4 2 防火対象物別火災状況

防火対象物別		計	原因大別				死者 48時間 負傷者	30 日間	焼損棟数								計	
			失 火	放 火	不 明	そ の 他			火元棟				延焼棟					
									全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
		127	100	22	5		2	13		5	2	12	58	2		14	4	97
防火 対 象 物 別	防火対象物別の合計	45	40	5				5			1	6	37					44
	(1)イ 劇場、映画館																	
	(1)ロ 公会堂又は集会場																	
	(2)イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等																	
	(2)ロ 遊技場又はダンスホール																	
	(2)ハ 性風俗関連特殊営業等																	
	(2)ニ カラオケボックス等																	
	(3)イ 待合、料理店等																	
	(3)ロ 飲食店	1	1										1					1
	(4) 百貨店、マーケット等																	
	(5)イ 旅館、ホテル等	1	1										1					1
	(5)ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	19	16	3				3				2	17					19
	(6)イ 病院、診療所等																	
	(6)ロ 老人短期入所施設等																	
	(6)ハ 老人デイサービスセンター等	1	1										1					1
	(6)ニ 幼稚園等																	
	(7) 小学校、中学校、高等学校等	1		1									1					1
	(8) 図書館、博物館、美術館																	
	(9)イ 特殊浴場																	
	(9)ロ 公衆浴場																	
	(10) 車両の停車場等																	
	(11) 神社、寺院、教会等																	
	(12)イ 工場又は作業場	3	3									1	1					2
	(12)ロ 映画スタジオ等																	
	(13)イ 自動車車庫又は駐車場																	
	(13)ロ 飛行機格納庫																	
	(14) 倉庫	1	1										1					1
	(15) 官公署																	
(15) 事務所																		
(15) その他	1	1									1						1	
(16)イ 複合用途（特定）	16	15	1				2			1	2	13					16	
(16)ロ 複合用途（非特定）	1	1										1					1	
(16の2) 指定地下街																		
(16の2) その他の地下街																		
(16の3) 建築物の地階																		
(17) 重要文化財等指定建造物																		
(18) アーケード（50m以上）																		
(19) 市町村の指定する山林																		
(20) 総務省令で定める舟車																		
専用住宅		28	24		4		1	6		4	1	5	18	2		11	2	43
その他建物		5	2	2	1					1		1	3			3	2	10
建物火災以外		49	34	15			1	2										

2025.1.1~2025.12.31

[illegible]

4 3 出火原因別火災状況

出火原因（発火源別）	件 数 計	損害額合計 （千円）	建 物 火 災				
			件	焼損床面積 （㎡）	焼損表面積 （㎡）	建築物 損害額 （千円）	収容物 損害額 （千円）
	127	209, 111	78	1, 068	252	84, 154	120, 188
たばこ	9	1, 677	4	31	4	1, 219	457
こんろ	17	3, 379	17	77	13	2, 813	566
かまど							
風呂かまど							
炉	1	930	1				
焼却炉							
ストーブ	1	2	1				2
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管	1	10					
電気機器	16	115, 013	13	130	135	1, 115	113, 756
電気装置	3	547	3				547
電灯・電話等の配線	8	459	6		8	239	212
内燃機関							
配線器具	9	2, 982	8	19		1, 539	428
火あそび							
マッチ・ライター							
たき火	2						
溶接機・切断機							
灯火	1		1		9		
衝突の火花							
取灰							
火入れ							
放火	10	1	6				1
放火の疑い	12	3, 709	1	9		2, 431	1, 181
その他	32	13, 014	12	207	27	9, 289	2, 636
不明・調査中	5	67, 388	5	595	56	65, 509	402

2025.1.1～2025.12.31

林 野 火 災			車 両 火 災		船 舶 火 災		航空機火災		そ の 他		爆 発	
件	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)
			4	2,214					45	1,625	1	930
									5	1		
											1	930
			1	10								
			1	102					2	40		
									2	8		
			1	1,015								
									2			
									4			
									11	97		
			1	1,087					19	2		
										1,477		

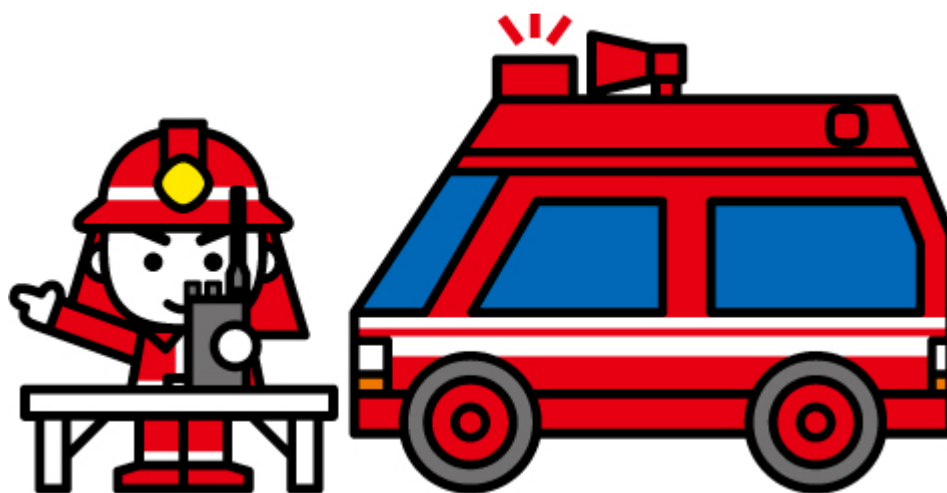
4 4 他都市との火災比較

		全 国 (概数)	神奈川県 (概数)	藤沢市	近	
					横浜市	川崎市
火 災 件 数	合 計	40,783	2,323	127	780	470
	建 物	22,345	1,397	78	495	304
	林 野	1,043	7			
	車 両	3,692	196	4	64	35
	船 舶	78	2		2	
	航 空 機	5				
	そ の 他	13,620	721	45	219	131
出火率 (1万人当り)		3.28	2.52	2.9	2.1	3.0
焼 損 床 面 積	建物 (㎡)	999,472	28,898	1,068	5,825	2,711
	林野 (a)	541,288	679			
損害額(千円)		105,395,030	3,930,124	209,111	704,172	1,241,483
死 傷 者	死 者	1,414	65	2	22	12
	負傷者	5,949	311	13	109	59
主 な 出 火 原 因	1位	放火 (疑い含む) 4,041	放火 (疑い含む) 400	放火 (疑い含む) 22	放火 (疑いを含む) 170	たばこ 64
	2位	たばこ 3,479	たばこ 294	こんろ 17	たばこ 128	電気機器 放火 (同数)55
	3位	たき火 3,303	電気機器 261	電気機器 16	電気機器 107	こんろ 52

* 独自分類の出火原因については、回答のとおり表記しています。

隣		消		防	
相模原市	横須賀市・三浦市	平塚市	茅ヶ崎市・寒川町	小田原市・南足柄市 ・中井町・大井町 ・松田町・山北町 ・開成町	鎌倉市
192	119	49	69	93	37
115	59	27	43	46	26
2				1	
17	12	5	5	11	2
58	48	17	21	35	9
2.7	2.9	1.9	2.4	3.2	2.2
4,179	874	1,246	1,209	780	836
3				19	
520,983	3,411	157,038	173,505	23,644	76,515
8	4	2	1	3	
33	27	10	8	8	3
電気機器	電気関係	その他	放火 ・放火の疑い	たき火	その他
28	36	9	9	25	10
たばこ	放火 (疑いを含む)	電気機器	たばこ 電気機器	放火 (疑いを含む)	放火 (疑いを含む)
25	17	8		9	9
放火 (疑いを含む)	たばこ	不明・調査中	配線器具 (同数) 7	たばこ	電気関係
17	13	7		6	5

6 警防



業務概要

過去の大規模災害を教訓として、近年中に発生が懸念されている大規模地震や、激甚化・頻発化する風水害、また、テロ等の特殊災害など市民生活における様々な脅威への対策を強化するため、職員の警防技術の向上をはじめ、車両や資機材の充実強化を図り、大規模災害に強い消防体制の確立に努めている。

4 5 一般業務

消防隊は火災等の防ぎょ活動のほか、次のような業務を行っている。

- (1) 訓練（個人訓練、隊訓練、救助訓練、総合訓練）
- (2) 調査（雑草等調査、空家調査）
- (3) 点検（管区内外水利点検）
- (4) 検査（消防法第4条に基づく立入検査、防火水槽検査）
- (5) 教養（立入検査に関する教養、地水利把握、一般教養）
- (6) 防災育成指導
- (7) 水難救助（消防隊を兼務する鵜沼水難救助隊を配置）

4 6 大規模災害対策

消防局の震災対応力の向上を図るため、大規模地震発生により本市が被災したことを想定した震災対応訓練を令和7年10月24日、25日の2日間にわたり継続して実施するとともに、令和8年1月21日には関係各課との連携強化を目的に、藤沢市防災安全部災害対策課が主催した地震災害図上訓練に参加した。

また、近年、発生が危惧されている大規模地震や気候変動の影響による大雨の増加、台風の強大化など、大規模かつ多様化する災害に対応するため、令和4年度から導入している映像伝送システム（ドローン、ウェアラブルカメラ等）を積極的に活用し、更なる指揮本部機能の強化を図った。



4 7 本市の訓練実施状況

特殊災害並びに先の大震災の教訓を生かし、発災時における消防活動体制の強化と消防技術の向上及び隊員の気力、体力を錬成する目的から次の各種訓練を実施した。

(1) 警防部隊連携訓練

令和7年10月9日、14日の2日間、消防防災訓練センターにおいて、強固な部隊連携による火災対応力の強化を図ることを目的に実施した。

(2) 総合訓練

令和7年11月20日、21日、消防防災訓練センターにおいて、火災対応力及び安全管理体制強化を目的に、実災害の出場部隊数による総合（実戦）的な訓練を実施した。

(3) 特殊災害対応訓練

令和8年2月2日、3日の2日間、消防防災訓練センターにおいて、特殊災害事案対応力の強化及び指揮能力の向上を図ることを目的に、実災害の出場部隊数による訓練を実施した。



4 8 消防車両等の整備

消防力の充実強化を図るため計画的に消防車両等を整備した。

- (1) 消防ポンプ自動車 (C D - I 型) 1 台 (村岡出張所)
- (2) 3 0 m 級梯子付消防自動車 1 台 (辻堂出張所)
- (3) 高規格救急自動車 2 台 (救急ワークステーション・村岡出張所)
- (4) 江の島救急車 1 台 (鵜沼出張所)



消防ポンプ自動車



3 0 m 級梯子付消防自動車



高規格救急自動車



江の島救急車

4 9 開発行為規制事務

平成 2 1 年 7 月 1 日に施行された「藤沢市特定開発事業等に係る手続及び基準に関する条例」及び「都市計画法」に基づき、公共施設の整備促進を図り、良好な都市を形成するため市内における開発行為及び中高層建築物の建築に関する協議を行っている。

開発行為

- (1) 都市計画法第 4 条第 1 2 項に規定する開発行為でその規模が 5 0 0 平方メートル以上のものに対する消防水利の設置。
- (2) 「藤沢市特定開発事業等に係る手続及び基準に関する条例」に該当する中高層建物に対する消防用活動空地及び消防水利の設置。

50 広域応援体制

地震や風水害等における他都道府県からの消防応援の受け入れ及び本市からの派遣に備え「緊急消防援助隊受援計画」及び「緊急消防援助隊応援等実施計画」を定めている。

本市は緊急消防援助隊として、令和8年4月現在、救急特別編成部隊統括救急隊、消火小隊、救助小隊（水難救助隊を含む）、救急小隊、後方支援小隊、特殊災害小隊及び特殊装備小隊（はしご自動車、大型水槽車、大型ブローア装置搭載車、遠距離送水用ポンプ車）を総務省消防庁へ登録している。

これまでの派遣履歴

- （1）苫小牧における製油所原油貯蔵タンク火災（平成15年10月）に遠距離大量送水隊及び後方支援隊1隊を1次隊及び2次隊として合計27人を14日間派遣した。
- （2）新潟県中越地震（平成16年10月）において、救助隊1隊、救急隊1隊及び後方支援隊1隊の合計21人を4日間派遣した。
- （3）東日本大震災（平成23年3月）において、宮城県に3月11日から3月20日まで救助隊1隊、消防隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計55人を交代で10日間、福島県に3月19日から6月6日まで救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計62人を交代で58日間派遣した。
- （4）静岡県熱海市土石流災害（令和3年7月）において、静岡県熱海市に7月3日から7月12日まで消防隊1隊、救助隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計64人を交代で10日間派遣した。
- （5）能登半島地震（令和6年1月）において、石川県輪島市に1月10日から2月12日まで救助隊1隊、特殊装備隊（大型水槽車）1隊、後方支援隊2隊（1月30日から1隊）の合計139人を交代で34日間派遣した。
- （6）岩手県大船渡市林野火災（令和7年3月）において、岩手県大船渡市に3月3日から3月12日まで特殊装備隊（遠距離送水用ポンプ車、大型水槽車）2隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計54人を交代で10日間派遣した。



5 1 国際消防救助隊

大規模な災害が発生した場合に、被災国政府等からの救助要請に対応するため、令和8年4月現在6人を国際消防救助隊員として登録している。

(1) 派遣実績

平成20年5月に中華人民共和国四川省で発生した地震災害に対し、本市から2人を国際消防救助隊員として派遣した。

(2) 訓練実績

ア 令和5年10月3日から10月8日にかけて、JICAが主催した国際緊急援助隊救助チーム技術訓練に登録隊員1人が参加した。

イ 令和7年10月29日、30日に相模原市消防局が主催した国際消防救助隊県内合同訓練に登録隊員3人が参加した。

ウ 令和8年1月28日から1月30日にかけて、総務省消防庁等が主催した国際消防救助隊連携訓練に登録隊員1人が参加した。

エ 令和8年2月16日から19日にかけて、総務省消防庁等が主催した国際消防救助隊セミナーに登録隊員1人が参加した。

5 2 歳末火災特別警戒

年末の慌ただしさに加え、火気への注意力の低下、空気の乾燥、さらに火気使用の増加と火災発生の危険性が増大することが予想されることから、火災等の災害に迅速に対処するため、消防の総力をあげて警戒の万全を期するとともに、市民の火災等に対する警戒心を喚起することを目的とし、令和7年12月25日から同年12月31日まで歳末火災特別警戒を実施した。



統 計

5 3 消防局署現有車両

2 0 2 6 . 4 . 1 現在

配置		区分	車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
				車 名	総排気量		長さ	幅	高さ
消 防 局	消防総務課		指令車	トヨタ	2,490	1,845	489	180	165
			乗用車	トヨタ	1,790	2,005	469	169	182
	予防課		広報車 (火災原因調査車)	ニッサン	2,430	3,375	473	169	209
	査察指導課		広報車 (査察車)	ニッサン	1,990	2,280	476	171	196
			軽自動車	ダイハツ	650	1,370	339	147	189
	警防課		警防活動車	ニッサン	1,990	1,845	469	182	185
			消防団広報車	ミツビシ	2,350	2,230	475	179	203
			消防団活動車	ニッサン	2,480	2,600	469	169	221
			軽自動車	スズキ	650	1,310	339	147	189
	救急救命課 救急WS		広報車	ニッサン	1,990	2,100	471	169	206
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,185	566	189	249
			軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
南 消 防 署		南本署	指令車	スバル	1,990	1,955	462	181	187
			南管理広報車	ニッサン	1,430	2,300	476	171	200
			軽自動車 (トラック)	スズキ	650	1,270	339	147	188
			支援車Ⅲ型 (人員搬送車)	トヨタ	4,000	4,655	634	203	295
			救急普及啓発広報車	ニッサン	4,470	4,585	647	207	273
			指揮車	トヨタ	1,990	2,970	475	169	238
			救助工作車 (Ⅲ型)	いすゞ	5,190	11,925	827	240	330
			支援車Ⅱ型 (資機材搬送車)	いすゞ	5,190	10,900	654	224	304
			消防ポンプ自動車 (CD-I型)	いすゞ	2,990	6,405	585	193	285
			消防ポンプ自動車 (非常用消防車)	いすゞ	2,990	5,865	590	191	285
			40m級梯子付消防自動車	いすゞ	15,680	19,640	1,090	249	350
			遠距離送・排水システム車	いすゞ	5,190	14,835	765	246	323
			軽自動車	ミツビシ	650	1,380	339	147	194
			軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	197
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
			高規格救急自動車 (非常用救急車)	トヨタ	2,690	3,235	562	189	249
			高規格救急自動車 (非常用救急車)	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249

配置		区分	車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
				車 名	総排気量		長さ	幅	高さ
南 消 防 署	辻堂出張所		救助工作車（消防ポンプ付き）	いすゞ	5,190	10,260	777	238	320
			30m級梯子付消防自動車	日野	8,860	19,530	1,051	249	356
			ミニ消防ポンプ車	スズキ	650	1,410	340	147	193
			軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249
	本町出張所		水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	9,890	640	238	290
			資機材搬送車	いすゞ	2,990	6,955	548	194	292
			軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
	荏田出張所		消防ポンプ自動車（CD-I型）	いすゞ	2,990	6,385	592	194	281
			消防ポンプ自動車（非常用消防車）	いすゞ	5,190	10,970	720	230	290
			資機材搬送車	いすゞ	2,990	7,495	640	220	306
			軽自動車	ダイハツ	650	1,450	339	147	198
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249
	村岡出張所		消防ポンプ自動車（CD-I型）	いすゞ	2,990	6,495	590	193	285
			軽自動車	ダイハツ	650	1,470	339	147	196
			支援車I型	いすゞ	7,790	12,390	946	247	354
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,135	566	189	249
	鵜沼出張所		消防ポンプ自動車（CD-I型）	いすゞ	2,990	6,995	584	194	300
			水難救助車	いすゞ	4,770	7,315	748	224	300
			ボートトレーラ	ソレックス	—	660	431	169	91
			軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	197
			江の島救急車	ダイハツ	650	1,340	339	147	197
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,195	566	189	249
	明治出張所		化学消防ポンプ自動車（I型）	いすゞ	5,190	10,910	695	232	307
			大型ブローカー車	いすゞ	5,193	9,730	818	232	353
			軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
			高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249

区分 配置		車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
			車 名	総排気量		長さ	幅	高さ
北 消 防 署	北本署	指令車	スバル	1,990	1,955	462	181	187
		北管理広報車	ニッサン	1,430	2,300	476	171	200
		軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
		指揮車	トヨタ	2,690	3,000	565	188	250
		救助工作車 (Ⅲ型)	いすゞ	5,190	11,105	806	234	324
		消防ポンプ自動車 (CD-I型)	いすゞ	2,990	6,465	592	193	282
		40m級梯子付消防自動車	いすゞ	15,680	19,450	1,125	249	367
		軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,215	565	190	249
		高規格救急自動車 (非常用救急車)	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
	長後出張所	消防ポンプ自動車 (CD-I型)	いすゞ	2,990	6,175	592	193	285
		消防ポンプ自動車 (非常用消防車)	いすゞ	2,990	6,465	590	193	285
		軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
	西部出張所	水槽付消防ポンプ自動車 (I-B型)	いすゞ	5,190	10,640	700	236	300
		30m級梯子付消防自動車	いすゞ	15,680	16,440	1,000	249	346
		軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249
		高規格救急自動車 (非常用救急車)	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
	御所見出張所	消防ポンプ自動車 (CD-I型)	いすゞ	2,990	6,115	591	194	290
		消防ポンプ自動車 (非常用消防車)	いすゞ	5,190	9,570	635	233	287
		大型水槽車	いすゞ	7,790	19,060	825	249	320
		軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	198
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,215	565	190	249
	善行出張所	消防ポンプ自動車 (CD-I型)	いすゞ	2,990	6,995	580	193	276
		軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249
	六会出張所	水槽付消防ポンプ自動車 (I-B型)	いすゞ	5,190	10,850	695	234	306
		軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
	遠藤出張所	化学消防ポンプ自動車 (Ⅱ型)	いすゞ	5,190	11,860	695	234	319
		資機材搬送車	いすゞ	2,990	7,495	640	220	306
		軽自動車	ダイハツ	650	1,450	339	147	199
		高規格救急自動車	トヨタ	2,690	3,235	566	189	249

5 4 署所別消防水利設置状況

2026.4.1現在

区分		合計 A+B+C	消火栓			防火水槽				プ ー ル 等 (C)	
			計 (A)	公設	私設	計 (B)	公設		私設 (消防水利指定)		
							20m³	40m³ 以上	20m³		40m³ 以上
合計		7,323	4,986	4,954	32	2,265	390	592	604	679	72
南 消 防 署	小計	3,518	2,280	2,270	10	1,202	203	281	350	368	36
	南本署	705	412	411	1	288	43	54	114	77	5
	辻堂	462	303	298	5	151	47	39	36	29	8
	本町	511	301	300	1	202	10	46	75	71	8
	荏田	347	247	247	－	96	27	24	26	19	4
	村岡	687	515	513	2	167	21	51	35	60	5
	鶴沼	366	234	234	－	130	32	34	28	36	2
	明治	440	268	267	1	168	23	33	36	76	4
北 消 防 署	小計	3,805	2,706	2,684	22	1,063	187	311	254	311	36
	北救助	603	367	367	－	231	16	42	99	74	5
	長後	478	335	335	－	137	49	37	29	22	6
	西部	714	590	584	6	117	9	64	14	30	7
	御所見	422	316	314	2	103	37	35	9	22	3
	善行	593	380	370	10	210	38	51	54	67	3
	六会	410	294	294	－	109	20	43	12	34	7
	遠藤	585	424	420	4	156	18	39	37	62	5

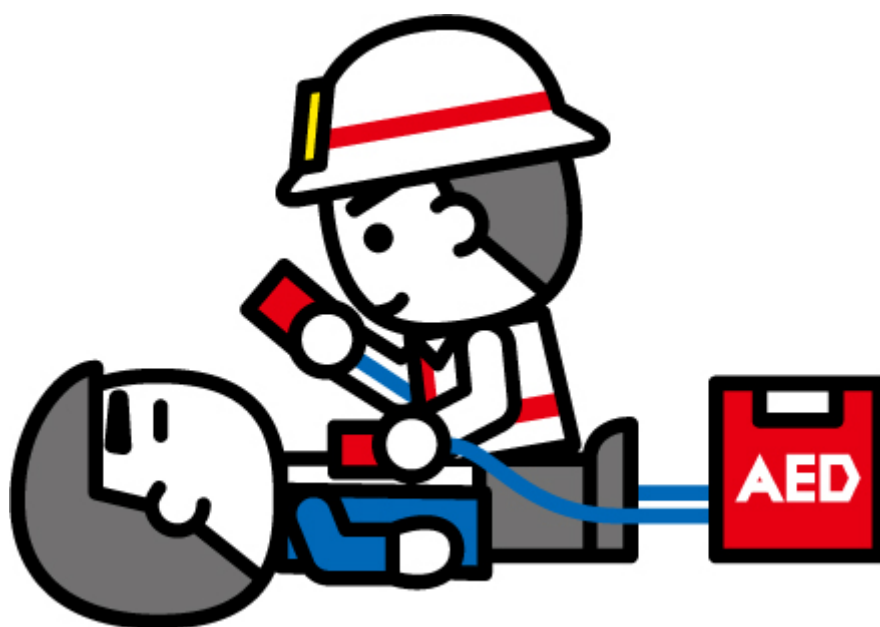


5 5 開発行為等事務処理状況

2026.4.1 現在

区 分		協議件数	指導件数	水槽設置指導数(基)		水槽免除	消防活動 避難関係 指導(件)
年度	種別			40m ³ 以上	20m ³		
2014	平 面 開 発	91	4	5	0	87	0
	中 高 層 開 発	27	27	4	0	23	27
2015	平 面 開 発	98	2	3	0	96	0
	中 高 層 開 発	43	43	11	0	32	43
2016	平 面 開 発	101	5	5	0	96	0
	中 高 層 開 発	36	36	14	0	22	36
2017	平 面 開 発	85	6	2	0	83	0
	中 高 層 開 発	36	36	5	0	31	36
2018	平 面 開 発	80	3	3	0	77	0
	中 高 層 開 発	32	32	9	0	23	32
2019	平 面 開 発	76	4	4	0	72	0
	中 高 層 開 発	39	39	20	0	19	39
2020	平 面 開 発	68	4	4	0	64	0
	中 高 層 開 発	30	30	13	0	17	30
2021	平 面 開 発	53	1	2	0	52	0
	中 高 層 開 発	29	29	6	0	23	29
2022	平 面 開 発	54	3	2	0	51	0
	中 高 層 開 発	29	29	7	0	22	29
2023	平 面 開 発	56	4	4	0	50	0
	中 高 層 開 発	28	28	6	0	21	28
2024	平 面 開 発	50	1	1	0	49	0
	中 高 層 開 発	26	26	5	0	21	26
2025	平 面 開 発	60	4	4	0	56	0
	中 高 層 開 発	30	30	11	0	21	30

7 救急救命



業務概要



２０２５年（令和７年）中における本市の救急出場件数は、２万８，１２９件（対前年比１２５件増）、搬送人員は２万５，５３４人（対前年比９１人増）となり、過去最多の出場件数であった。

今後も高齢化の進展により、救急出場件数の増加及び平均現場到着時間が延伸することが見込まれており、市民の生命予後に重大な影響を及ぼす重要課題であると認識している。

このため、令和７年度から救急需要対策として取り組みを進め、市民の安全安心な生活を継続的に支えることを目的に救急体制の強化として、令和９年度から現在２４時間体制が整備されていない鵜沼・片瀬両地区に救急隊を常設し、平均現場到着時間を短縮させ、救命効果の向上を図る。

また、救急需要の抑制を図るため、市民に対して救急車の適時適切な利用を啓発するとともに、バイスタンダーの育成を普及促進するため、受講者のニーズに合わせた救命講習を積極的に展開している。

さらに、救急隊員の知識向上を目的とした研修体制の確保や、円滑で効果的な救急業務を推進するため、メディカルコントロール体制の整備を行って医療機関との連携を図っており、藤沢市民病院の敷地内に設置している救急ワークステーションでは、出場機能を備えた救急隊が常駐し、救急救命士の病院実習者への実習補助や、救急隊員への研修等を積極的に実施している。重症や重篤と推定される救急要請に対しては、医師が救急車に同乗して出場することで、医師と救急隊員が連携し、質の高い病院前医療を提供している。

２０２５年（令和７年）中に医師が救急車に同乗して出場した件数は５１件あり、救命効果の向上を図るうえで必要かつ重要な救急施策となっている。

5 6 救急救命事業

(1) メディカルコントロール体制の充実強化

救急現場から病院収容までの間における救急活動能力の向上。

ア 専門医師による救急救命士の救急救命処置に対する指示、救急隊員への指導・助言体制の充実を図る。

イ 救急隊員の救急活動について、専門医師が医学的観点から事後検証を行い、救急隊にその内容をフィードバックして救急活動能力の向上を図る。

ウ 救急救命士を含む救急隊員のレベル向上のために教育・研修などを行い、救急活動能力の向上を図る。

(2) 救急資器材の整備、救急隊の業務環境を整備

救急活動を円滑に遂行するための業務環境を整備

ア 救急活動用資器材を整備し、救命効果の向上を図る。

イ 救急廃棄物の処理等、業務環境の整備を図る。

(3) 救急救命デジタルトランスフォーメーション

効果的な救急業務を推進するため、医療機関と連携し、ICT技術を活用した資器材を活用し救命効果の向上を図る。

ア 救急隊と医療機関との間で、傷病者情報・現場画像をリアルタイムに共有

イ 搬送先の病院決定までの時間短縮や、病院投薬後の治療開始時間短縮効果に期待
その他、救急業務全般に係る種々の社会情勢に鋭敏な対応をして、市民ニーズに即応可能な救急サービスを提供するための救急救命事業を展開する。

5 7 救急高度化事業

救急救命士に求められている救急救命処置範囲が高度化していることから、救急救命士の養成・教育・研修体制を整備し、質の高い教育環境の構築を図る。2026年（令和8年）4月から救急高度化事業は経常的に事務を進めるため、救急救命事業と統合する。

- ・ 救急救命士養成研修
- ・ 救急救命士就業前教育病院実習
- ・ 救急救命士再教育病院実習
- ・ 気管挿管病院実習
- ・ 気管挿管再教育病院実習
- ・ ビデオ喉頭鏡気管挿管病院実習

救急救命士の各認定者数の推移

2026. 4. 1 現在

	2026 年 (令和 8 年)		2025 年 (令和 7 年)		2024 年 (令和 6 年)		2023 年 (令和 5 年)		2022 年 (令和 4 年)	
	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用
救急救命士	139	103	142	105	134	104	120	100	120	98
薬剤投与認定 (拡大 2 行為)	131 (129)	102 (102)	126 (124)	102 (102)	120 (118)	99 (99)	118 (116)	98 (98)	113 (111)	94 (91)
気管挿管認定 (ビデオ喉頭鏡)	51 (49)	46 (46)	52 (49)	47 (46)	52 (49)	47 (46)	52 (48)	48 (46)	51 (41)	51 (41)

有資格・・・救急救命士及び各種認定資格を有する職員数

運用・・・救急救命士及び各種認定資格を有し、救急隊員として現場活動に従事している職員数

※割愛職員は除く

58 応急手当普及啓発推進事業



(1) 各種救命講習の開催、応急手当実施率・救命効果の向上

応急手当実施率の向上を図るため、すべての市民が応急手当を実施できる環境整備・教育方法の構築を図る。

各種救命講習開催状況

	合 計		普通救命講習						上級救命講習	
			普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ			
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
2025 年度 (令和 7 年度)	7, 708	222	6, 359	147	0	0	1, 220	70	129	5
2024 年度 (令和 6 年度)	8, 058	259	7, 071	203	0	0	884	52	103	4
2023 年度 (令和 5 年度)	7, 836	260	6, 772	182	0	0	994	76	70	2
2022 年度※ (令和 4 年度)	5, 808	298	5, 029	201	0	0	779	97	0	0
2021 年度※ (令和 3 年度)	1, 888	118	1, 652	91	0	0	236	27	0	0
平成 6 年から の累計	167, 327	5, 103	156, 242	4, 493	2, 031	86	8, 881	518	2, 771	110

普通救命講習Ⅰ：成人に対する応急手当の実技を学ぶ

普通救命講習Ⅱ：成人に対する応急手当の実技（確認テスト含む）を学ぶ

普通救命講習Ⅲ：乳児・小児に対する応急手当の実技を学ぶ

上級救命講習：普通救命講習ⅡとⅢの内容に加え、外傷等による応急手当を学ぶ

※2019年度から2021年度まで、緊急事態宣言等により多くの講習を中止した。

(2) 救命講習に係る指導者の育成

ア 応急手当指導員

消防職員に対して応急手当指導員講習を実施し、応急手当指導員の拡充を図る。

イ 応急手当普及員

市民に対して応急手当普及員講習、応急手当普及員再講習を実施し、応急手当普及員の拡充を図る。

(3) 応急手当普及啓発に係る市民や市民団体との連携

ア 救命普及指導員制度の充実

応急手当指導員及び応急手当普及員の中から、救命の指導技術に優れた人を救命普及指導員として委嘱し、消防職員と協働して救命講習を実施し、応急手当普及啓発の推進を図る。

イ 市民団体との協働

NPO法人ふじさわ救命普及推進会と連携し、応急手当普及啓発事業の充実強化を図る。

(4) その他、応急手当普及啓発に係る施策

ア 市内中学生に対する応急手当教育

市内中学生に対し、普通救命講習や応急手当教育を行い、地域の安全・安心に貢献できる人材の育成を図る。

イ 救急普及啓発広報車を活用した普及啓発活動

救急普及啓発広報車を用いて、各種防災訓練や応急救護訓練、各種イベントに参加し、応急手当の普及啓発を図る。

ウ 救急フェア、消防・救急キャンペーン

藤沢市内一斉救命講習、大規模救命講習などを実施し、応急手当の普及啓発活動を行う。

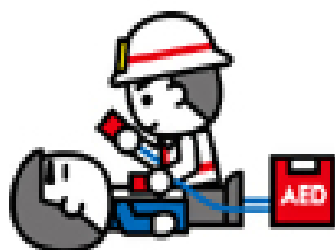
エ 救急セーフティーステーション標章交付制度の推進

AEDを設置し、かつ、従業員の20%以上が救命講習を修了している事業所に対し、救急セーフティーステーション標章を交付することで、公的・民間事業所の地域貢献を推進し、AEDの設置、救命講習受講の推進を図る。



オ AEDの貸出

市内で開催され、市民を含む参加者の多いスポーツ競技やその他のイベントなどの主催者に対し、AEDを貸し出すことで、参加者が心肺停止に陥った際の救命活動に備えると共に、バイスタンダーが早期に除細動を実施することで、救命効果の向上を図る。

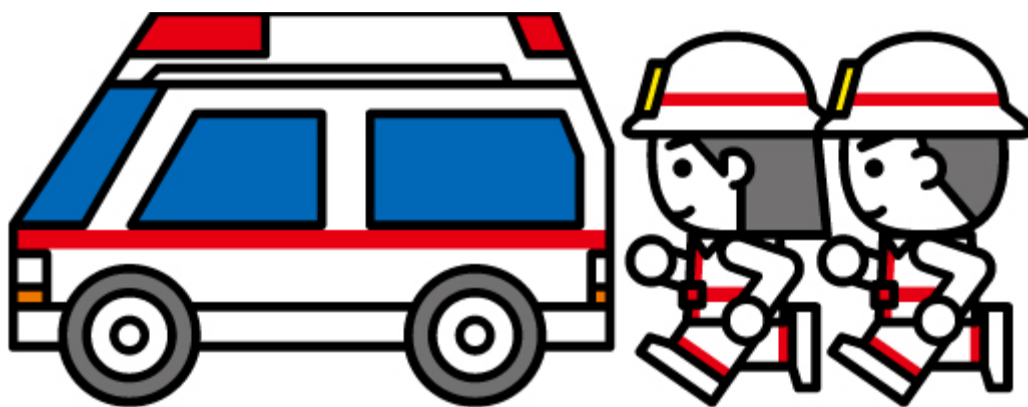


59 救急隊の配置状況

区 分		隊員数	救急自動車台数	主な出場地区
合 計		143	19 (非常用4)	
救急救命課	本町救急隊	8	1	藤沢・善行・鵜沼地区
	機動救急隊	5	1	機動的に全地区
南消防署	南藤沢救急隊 1	10	3 (非常用2)	鵜沼・藤沢・片瀬・村岡地区
	南藤沢救急隊 2	10	1	片瀬・鵜沼・辻堂地区
	辻堂救急隊	10	1	辻堂・鵜沼・明治地区
	荏田救急隊	10	1	鵜沼・藤沢・辻堂地区
	村岡救急隊	10	1	村岡・藤沢・鵜沼地区
	明治救急隊	10	1	明治・辻堂・湘南大庭地区
北消防署	北藤沢救急隊	10	2 (非常用1)	湘南台・六会・長後・遠藤地区
	長後救急隊	10	1	長後・湘南台・御所見地区
	御所見救急隊	10	1	御所見・遠藤・長後地区
	西部救急隊	10	2 (非常用1)	湘南大庭・遠藤・六会地区
	善行救急隊	10	1	善行・六会・藤沢地区
	遠藤救急隊	10	1	遠藤・湘南大庭・御所見地区
	六会救急隊	10	1	六会・湘南台・善行地区

*江の島救急車は除く

8 救急



60 総救急件数

28,129 件

急 病 18,837 件 (67.0%) 	交通事故 1,454 件 (5.2%) 	一般負傷 5,017 件 (17.8%) 
労働災害 151 件 (0.5%) 	加 害 103 件 (0.4%) 	自損行為 201 件 (0.7%) 
運動競技事故 160 件 (0.6%) 	水 難 49 件 (0.2%) 	火 災 187 件 (0.7%) 
自然災害事故 0 件 (0.0%) 	転院搬送 1,829 件 (6.5%) 	そ の 他 141 件 (0.5%)

6 1 隊別・地区別・曜日別救急活動状況

区 分		合 計		救 急									
				火 災		自 然 災 害		水 難		交 通		労 働 災 害	
		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
合 計		28,129	25,534	187	15	0	0	49	17	1,454	1,338	151	140
救急救命課	小 計	3,160	2,765	24	4	0	0	9	3	161	147	14	10
	本 町 救 急 隊	2,374	2,050	17	3	0	0	2	1	114	102	13	9
	機 動 救 急 隊	786	715	7	1	0	0	7	2	47	45	1	1
南 消 防 署	小 計	12,515	11,359	59	1	0	0	33	14	625	562	50	49
	南藤沢救急隊 1	2,929	2,677	7	1	0	0	9	5	117	108	14	13
	南藤沢救急隊 2	1,556	1,421	10	0	0	0	14	4	68	63	11	11
	辻 堂 救 急 隊	1,687	1,516	15	0	0	0	7	3	92	81	8	8
	荏 田 救 急 隊	2,097	1,952	12	0	0	0	2	0	132	128	7	7
	村 岡 救 急 隊	1,891	1,725	8	0	0	0	0	0	94	86	3	3
	明 治 救 急 隊	2,320	2,067	7	0	0	0	1	2	121	96	7	7
	江の島救急車	34	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	南非常用救急車	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北 消 防 署	小 計	12,454	11,410	104	10	0	0	7	0	668	629	87	81
	北藤沢救急隊	2,270	2,089	19	2	0	0	1	0	125	119	15	15
	長 後 救 急 隊	1,554	1,411	8	0	0	0	1	0	74	67	8	8
	西 部 救 急 隊	1,979	1,844	18	3	0	0	0	0	102	98	13	13
	御所見救急隊	1,063	941	12	1	0	0	1	0	82	79	18	15
	善 行 救 急 隊	2,072	1,889	13	1	0	0	2	0	84	77	6	6
	遠 藤 救 急 隊	1,701	1,597	18	2	0	0	2	0	97	95	20	17
	六 会 救 急 隊	1,814	1,638	16	1	0	0	0	0	104	94	7	7
	北非常用救急車	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地 区 別	小 計	28,129	25,534	187	15	0	0	49	17	1,454	1,338	151	140
	片 瀬	1,498	1,312	11	0	0	0	32	13	73	69	9	9
	鵜 沼	3,867	3,544	21	2	0	0	6	3	176	160	12	12
	辻 堂	2,418	2,170	20	0	0	0	3	1	143	131	8	8
	村 岡	1,699	1,578	9	4	0	0	0	0	88	76	5	4
	藤 沢	3,499	3,085	19	1	0	0	0	0	191	169	15	14
	明 治	2,112	1,916	2	0	0	0	2	0	112	102	6	5
	善 行	2,518	2,294	15	2	0	0	0	0	90	85	9	9
	湘 南 大 庭	1,820	1,701	19	2	0	0	0	0	84	79	11	11
	六 会	1,814	1,677	4	0	0	0	1	0	113	108	6	6
	湘 南 台	2,322	2,075	19	0	0	0	1	0	109	99	19	17
	遠 藤	1,194	1,136	8	1	0	0	0	0	78	79	15	15
	長 後	2,010	1,835	18	1	0	0	2	0	102	92	9	9
	御 所 見	1,303	1,159	22	2	0	0	2	0	95	89	27	21
	市 外	55	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜 日 別	小 計	28,129	25,534	187	15	0	0	49	17	1,454	1,338	151	140
	月 曜 日	4,257	3,882	22	0	0	0	2	0	213	195	26	24
	火 曜 日	3,947	3,568	31	4	0	0	9	1	191	174	28	27
	水 曜 日	4,053	3,679	38	1	0	0	11	7	214	200	26	26
	木 曜 日	4,083	3,699	25	1	0	0	4	0	213	194	21	20
	金 曜 日	4,111	3,740	32	7	0	0	10	4	245	219	30	24
	土 曜 日	3,832	3,481	19	2	0	0	9	5	219	209	14	14
日 曜 日	3,846	3,485	20	0	0	0	4	0	159	147	6	5	

事		故				種				別			
運 動 競 技		一 般 負 傷		加 害		自 損 行 為		急 病		そ の 他			
										転 院		そ の 他	
出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
160	158	5,017	4,686	103	87	201	152	18,837	17,107	1,829	1,824	141	10
25	24	614	570	14	13	29	23	1,958	1,715	257	255	55	1
19	18	423	388	14	13	23	18	1,500	1,298	200	199	49	1
6	6	191	182	0	0	6	5	458	417	57	56	6	0
63	62	2,341	2,180	51	42	85	61	8,274	7,493	888	888	46	7
11	11	593	556	18	14	19	16	1,899	1,724	228	228	14	1
4	4	302	286	7	6	20	11	1,042	960	73	73	5	3
14	14	307	286	5	4	9	5	1,110	1,000	114	114	6	1
11	11	396	374	6	6	9	9	1,430	1,332	83	83	9	2
7	7	317	306	8	7	18	14	1,360	1,232	70	70	6	0
16	15	413	372	7	5	10	6	1,412	1,244	320	320	6	0
0	0	13	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
72	72	2,062	1,936	38	32	87	68	8,605	7,899	684	681	40	2
7	7	389	372	12	10	13	12	1,511	1,379	173	172	5	1
2	2	269	247	2	1	6	3	1,085	990	93	93	6	0
9	9	327	311	3	2	12	10	1,385	1,293	105	105	5	0
9	9	157	137	4	4	12	8	697	622	66	66	5	0
15	15	343	322	3	3	27	24	1,507	1,379	61	61	11	1
21	21	286	277	7	6	8	6	1,153	1,089	85	84	4	0
9	9	290	269	7	6	9	5	1,267	1,147	101	100	4	0
0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
160	158	5,017	4,686	103	87	201	152	18,837	17,107	1,829	1,824	141	10
5	5	325	294	4	2	17	11	972	864	44	44	6	1
13	13	839	787	21	21	21	18	2,494	2,272	253	253	11	3
25	25	446	413	10	10	12	8	1,647	1,477	97	96	7	1
0	0	261	249	4	4	17	13	1,200	1,117	111	111	4	0
31	31	612	580	19	14	30	24	2,221	1,954	296	295	65	3
8	8	326	294	5	2	11	6	1,275	1,140	359	359	6	0
19	18	452	420	3	3	30	27	1,853	1,692	38	38	9	0
7	6	330	312	4	3	11	10	1,232	1,162	115	115	7	1
13	13	307	287	9	9	12	7	1,311	1,214	33	33	5	0
6	6	392	370	14	11	10	5	1,500	1,321	246	245	6	1
21	21	197	191	2	2	4	3	793	753	72	71	4	0
4	4	339	317	3	2	9	7	1,406	1,293	111	110	7	0
8	8	180	162	5	4	17	13	889	806	54	54	4	0
0	0	11	10	0	0	0	0	44	42	0	0	0	0
160	158	5,017	4,686	103	87	201	152	18,837	17,107	1,829	1,824	141	10
13	13	723	677	11	11	30	25	2,884	2,627	311	310	22	0
13	13	692	646	16	14	30	21	2,625	2,377	291	290	21	1
12	12	726	676	17	15	34	22	2,717	2,481	237	237	21	2
14	14	687	644	10	8	27	20	2,766	2,502	295	295	21	1
20	20	751	701	13	13	37	29	2,623	2,398	327	324	23	1
34	33	726	670	17	10	24	22	2,516	2,276	236	236	18	4
54	53	712	672	19	16	19	13	2,706	2,446	132	132	15	1

6 2 病院別搬送人員

2 0 2 5 . 1 . 1 ～ 2 0 2 5 . 1 2 . 3 1

区分	搬送人員											
		市内						市外				
			藤沢市民病院	湘南藤沢徳洲会病院	藤沢湘南台病院	二次	一次 その他		湘南鎌倉総合病院	三次	二次	一次 その他
総計	25,534	20,580	9,406	5,219	2,624	2,997	334	4,954	3,859	317	710	68
片瀬	1,312	876	384	213	10	248	21	436	416	7	12	1
鵜沼	3,544	2,742	1,297	756	78	546	65	802	755	9	30	8
辻堂	2,170	1,976	634	1,019	26	233	64	194	149	8	37	0
村岡	1,578	504	333	41	19	95	16	1,074	1,043	9	21	1
藤沢	3,085	2,238	1,431	407	78	285	37	847	703	56	64	24
明治	1,916	1,625	597	671	51	275	31	291	122	26	134	9
善行	2,294	2,001	1,200	333	202	243	23	293	261	9	17	6
湘南大庭	1,701	1,566	584	695	76	197	14	135	82	14	38	1
六会	1,677	1,526	740	266	347	158	15	151	95	25	29	2
湘南台	2,075	1,783	749	192	601	218	23	292	85	92	107	8
遠藤	1,136	1,049	401	322	140	175	11	87	44	7	35	1
長後	1,835	1,602	694	95	701	102	10	233	70	21	135	7
御所見	1,159	1,043	346	185	295	213	4	116	34	33	49	0
市外	52	49	16	24	0	9	0	3	0	1	2	0

三次 三次救急医療とは、生命に危険のある「重篤患者」に高度な医療を提供する救急医療のことをいいます。市内で藤沢市民病院が救命救急センターとして指定されています。

二次 主に救急車等により搬送され、入院が必要なケガや病気の患者を対象とした救急医療体制のことをいいます。

一次 入院加療を必要としない、比較的軽症の患者を対象とした救急医療体制のことをいいます。

6 3 時間別・収容所要時間別救急活動状況

区 分		救 急 事											
		合 計		火 災		自然災害		水 難		交 通		労働災害	
		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
合 計		28,129	25,534	187	15	0	0	49	17	1,454	1,338	151	140
時 間 別	0時～2時	1,265	1,120	10	1	0	0	2	0	22	20	2	2
	2時～4時	1,054	948	6	0	0	0	1	1	19	15	1	0
	4時～6時	1,104	994	0	0	0	0	0	0	13	11	3	2
	6時～8時	1,887	1,738	9	3	0	0	4	0	139	127	5	5
	8時～10時	3,029	2,828	11	1	0	0	7	2	207	196	21	17
	10時～12時	3,559	3,252	25	0	0	0	4	2	163	147	33	33
	12時～14時	3,181	2,853	30	4	0	0	5	3	149	128	24	23
	14時～16時	3,060	2,764	17	2	0	0	10	6	185	179	27	26
	16時～18時	3,061	2,760	18	2	0	0	10	2	229	207	19	17
	18時～20時	2,880	2,629	25	1	0	0	3	1	173	166	9	8
	20時～22時	2,291	2,066	21	1	0	0	1	0	103	96	5	5
	22時～24時	1,758	1,582	15	0	0	0	2	0	52	46	2	2
収 容 所 要 時 間	区 分	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外
	10分未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10分～19分	511	33	0	0	0	0	1	0	18	2	0	0
	20分～29分	8,943	1,382	2	0	0	0	3	0	352	24	47	7
	30分～59分	15,660	3,363	10	0	0	0	11	0	933	143	91	28
	60分～119分	411	172	3	0	0	0	2	0	33	9	2	0
	120分以上	8	4	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0

故 種 別													
運動競技		一般負傷		加 害		自損行為		急 病		その他			
										転院搬送		その他	
出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
160	158	5,017	4,686	103	87	201	152	18,837	17,107	1,829	1,824	141	10
0	0	181	163	8	7	11	9	966	858	60	60	3	0
0	0	127	115	9	8	13	11	831	753	44	44	3	1
0	0	140	124	4	3	9	8	902	818	28	28	5	0
0	0	285	270	2	1	16	11	1,403	1,298	21	21	3	2
11	11	575	557	5	5	13	10	2,028	1,900	129	129	22	0
40	40	654	615	5	5	23	18	2,128	1,929	466	463	18	0
29	28	647	604	6	5	12	8	1,957	1,751	299	297	23	2
25	25	623	571	6	6	19	16	1,891	1,707	225	225	32	1
33	32	624	584	9	7	21	14	1,825	1,637	255	255	18	3
14	14	507	473	13	11	24	19	1,983	1,814	122	122	7	0
8	8	398	373	15	9	23	17	1,614	1,458	99	99	4	0
0	0	256	237	21	20	17	11	1,309	1,184	81	81	3	1
搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
1	0	82	2	2	0	1	0	286	14	120	15	0	0
57	5	1,558	199	20	1	36	9	5,936	843	928	293	4	1
100	19	2,961	513	57	12	107	25	10,642	2,200	743	421	5	2
0	0	84	28	8	2	8	0	237	101	33	32	1	0
0	0	1	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0

6 4 年 齡 別 ・ 傷 病 程 度 別 ・ 応 急 処 置 別 救 急 活 動 状 況

区 分			合 計	救 急 事				
				火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害
合 計			25, 534	15	0	17	1, 338	140
年 齢 別	男 性	小 計	12, 693	9	0	11	842	112
		0才～4才	780	1	0	0	19	0
		5才～9才	355	0	0	1	28	0
		10才～19才	670	0	0	5	133	4
		20才～29才	694	0	0	0	133	13
		30才～39才	576	0	0	0	88	18
		40才～49才	753	1	0	0	109	28
		50才～59才	1, 149	2	0	3	110	21
		60歳以上	7, 716	5	0	2	222	28
	女 性	小 計	12, 841	6	0	6	496	28
		0才～4才	570	0	0	0	7	0
		5才～9才	164	0	0	0	16	0
		10才～19才	409	0	0	0	39	1
		20才～29才	689	0	0	2	40	3
		30才～39才	682	1	0	1	48	1
		40才～49才	730	0	0	2	72	5
		50才～59才	1, 022	2	0	0	87	9
		60歳以上	8, 575	3	0	1	187	9
傷 病 程 度	合 計		25, 534	15	0	17	1, 338	140
	死 亡		323	0	0	2	4	2
	重 症		1, 261	1	0	5	28	9
	中等症		16, 323	8	0	7	735	86
	軽 症		7, 626	6	0	3	571	43
	その他		1	0	0	0	0	0
応 急 処 置 別	合 計		97, 453	60	0	97	5, 391	583
	な し		12	0	0	0	0	0
	止 血		320	1	0	0	27	21
	固 定		1, 999	0	0	6	612	37
	人工呼吸		13	0	0	0	0	0
	酸素吸入		3, 757	3	0	9	44	9
	保 温		124	0	0	4	9	3
	被 覆		1, 336	2	0	0	248	50
	ショックパンツ		0	0	0	0	0	0
	除細動		67	0	0	2	3	0
	静脈路確保		317	1	0	4	6	1
	血圧測定		24, 119	15	0	11	1, 310	139
	心音・呼吸音		4, 578	7	0	8	251	20
	血中酸素飽和度		25, 109	15	0	12	1, 328	139
	心肺蘇生		407	0	0	7	6	2
	気道確保		288	0	0	2	3	0
	経鼻エアウェイ		66	0	0	1	1	1
	喉頭異物除去		8	0	0	0	0	0
	EGTA等		163	0	0	2	2	0
	気管挿管		37	0	0	2	1	1
	薬剤投与		218	0	0	2	4	0
	在宅療法継続		292	0	0	0	1	0
	心電図		8, 918	1	0	10	209	21
	心電図電送		0	0	0	0	0	0
	その他		25, 305	15	0	15	1, 326	139

2025.1.1～2025.12.31

故 種 別						
運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
					転 院	その他
158	4,686	87	152	17,107	1,824	10
136	2,020	55	40	8,508	957	3
0	123	0	0	452	184	1
5	95	1	0	190	35	0
98	119	7	1	285	18	0
9	65	11	10	434	19	0
7	46	10	8	374	25	0
6	83	7	10	475	34	0
5	132	9	2	786	79	0
6	1,357	10	9	5,512	563	2
22	2,666	32	112	8,599	867	7
0	89	0	0	347	126	1
0	41	0	0	97	10	0
13	34	4	18	284	16	0
2	38	0	34	528	42	0
2	40	6	20	480	77	6
0	70	3	18	523	37	0
2	140	7	16	707	52	0
3	2,214	12	6	5,633	507	0
158	4,686	87	152	17,107	1,824	10
0	14	0	17	281	2	1
0	74	2	13	897	232	0
84	2,689	46	93	11,119	1,452	4
74	1,909	39	29	4,810	138	4
0	0	0	0	0	0	1
542	17,399	303	667	65,878	6,495	38
0	3	0	0	1	8	0
0	206	5	2	56	2	0
51	1,051	19	33	183	6	1
0	1	0	0	9	3	0
0	152	1	23	2,987	527	2
0	16	1	2	79	6	4
10	936	13	16	58	3	0
0	0	0	0	0	0	0
0	2	0	2	55	2	1
0	12	0	14	276	3	0
156	4,499	86	134	16,190	1,572	7
4	383	2	11	3,553	337	2
157	4,644	87	135	16,779	1,805	8
0	18	0	20	349	4	1
0	16	0	14	246	7	0
0	1	0	2	60	0	0
0	1	0	0	7	0	0
0	4	0	4	149	1	1
0	5	0	3	25	0	0
0	8	0	12	189	3	0
0	28	0	0	247	16	0
7	727	3	95	7,430	414	1
0	0	0	0	0	0	0
157	4,686	86	145	16,950	1,776	10

65 月別救急事故種別一覧表

2025.1.1～2025.12.31

区 分		合 計	救急事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他	
													転院	その他
合計	出場件数	28,129	187	0	49	1,454	151	160	5,017	103	201	18,837	1,829	141
	搬送件数	25,458	15	0	15	1,287	140	158	4,679	85	152	17,095	1,824	8
	搬送人員	25,534	15	0	17	1,338	140	158	4,686	87	152	17,107	1,824	10
1月	出場件数	2,583	12	0	1	109	7	9	428	4	12	1,794	192	15
	搬送件数	2,316	2	0	0	96	7	9	402	2	9	1,597	191	1
	搬送人員	2,320	2	0	0	99	7	9	402	3	9	1,597	191	1
2月	出場件数	2,250	19	0	2	126	9	7	389	10	9	1,501	165	13
	搬送件数	2,041	3	0	0	109	9	7	366	8	8	1,366	165	0
	搬送人員	2,051	3	0	0	116	9	7	366	8	8	1,369	165	0
3月	出場件数	2,309	28	0	0	125	15	8	376	9	9	1,563	170	6
	搬送件数	2,084	2	0	0	108	14	8	349	7	7	1,420	169	0
	搬送人員	2,091	2	0	0	113	14	8	349	7	7	1,422	169	0
4月	出場件数	2,090	14	0	1	130	15	8	390	5	9	1,379	129	10
	搬送件数	1,896	1	0	0	116	14	7	366	4	5	1,253	129	1
	搬送人員	1,900	1	0	0	118	14	7	366	4	5	1,255	129	1
5月	出場件数	2,098	20	0	5	111	15	11	419	10	18	1,346	131	12
	搬送件数	1,887	1	0	2	95	14	11	391	8	15	1,218	131	1
	搬送人員	1,891	1	0	2	97	14	11	391	8	15	1,219	131	2
6月	出場件数	2,285	10	0	1	122	16	17	439	8	11	1,474	175	12
	搬送件数	2,079	0	0	1	109	14	17	404	7	9	1,342	175	1
	搬送人員	2,087	0	0	1	115	14	17	404	8	9	1,342	175	2
7月	出場件数	2,604	14	0	3	150	14	26	415	6	26	1,779	154	17
	搬送件数	2,332	0	0	2	128	13	26	386	5	17	1,601	153	1
	搬送人員	2,341	0	0	3	133	13	26	389	5	17	1,601	153	1
8月	出場件数	2,605	6	0	11	105	8	17	410	12	16	1,878	136	6
	搬送件数	2,378	0	0	5	95	8	16	391	8	12	1,707	136	0
	搬送人員	2,387	0	0	6	100	8	16	393	8	12	1,708	136	0
9月	出場件数	2,268	17	0	10	118	21	9	403	7	28	1,489	152	14
	搬送件数	2,057	1	0	2	103	21	9	375	7	23	1,364	152	0
	搬送人員	2,064	1	0	2	108	21	9	377	7	23	1,364	152	0
10月	出場件数	2,224	12	0	6	121	9	17	438	9	20	1,437	144	11
	搬送件数	2,037	1	0	1	110	7	17	410	7	16	1,323	144	1
	搬送人員	2,039	1	0	1	112	7	17	410	7	16	1,323	144	1
11月	出場件数	2,344	10	0	7	123	13	14	456	8	24	1,553	126	10
	搬送件数	2,107	3	0	1	114	10	14	416	7	18	1,397	126	1
	搬送人員	2,111	3	0	1	117	10	14	416	7	18	1,398	126	1
12月	出場件数	2,469	25	0	2	114	9	17	454	15	19	1,644	155	15
	搬送件数	2,244	1	0	1	104	9	17	423	15	13	1,507	153	1
	搬送人員	2,252	1	0	1	110	9	17	423	15	13	1,509	153	1

66 過去5年間の救急業務

区 分		2025年 (令和7年)		2024年 (令和6年)		2023年 (令和5年)		2022年 (令和4年)		2021年 (令和3年)	
		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
合 計		28,129	25,534	28,004	25,443	28,013	25,557	26,499	23,956	22,070	20,318
救急事故種別	火 災	187	15	150	13	162	15	141	13	140	14
	自然災害	0	0	4	4	0	0	0	0	8	3
	水 難	49	17	47	12	35	13	55	16	50	5
	交 通	1,454	1,338	1,323	1,204	1,446	1,343	1,336	1,257	1,285	1,209
	労働災害	151	140	173	166	179	167	168	161	155	149
	運動競技	160	158	150	150	171	170	144	144	125	126
	一般負傷	5,017	4,686	4,970	4,644	4,762	4,439	4,564	4,278	3,707	3,498
	加 害	103	87	102	85	109	89	115	90	96	74
	自損行為	201	152	254	194	246	198	200	147	207	151
	急 病	18,837	17,107	18,850	17,095	18,973	17,279	18,007	16,183	14,518	13,419
	その他	転 院	1,829	1,824	1,874	1,871	1,846	1,842	1,662	1,661	1,665
		医師搬送	50	0	45	0	22	0	31	0	30
		資材搬送	2	0	1	0	4	0	12	0	6
		その他	89	10	61	5	58	2	64	6	78
救急救命課	小 計	3,160	2,765	2,844	2,500	2,849	2,547	2,372	2,044	1,929	1,700
	本町救急隊	2,374	2,050	2,318	2,014	2,416	2,127	2,372	2,044	1,929	1,700
	機動救急隊	786	715	526	486	433	420	未 設			
南消防署	小 計	12,515	11,359	12,551	11,372	12,869	11,663	12,139	10,892	10,329	9,454
	南藤沢救急隊1	2,929	2,677	3,015	2,740	2,961	2,676	2,801	2,444	2,483	2,198
	南藤沢救急隊2	1,556	1,421	1,564	1,443	1,641	1,505	1,525	1,349	1,313	1,165
	辻堂救急隊	1,687	1,516	1,634	1,440	1,691	1,516	1,648	1,533	1,457	1,351
	荏田救急隊	2,097	1,952	2,102	1,942	2,309	2,110	2,132	1,883	1,663	1,558
	村岡救急隊	1,891	1,725	1,944	1,775	1,959	1,776	1,832	1,679	1,522	1,418
	明治救急隊	2,320	2,067	2,252	2,032	2,257	2,080	2,168	2,004	1,868	1,764
	江の島救急車	34	0	40	0	51	0	33	0	23	0
	南非常用救急隊	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
北消防署	小 計	12,454	11,410	12,609	11,571	12,295	11,347	11,988	11,020	9,812	9,164
	北藤沢救急隊	2,270	2,089	2,367	2,147	2,309	2,106	2,234	2,036	1,827	1,704
	長後救急隊	1,554	1,411	1,629	1,491	1,543	1,394	1,538	1,433	1,193	1,099
	御所見救急隊	1,063	941	1,067	978	1,045	978	1,033	961	855	796
	西部救急隊	1,979	1,844	2,016	1,868	1,990	1,877	1,932	1,766	1,630	1,558
	善行救急隊	2,072	1,889	2,098	1,947	2,005	1,876	1,842	1,726	1,535	1,436
	遠藤救急隊	1,701	1,597	1,675	1,546	1,655	1,550	1,699	1,566	1,377	1,292
	六会救急隊	1,814	1,638	1,757	1,594	1,748	1,566	1,710	1,532	1,395	1,279
	北非常用救急隊	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

6 7 医師同乗出動

区分		2025年 (令和7年)		2024年 (令和6年)		2023年 (令和5年)		2022年 (令和4年)		2021年 (令和3年)		平成25年9月 からの累計	
		成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児
出動件数		51		45		23		31		29		986	
		16	35	18	27	7	16	5	26	0	29	272	714
医師接触人員		48		43		22		31		28		952	
		16	32	16	27	7	15	5	26	0	28	265	687
程 度 別	死亡	3	0	6	0	4	0	1	1	0	0	64	6
	重症	5	2	6	0	1	0	4	3	0	3	95	57
	中等症	7	12	3	15	2	7	0	18	0	14	86	364
	軽症	1	18	1	12	0	8	0	4	0	11	20	260

68 ドクターヘリ

ドクターヘリの搬送状況（件数＝人数）

番号		搬送場所	2025年 (令和7年)	2024年 (令和6年)	2023年 (令和5年)	2022年 (令和4年)	2021年 (令和3年)	～2019年 (平成31年)	計
1	T 5	藤沢八部野球場	0	0	1	0	0	4	5
2	T 6	県立スポーツセンター球技場 1	0	0	平成28年8月1日から令和5年11月1日まで休止			3	3
3	T40	大清水中学校	0	0	0	0	0	0	0
4	T41	江の島湘南港	0	0	0	0	0	5	5
5	T81	鵠南小学校	0	0	0	0	0	0	0
6	T82	村岡中学校	0	0	0	0	0	5	5
7	T83	片瀬中学校	0	0	0	0	0	2	2
8	T84	高砂小学校	0	0	0	0	0	0	0
9	T85	羽鳥小学校	0	0	0	0	0	2	2
10	T86	大庭中学校	0	0	0	0	0	1	1
11	T87	秋葉台中学校	0	0	0	0	0	1	1
12	T88	亀井野小学校	0	0	0	0	0	3	3
13	T89	湘南台小学校	0	0	0	0	0	4	4
14	T90	長後中学校	0	0	0	0	0	5	5
15	T91	御所見中学校	0	0	0	0	0	18	18
16	T238	藤沢市消防防災訓練センター	0	0	0	0	0	4	4
(廃止)		荏原製作所グラウンド	平成17年2月1日廃止					12	12
(廃止)		大清水スポーツ広場サッカー場	平成26年3月31日廃止					15	15
合計			0	0	1	0	0	84	85
うち直送			0	0	0	0	0	62	62
うち転院搬送			0	0	1	0	0	22	23

69 救急業務の推移

		出場件数	一日平均 出場件数	一万人当り の出場件数	出場件数増加率 (昭和29年を1とする)	隊数	人 口 (12月末日)
1954年	昭和29年	191	0.5	20.2	1.0	1	94,481
1955年	昭和30年	414	1.1	37.9	2.2	1	109,101
1956年	昭和31年	434	1.2	38.7	2.3	1	112,095
1957年	昭和32年	459	1.3	39.9	2.4	1	115,054
1958年	昭和33年	373	1.0	31.8	2.0	1	117,375
1959年	昭和34年	591	1.6	48.8	3.1	1	120,990
1960年	昭和35年	526	1.4	41.8	2.8	1	125,968
1961年	昭和36年	773	2.1	58.5	4.0	1	132,027
1962年	昭和37年	780	2.1	55.7	4.1	1	140,138
1963年	昭和38年	1,176	3.2	79.2	6.2	1	148,524
1964年	昭和39年	1,225	3.3	74.6	6.4	1	164,117
1965年	昭和40年	1,424	3.9	78.7	7.5	1	181,027
1966年	昭和41年	1,846	5.1	96.0	9.7	1	192,326
1967年	昭和42年	2,119	5.8	105.4	11.1	2	201,135
1968年	昭和43年	2,285	6.2	108.0	12.0	2	211,557
1969年	昭和44年	2,836	7.8	127.7	14.8	2	222,018
1970年	昭和45年	3,233	8.9	139.9	16.9	2	231,022
1971年	昭和46年	3,279	9.0	136.6	17.2	2	240,026
1972年	昭和47年	3,913	10.7	158.8	20.5	3	246,447
1973年	昭和48年	4,656	12.8	183.6	24.4	3	253,586
1974年	昭和49年	5,186	14.2	199.2	27.2	3	260,299
1975年	昭和50年	5,496	15.1	205.6	28.8	3	267,308
1976年	昭和51年	5,521	15.1	202.3	28.9	4	272,886
1977年	昭和52年	6,156	16.9	219.3	32.2	4	280,728
1978年	昭和53年	6,247	17.1	216.6	32.7	4	288,361
1979年	昭和54年	6,666	18.3	225.8	34.9	4	295,227
1980年	昭和55年	7,283	19.9	241.2	38.1	4	301,948
1981年	昭和56年	7,032	19.3	228.2	36.8	5	308,157
1982年	昭和57年	7,712	21.1	245.9	40.4	6	313,633
1983年	昭和58年	8,073	22.1	253.4	42.3	6	318,587
1984年	昭和59年	8,362	22.8	258.5	43.8	6	323,440
1985年	昭和60年	8,973	24.6	272.5	47.0	7	329,297
1986年	昭和61年	9,070	24.8	270.9	47.5	7	334,752
1987年	昭和62年	9,015	24.7	266.5	47.2	8	338,331
1988年	昭和63年	9,244	25.3	269.7	48.4	8	342,753

		出場件数	一日平均 出場件数	一万人当り の出場件数	出場件数増加率 (昭和29年を1とする)	隊数	人 口 (12月末日)
1989年	平成元年	9,432	25.8	271.4	49.4	8	347,486
1990年	平成2年	9,798	26.8	279.2	51.3	8	350,975
1991年	平成3年	10,210	28.0	287.0	53.5	8	355,741
1992年	平成4年	10,282	28.1	285.8	53.8	8	359,784
1993年	平成5年	10,319	28.3	284.5	54.0	8	362,661
1994年	平成6年	11,019	30.2	300.7	57.7	8	366,441
1995年	平成7年	11,888	32.6	321.8	62.2	8	369,441
1996年	平成8年	12,151	33.2	327.6	63.6	8	370,895
1997年	平成9年	12,624	34.6	337.6	66.1	8	373,950
1998年	平成10年	13,546	37.1	359.8	70.9	8	376,515
1999年	平成11年	13,910	38.1	368.2	72.8	9	377,822
2000年	平成12年	15,050	41.1	396.7	78.8	9	379,361
2001年	平成13年	15,904	43.6	414.2	83.3	9	383,966
2002年	平成14年	16,512	45.2	425.3	86.5	9	388,280
2003年	平成15年	17,677	48.4	451.7	92.5	10	391,342
2004年	平成16年	18,307	50.0	465.1	95.8	10	393,602
2005年	平成17年	19,400	53.2	489.3	101.6	10	396,520
2006年	平成18年	18,952	51.9	474.9	99.2	11	399,098
2007年	平成19年	18,771	51.4	466.2	98.3	12	402,628
2008年	平成20年	17,908	48.9	441.4	93.8	12	405,705
2009年	平成21年	18,015	49.4	441.8	94.3	12	407,766
2010年	平成22年	19,924	54.6	485.4	104.3	12	410,504
2011年	平成23年	20,429	56.0	492.8	107.0	12	414,530
2012年	平成24年	21,156	57.8	507.5	110.8	12	416,832
2013年	平成25年	21,645	59.3	517.5	113.3	12	418,267
2014年	平成26年	22,114	60.6	526.1	115.8	12	420,343
2015年	平成27年	21,973	60.2	517.3	115.0	12	424,742
2016年	平成28年	22,502	61.5	526.7	117.8	12	427,199
2017年	平成29年	22,379	61.3	521.4	117.2	13	429,249
2018年	平成30年	23,757	65.1	549.8	124.4	13	432,095
2019年	令和元年	23,573	64.6	542.2	123.4	13	434,769
2020年	令和2年	21,269	58.1	485.6	111.4	14	437,998
2021年	令和3年	22,070	60.5	499.7	115.5	14	441,708
2022年	令和4年	26,499	72.6	597.1	138.7	14	443,770
2023年	令和5年	28,013	76.7	631.2	146.7	15	443,795
2024年	令和6年	28,004	76.7	631.0	146.6	15	443,788
2025年	令和7年	28,129	77.1	634.5	147.3	15	443,313

9 通信指令



業務概要

情報指令センターは、119番通報を受信し各部隊へ迅速な出場指令を行っている。
また部隊からの現場情報により災害状況の的確な把握に努めており、複雑多様化し増加傾向にあるさまざまな災害に対処している。

70 指令システム

119番通報の受信から出場まで



通報受付

119番通報の受付と同時に指令システムによる処理が開始される。

災害地点決定

統合型発信地表示システム、地図検索装置により通報場所の住所と付近の地図が自動的に表示される。



災害種別決定

通報者からの聞き取りにより、災害種別（火災・救急・救助など）を決定する。

予告指令

災害通報を受信中である旨を自動的に各消防署所に知らせ出場準備を促す。



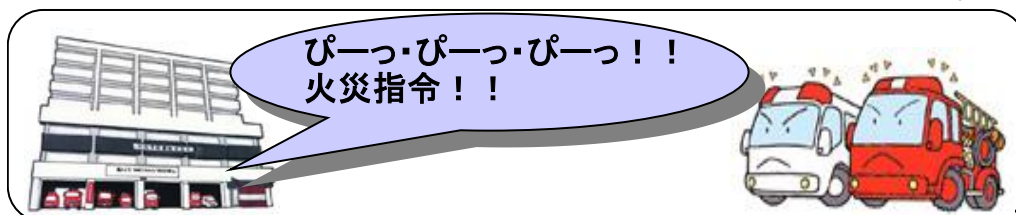
出場隊編成

災害地点、災害種別が決定されると災害地点に最適な部隊が自動的に編成される。

出場指令

出場指令！！

車両が配置されている消防署所に自動的に出場指令を流すとともに、車両に積載した車両動態管理装置（AVM）に災害地点の地図と指令内容を表示する。



回線・CH（チャンネル）一覧表

2026.4.1現在

種 別	回線数	備 考
119番デジタル回線	16	光 I P 固定電話（ I P 電話等含む） 携帯電話 聴覚障がい者等用 F A X 119 他
指令回線	16	南・北署各出張所、分遣所、救急 W S
無線 C H	8	南活動波 市共通活動波 北活動波 救急活動波 主運用波6 統制波1・2・3
市民案内 (火災等災害情報自動案内)	10	25-0119 市民からの火災等の問い合わせに音声 合成にて情報提供をします

L i v e 1 1 9 活用時の様子



7 1 無線設備

藤沢市防災センター情報指令センターの無線統制台からの制御により、基地局（藤沢市役所本庁舎、北消防署御所見出張所及び北消防署六会出張所）に設置された無線装置を経由して良好な通信網を形成し、車両等との無線通信を行っている。

2026.4.1現在

種別				合計局数	市役所本庁舎	御所見出張所	六会出張所
基地局				3	1	1	1
種別				合計局数	局	南署	北署
陸上移動局	車載無線機	消防系	5W	69	12	32	25
		救急系	5W	20	2	9	9
	可搬無線機		5W	30	5	14	11
	携帯無線機		2W	102	18	46	38
			1W	2	2	0	0
	防災相互波用		1W	15	1	7	7
	署活無線機		1W	187	68	61	58
	消防団	車載無線機	5W	33	33	0	0
		可搬無線機	5W	4	4	0	0
		携帯無線機	2W	166	166	0	0

7 2 各種装置

(1) 情報受信機器

ア 神奈川県防災行政通信網

国・県・市の防災関係機関を相互に結ぶ手段で、電話やインターネット等による気象情報や災害情報、地震情報等の通信を行う。

イ E m - N e t

行政専用回線である総合行政ネットワーク「L G W A N」を利用した、国（総理大臣官邸）と地方公共団体間で緊急情報を双方向通信するためのシステム。強制的にメッセージが着信すると同時にアラーム音が鳴り、注意喚起を促す仕組みとなっている。

ウ L I N E W O R K S（ラインワークス）

神奈川県内広域応援実施計画において、県内で大規模な災害が発生した場合に、いち早く災害発生に気づき、リアルタイムで情報共有を図るため、県及び県内各消防本部（局）にタブレット端末を配備し「L I N E W O R K S」というアプリケーションを活用して、情報共有を図っている。

- (2) 計測装置
気象観測装置
藤沢市防災センターと北消防署長後出張所に設置され、気象状況を常時観測し表示記録する。
- (3) 消防統計処理端末
消防OAシステム (N e f o a p)
専用アプリケーションパッケージにより、消防業務のデータを統計処理し効率的に管理する。
- (4) 高所カメラ
ア 南・北高所カメラ (N T T 東日本神奈川西支店鉄塔)
イ 江の島高所カメラ・周辺カメラ
ウ 北部高所カメラ (日本大学生物資源科学部屋上)
南・北高所カメラ、北部高所カメラは、119番通報時に通信員の操作により災害点方向に連動して映像を映し出すことができ、災害状況を把握する。
- (5) 車両動態管理装置 (A V M)
(A u t o m a t i c V e h i c l e M o n i t o r i n g S y s t e m)
車両の出場、現着、作業開始から終了、帰署等の動態を管理するとともに、GPS機能により常時車両現在地を把握し、災害発生時には現場直近の車両で部隊を編成する。
基地局と車両間のデータ通信はN T T ドコモの packets 通信により行っており、無線通信との輻輳を防いでいる。
- (6) Eメール指令装置
自動出動指定装置と連携して、あらかじめ登録された連絡先に指令情報をメール送信又は音声合成により電話伝達するシステム。消防団への出場指令はこのシステムにより行っている。
- (7) N e t 1 1 9 緊急通報システム、メール119及びF A X 1 1 9
聴覚や発語の障がい等により、音声通話が困難な方が、携帯電話やスマートフォンからインターネットやEメール又はF A Xなどを利用して、火災や救急などの緊急通報を行うことができるシステム。
- (8) L i v e 1 1 9 映像通報システム
スマートフォンを利用して、火災や救急などの現場のリアルタイムの映像を、情報指令センターへ送信することができるシステム。応急手当のアドバイスをするために情報指令センターから映像を送信することもできる。
- (9) 駆け付け通報装置
消防職員が災害出動や訓練などで不在の場合、火災・救急などの災害を発見した市民が情報指令センターへ直接通報できる「駆け付け通報装置」を市内の消防署所(救急ワークステーションを除く)に設置している。

(10) 多言語通訳サービス

119番通報時には、オペレーターに通訳してもらうことができ、災害現場では携帯電話を使用して、関係者と通訳オペレーターの二者通話ができる。

統 計

73 119番受信状況

(1) 119番着信件数

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
件 数	37,534	37,227	38,186	34,523	28,878
前年比	100.8%	97.5%	110.6%	119.5%	102.3%

(2) 119番着信内訳

2025.1.1～2025.12.31

	119番合計	固定電話	携帯電話
火 災	320	89	231
救 急	27,851	11,438	16,413
救 助	61	18	43
そ の 他	603	208	395
誤 通 報	1,400	252	1,148
問 合 せ	1,882	573	1,309
火 災 案 内	1	1	0
病 院 案 内	32	9	23
収 容 先 案 内	0	0	0
無言・無応答	1,923	243	1,680
い た ず ら	61	27	34
テ ス ト	2,120	1,755	365
他 市 へ の 転 送	1,280	28	1,252
合 計	37,534	14,641	22,893

無言・無応答は、呼び返しを行っても何も応答がないもの。

いたずらは、いたずらと確認できたもの。

テストは、事業所などの避難訓練時の通報訓練や、回線試験。

(3) 119番通報 他都市への転送件数

2025.1.1～2025.12.31

	合計	横浜	鎌倉	大和	茅ヶ崎・寒川	海老名・座間・綾瀬	その他
他市への転送	1,276	376	265	81	228	222	104

※茅ヶ崎・寒川及び海老名・座間・綾瀬は共同指令センター

7.4 自動案内サービス（音声合成）

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
火災情報案内件数	19,641	17,125	16,744	16,134	16,459

7.5 災害出場指令状況

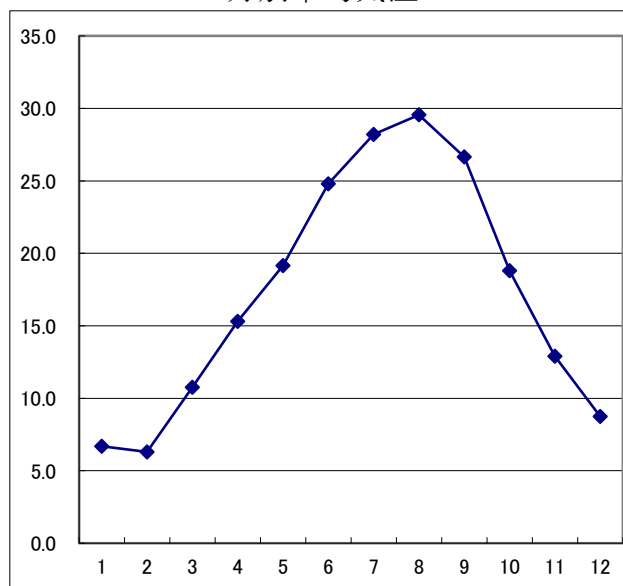
		令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
火災出場指令		199	159	156	134	140
内 訳	火 災	127	106	113	98	87
	火災として取り扱わず	26	23	17	10	15
	誤 報	32	18	18	21	28
	虚 報	0	1	0	0	0
	応 援	14	11	8	5	10
救急出場指令		28,129	28,004	28,013	26,499	22,070
救急支援出場指令		3,143	2,725	2,509	2,701	2,242
救助出場指令		59	53	53	63	66
偵察・調査・警戒出場指令		616	577	614	567	644
内 訳	風水害	11	66	38	21	116
	警報機の鳴動	337	309	262	274	241
	怪煙	71	47	76	76	71
	ガス異臭	4	1	4	4	33
	危険物漏洩	39	32	36	30	34
	上記以外のもの	140	122	198	162	149

7 6 気象

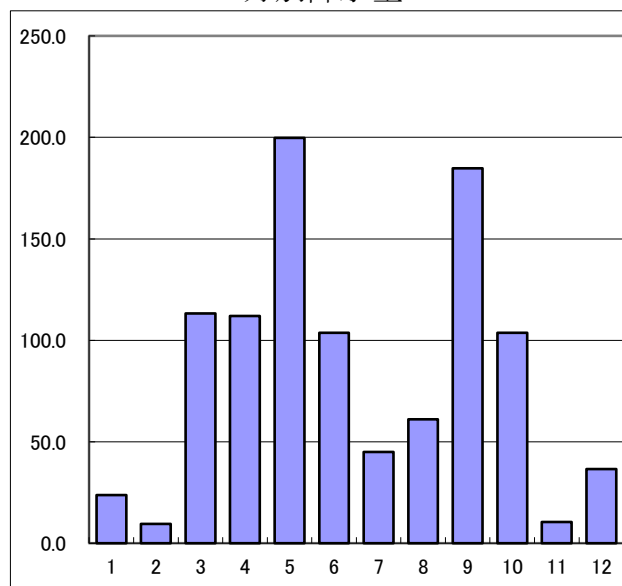
2025.1.1～2025.12.31

	主たる 風向	風速(m/s)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)
		平均	最大瞬間	平均	最高	最低	平均	最低	
1月	北北東	2.0	17.9	6.7	14.4	-1.6	52.5	16.8	23.8
2月	北北東	2.2	18.5	6.3	17.6	-3.1	47.3	10.0	9.5
3月	北北東	2.8	18.8	10.8	26.4	0.7	65.9	19.6	113.3
4月	南西	2.8	19.7	15.3	23.8	3.9	72.8	23.2	112.0
5月	南西	2.7	20.6	19.2	29.4	11.3	76.8	30.0	199.8
6月	南西	2.4	18.3	24.8	35.6	16.0	80.5	32.6	103.8
7月	南西	2.9	17.2	28.2	35.5	21.4	80.6	48.7	45.0
8月	南西	2.6	18.1	29.6	38.9	24.7	76.4	43.3	61.0
9月	南西	2.4	17.6	26.7	35.1	18.2	79.1	38.6	184.8
10月	北北東	2.5	20.7	18.8	31.0	10.7	78.4	37.2	103.8
11月	北北東	1.7	16.5	12.9	22.8	4.3	65.8	32.2	10.5
12月	北北東	1.9	18.6	8.8	21.2	-1.0	62.1	15.3	36.5
平均	北北東	2.4		17.3			69.8		83.6

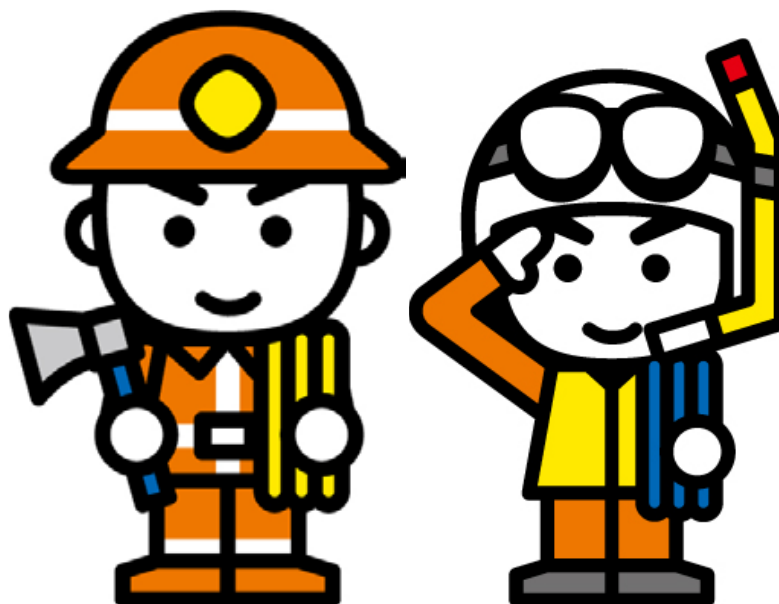
月別平均気温



月別降水量



10 救助



統計

77 救助活動状況

2025.1.1～2025.12.31

区 分			合 計	火 災		交通事故	水難事故	風水害・自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
				建物	建物以外								
救助出場件数			60	1	0	21	13	0	4	0	2	0	19
救助活動件数			38	1	0	9	9	0	2	0	2	0	15
救助出場延人員			1,838	44	0	587	485	0	112	0	75	0	535
救助人員			43	1	0	12	8	0	2	0	1	0	19
救助出場隊・出場人員	救助隊	隊数	79	1	0	22	24	0	4	0	3	0	25
		延人員	413	5	0	120	121	0	21	0	17	0	129
	消防隊	隊数	132	6	0	39	36	0	8	0	8	0	35
		延人員	538	25	0	156	151	0	32	0	32	0	142
	救急隊	隊数	133	2	0	50	29	0	9	0	5	0	38
		延人員	399	6	0	150	87	0	27	0	15	0	114
	指揮隊	隊数	65	1	0	20	18	0	4	0	2	0	20
		延人員	193	3	0	61	51	0	12	0	6	0	60
	高度救助隊	隊数	59	1	0	20	15	0	4	0	1	0	18
		延人員	295	5	0	100	75	0	20	0	5	0	90
救助活動隊・活動人員・救助人員	救助隊	隊数	35	0	0	5	16	0	1	0	2	0	11
		延人員	183	0	0	27	82	0	5	0	12	0	57
		救助人員※	23	0	0	5	7	0	0	0	1	0	10
	消防隊	隊数	37	1	0	9	12	0	1	0	2	0	12
		延人員	152	4	0	36	52	0	4	0	8	0	48
		救助人員※	8	1	0	5	0	0	1	0	0	0	1
	救急隊	隊数	11	1	0	4	0	0	1	0	1	0	4
		延人員	33	3	0	12	0	0	3	0	3	0	12
		救助人員※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指揮隊	隊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高度救助隊	隊数	27	1	0	3	10	0	1	0	0	0	12
		延人員	135	5	0	15	50	0	5	0	0	0	60
		救助人員※	12	0	0	2	1	0	1	0	0	0	8
事故発生場所	屋内	専用住宅	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1
		その他の建物	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2
	屋外	道路	18	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0
		川・海等	14	0	0	0	13	0	0	0	0	0	1
		その他の屋外	18	0	0	3	0	0	1	0	0	0	14
	その他		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

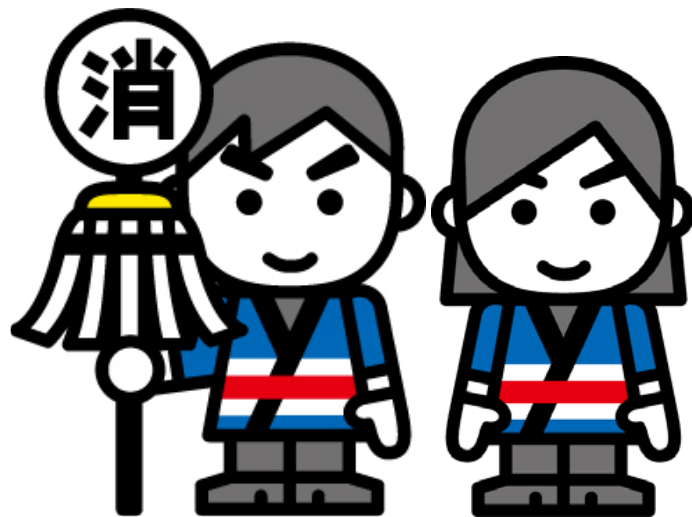
※消防機関が救助した人員

7 8 月別救助活動状況

2025.1.1～2025.12.31

区 分		合 計	火 災		交通事故	水難事故	風水害・自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外								
救助出場件数		60	1	0	21	13	0	4	0	2	0	19
救助活動件数		38	1	0	9	9	0	2	0	2	0	15
救助人員		43	1	0	12	8	0	2	0	1	0	19
1月	救助出場件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	救助活動件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	救助人員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2月	救助出場件数	5	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1
	救助活動件数	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
	救助人員	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
3月	救助出場件数	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	救助活動件数	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	救助人員	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
4月	救助出場件数	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	救助活動件数	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	救助人員	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
5月	救助出場件数	11	1	0	3	2	0	0	0	0	0	5
	救助活動件数	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
	救助人員	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
6月	救助出場件数	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	救助活動件数	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	救助人員	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	救助出場件数	5	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0
	救助活動件数	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
	救助人員	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8月	救助出場件数	5	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
	救助活動件数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	救助人員	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9月	救助出場件数	9	0	0	4	4	0	0	0	0	0	1
	救助活動件数	6	0	0	2	3	0	0	0	0	0	1
	救助人員	8	0	0	2	3	0	0	0	0	0	3
10月	救助出場件数	7	0	0	3	1	0	1	0	0	0	2
	救助活動件数	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2
	救助人員	9	0	0	6	1	0	0	0	0	0	2
11月	救助出場件数	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	救助活動件数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	救助人員	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
12月	救助出場件数	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	救助活動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11 消防団

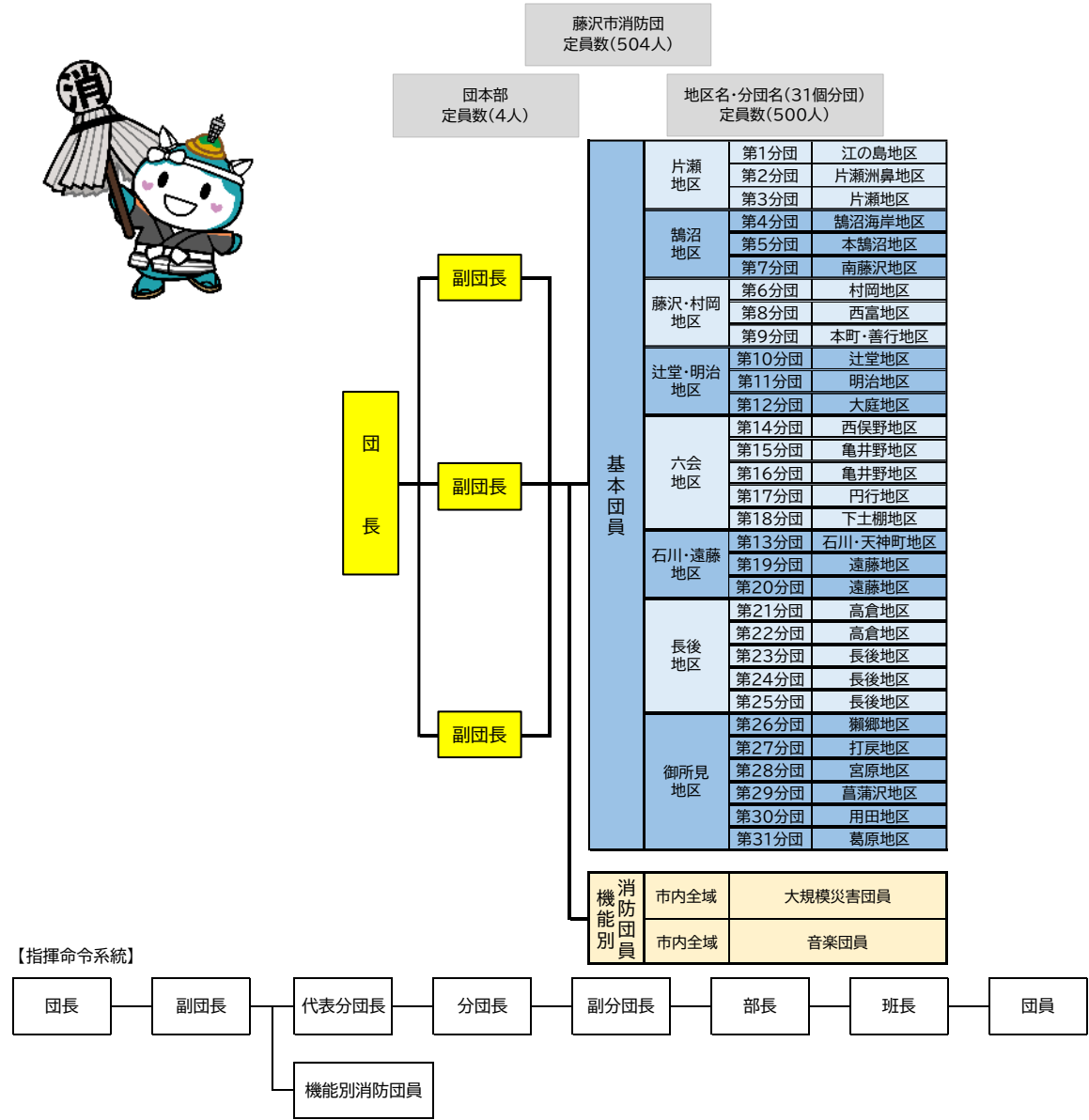


藤沢市消防団の概要

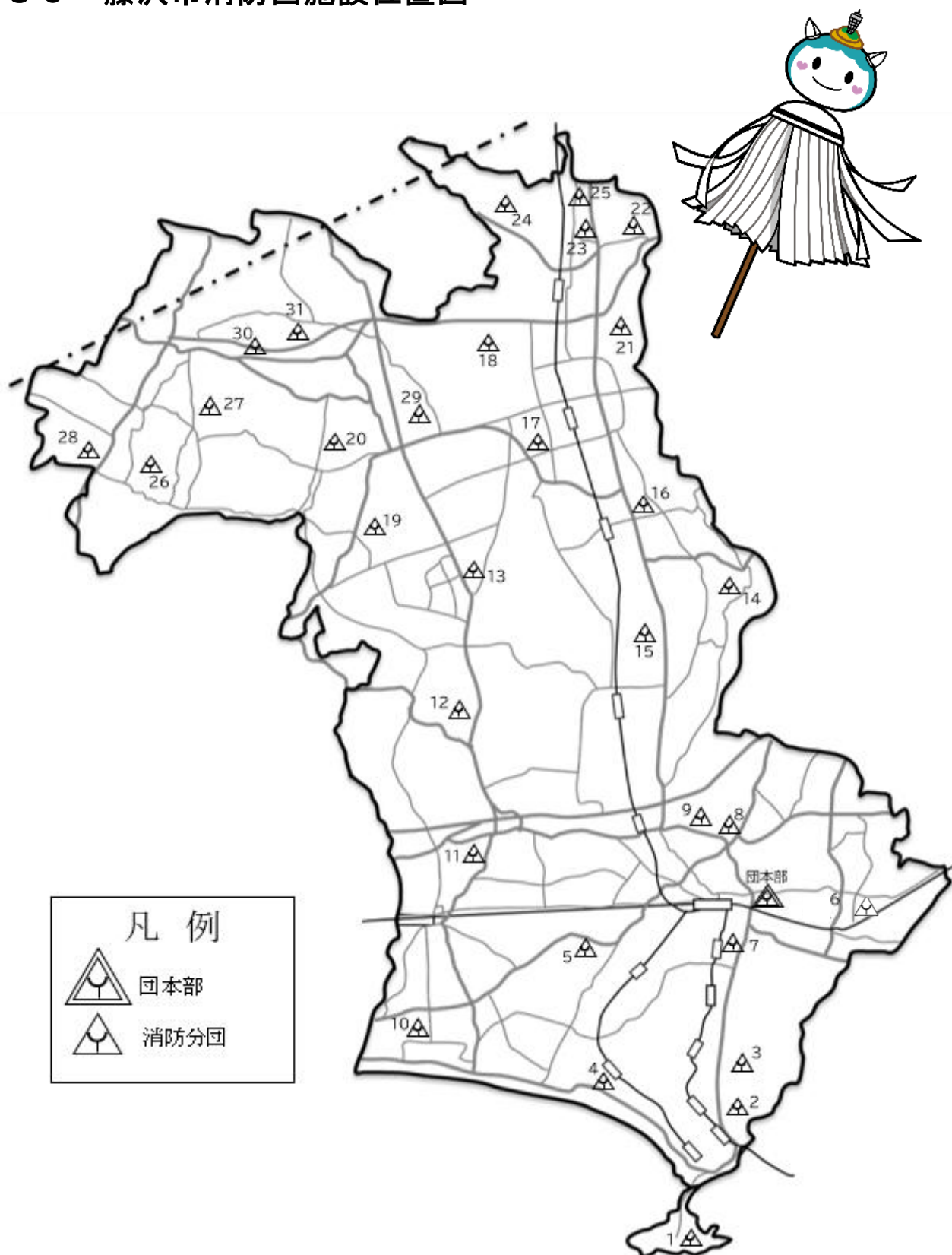
明治41年に鵠沼、明治村を合併して、藤沢町が発足されると同時に藤沢町消防組が組織され、昭和14年の警防団令の公布と同時に消防組と自主的に設置された防護団とを統合して警防団が組織された。その後、昭和15年に市制が施行され藤沢市警防団と改名、また、昭和22年の消防団令の公布により警防団から消防団になり、現在は、1団、31個分団（可搬ポンプ積載車31台）、定員504人（機能別消防団員含む）の組織となる。

消防団は、『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護の精神により、平常時や大規模災害発生時における災害活動に加えて、国民保護法による任務を行うなど、様々な活動に従事している。

7 9 藤沢市消防団組織図



80 藤沢市消防団施設位置図



8 1 施設及び車両

2026.4.1現在

施設名称	所在地	施設外観	車両	総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
					長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)
第1分団器具置場	江の島		小型動力ポンプ積載車	3,200	489	169	239
第2分団器具置場	片瀬 (片瀬分遣所)		小型動力ポンプ積載車	3,820	513	170	238
第3分団器具置場	片瀬		小型動力ポンプ積載車	3,580	515	171	238
第4分団器具置場	鵜沼海岸		小型動力ポンプ積載車	3,900	512	170	238
第5分団器具置場	本鵜沼 (荏田出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,000	514	169	223
第6分団器具置場	村岡東		小型動力ポンプ積載車	3,200	501	169	236
第7分団器具置場	鵜沼石上		小型動力ポンプ積載車	3,740	519	171	232
第8分団器具置場	西富		小型動力ポンプ積載車	2,940	490	169	230
第9分団器具置場	藤沢 (本町出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,200	501	169	236
第10分団器具置場	辻堂西海岸 (辻堂出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,880	519	171	232
第11分団器具置場	羽鳥		小型動力ポンプ積載車	3,180	514	169	220
第12分団器具置場	大庭		小型動力ポンプ積載車	2,960	530	169	220
第13分団器具置場	石川		小型動力ポンプ積載車	2,960	530	169	220
第14分団器具置場	西俣野		小型動力ポンプ積載車	3,710	520	170	238
第15分団器具置場	亀井野		小型動力ポンプ積載車	3,270	514	169	223
第16分団器具置場	亀井野 (六会出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,710	520	170	238

施設名称	所在地	施設外観	車両	総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
					長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)
第 1 7 分団器具置場	湘南台		小型動力ボンプ積載車	3,240	514	169	220
第 1 8 分団器具置場	下土棚		小型動力ボンプ積載車	3,200	489	169	239
第 1 9 分団器具置場	遠藤		小型動力ボンプ積載車	3,000	514	169	223
第 2 0 分団器具置場	遠藤		小型動力ボンプ積載車	3,570	515	171	238
第 2 1 分団器具置場	高倉		小型動力ボンプ積載車	3,000	514	169	223
第 2 2 分団器具置場	高倉		小型動力ボンプ積載車	3,530	519	171	232
第 2 3 分団器具置場	長後		小型動力ボンプ積載車	3,900	512	170	238
第 2 4 分団器具置場	長後 (長後出張所)		小型動力ボンプ積載車	3,590	515	171	238
第 2 5 分団器具置場	長後		小型動力ボンプ積載車	3,000	515	169	221
第 2 6 分団器具置場	瀬郷		小型動力ボンプ積載車	3,000	515	169	221
第 2 7 分団器具置場	打戻		小型動力ボンプ積載車	3,530	519	171	232
第 2 8 分団器具置場	宮原		小型動力ボンプ積載車	3,210	514	169	223
第 2 9 分団器具置場	菖蒲沢		小型動力ボンプ積載車	3,630	515	171	238
第 3 0 分団器具置場	用田 (御所見出張所)		小型動力ボンプ積載車	3,010	489	179	227
第 3 1 分団器具置場	葛原		小型動力ボンプ積載車	3,710	520	170	238

8 2 消防団員産業別状況

2026.4.1現在

産業別 消防団	団 員 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	給電・ 気・ガス・ 水道・熱 供給業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業 ・ 飲 食 店	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	日 本 郵 政 グ ル ー プ 職 員	公 務 員 (国家公務員)	公 務 員 (地方公務員)	準 特 殊 法 人 等 公 務 員 に 属 す る 職 員	分 類 不 能 の 産 業	そ の 他	大 学 生	専 門 学 校 生
合 計	450	62	3	3		66	46	9	34	49	8	14	67	1	1	20	4	1	48	12	2
団本部	4					2	1				1										
(機能別)	27	2	1			4	2			2	1		7			1			7		
第1分団	28			1			2		3	13			7				1		1		
第2分団	19					5			2	3		1	5			1			1	1	
第3分団	20			1		7	2	1	3	3			1					1	1		
第4分団	19	1				4	1		1	1	1		1						8	1	
第5分団	17					7		1	1	1		2					1			4	
第6分団	15	2	2			1	1		1	2	1	2	1			1			1		
第7分団	16					1	2		4		1	2	6								
第8分団	15					4			5				5						1		
第9分団	15					4	1	2	1	1			3		1	1				1	
第10分団	21			1		4	4			2			3			3			2	1	1
第11分団	14					6	1		1				3				1		1	1	
第12分団	13	2					1		2				4			1			3		
第13分団	15	2				2	3		2	1		1	3							1	
第14分団	12	9														1			2		
第15分団	5	2							1							1				1	
第16分団	14	3				3				3	1	1	2						1		
第17分団	12					2	1			1	1	3	1			2					1
第18分団	10	2				1		1	1	1						2			2		
第19分団	11	6				1		1				1	1			1					
第20分団	14	3					4			3			2			1				1	
第21分団	15	4				2	1		1	2			2			1			2		
第22分団	10	1				1	3						1						4		
第23分団	16					1	2	1	2	6	1					1			2		
第24分団	14	6					1		1				2			2			2		
第25分団	14	3				1	4			1			3	1					1		
第26分団	5	3						1				1									
第27分団	15	5					3			2			3				1		1		
第28分団																					
第29分団	14	2				2	3	1	1				1						4		
第30分団																					
第31分団	11	4				1	3		1	1									1		

8 3 消防団員基本報酬

2026.4.1現在

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
84,800円	70,400円	58,700円	49,500円	43,000円	38,400円	36,500円

※機能別消防団員（大規模災害団員）を除く

8 4 消防団員出場報酬

2026.4.1現在

区 分		支 給 単 位	金 額
訓練、研修、行事等に出場した場合	機能別消防団員 (音楽団員)	1日	4,000円
	その他の者	1時間	1,400円
水火災その他の災害に出場した場合			1,700円

8 5 過去5年間消防団員の入団・退団・定数状況

年 度	定 数	入 団	退 団
2021年	504	32	41
2022年	504	26	32
2023年	504	30	33
2024年	504	32	25
2025年	504	32	23

8 6 消防団員勤続年数状況

2026.4.1現在

区 分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合 計	450	1	3	29	29	35	58	295
1 年 未 満	34							34
1年以上5年未満	88				1	1	4	82
5年以上10年未満	67			1	4	4	9	49
10年以上15年未満	77			11	7	11	14	34
15年以上20年未満	73			6	4	5	17	41
20年以上25年未満	58	1	2	2	8	6	9	30
25年以上30年未満	33			5	1	5	4	18
30年以上35年未満	11			2	2	3	1	3
35 年 以 上	9		1	2	2			4

8 7 消防団員年齢状況

2026.4.1現在

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計	450	1	3	29	29	35	58	295
18歳以上20歳未満	4							4
20歳以上25歳未満	23						1	22
25歳以上30歳未満	18			1				17
30歳以上35歳未満	17			1	1	1	4	10
35歳以上40歳未満	43			2	5	4	4	28
40歳以上45歳未満	73			5	7	6	13	42
45歳以上50歳未満	87		1	6	3	10	14	53
50歳以上55歳未満	70			1	2	3	9	55
55歳以上60歳未満	53	1		4	5	6	10	27
60歳以上	62		2	9	6	5	3	37

8 8 女性・学生等消防団員数

2026.4.1現在

区分	学生以外	学生	合計
男性	414	12	426
女性	22	2	24
合計	436	14	450



市操法大会



幼児防災教育

8 9 消防団の活動状況

2 0 2 5 . 4 . 1 ~ 2 0 2 6 . 3 . 3 1

区分 月別	災害出動		訓練・点検		その他		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
4月	6	33	61	438	64	109	131	580
5月	10	57	139	973	48	103	197	1,133
6月	3	10	182	1,657	6	25	191	1,692
7月	17	109	118	1,059	25	64	160	1,232
8月	2	9	70	450	40	69	112	528
9月	11	60	68	462	44	172	123	694
10月	3	18	70	477	40	116	113	611
11月	8	36	82	437	59	230	149	703
12月	16	71	71	427	119	421	206	919
1月	5	43	92	668	11	44	108	755
2月	4	31	93	497	31	42	128	570
3月	3	18	65	448	37	82	105	548
合計	88	495	1,111	7,993	524	1,477	1,723	9,965



第6分団 開所式



実災害想定訓練

12 その他



90 藤沢火災史

寛政9年（1797年）11月29日の夜、領家（本町四丁目）の米屋権七より出火した火事は、東海道の北側中之町（本町三丁目）の池田屋儀兵衛までを焼き、南側はわずか田畑辺に5、6軒を残して翌朝6時になって漸く鎮火した。

文政3年（1820年）2月8日台町（本町五丁目）風早山真源寺より出火、折からの南風にあおられた火の手は西方台町から白旗横町の両側を焼失した。

天保2年（1831年）12月27日の夜7時に内出町より出火、折からの南風にあおられ、東海道の北側坂戸町（本町二丁目）の庄屋新右衛門、南側は神奈川屋から東は大久保の大橋（遊行寺橋）までの両側を焼失し、遂に藤沢山客殿合所念仏堂末寺の二ヶ寺も焼失した。

天保7年（1836年）12月13日午後5時頃、陣屋小路の津村屋次郎より出火、折からの強い風にあおられて陣屋小路、内出通りを全焼し、東海道の北側の本陣までと、南側は本陣源右衛門より2、3軒先まで焼き、東方は大久保北側の問屋までと、南側は近江屋（森地喜兵衛）まで焼失した。当時の藤沢宿の町名は、現在の町内を4、5町程包含して呼ばれていた。坂戸町は台町、白旗横町、領家、仲之町、永勝寺横町、大久保町は仲久保町、栄町、旅籠町、内出町、茅場町、陣屋小路、大鋸町は大鋸（広小路）、舟久保端光町、藤沢嶺は西富（西村）、山谷等である。

嘉永3年（1850年）9月29日夜6時に台町より出火（出火場所不明）した火事は、仲町、永勝寺横町を焼き、西方は大之町坂屋伊衛門で止まり、東方は、広瀬藤右衛門（伊賀屋）で漸く止まった。

嘉永4年（1851年）12月3日夜8時に坂戸町和田七郎右衛門裏手より出火する。

弱い北風であったが、東海道の北側西方の加藤甚右衛門、東方は、湯屋南側で、西方は吉田屋幸四郎、東方は角屋にて止まり、内出町加藤長屋を焼失した。

明治12年（1879年）11月16日の夜中の1時頃、鈴木茂右衛門（伊勢屋）

現在本荘林平氏裏手より出火する。折からの強風は西から吹き火の手は燃え広がり、東海道の西仲之町大阪屋伊右衛門まで、南側は田村佐兵衛まで、そして東仲之町は全焼し、西坂戸町の南側森地嘉兵衛（近江屋）まで、北側は平野彦四郎で焼失し、日蓮宗妙善寺本堂なども焼失し、俗に伊勢茂火事と呼ばれた。

明治13年（1880年）11月26日夜2時頃、西風の烈風の折から東坂戸町大

川喜右衛門裏手物置から出火した火の手は、陣屋小路、栄町、仲久保、旅籠町、西富町、大鋸町を焼き、遠くは柄沢部落まで飛火した。遊行寺伽藍七ヶ、末寺感応院も焼失した。この火事は俗に大川火事と言われた。

明治18年（1885年）11月29日夜2時頃、坂戸町の仲屋長右衛門裏手より

出火した。栄町の南側、川上久兵衛と北側の稲元屋喜兵衛より西方坂戸町南側の加藤甚右衛門まで焼失し、俗に中長火事と呼ばれた。

明治42年（1909年）吾楽町大火

大正12年（1923年）関東大震災

昭和20年（1945年）12月18日7時15分頃、辻堂駅構内で爆発があり、多数の被害及び犠牲者をもたらした災害となった。

当時太平洋戦争の終結により進駐軍が日本製の弾薬を接收し国鉄辻堂駅貨物列車停車場に弾薬を満載した有蓋貨車（15 t 車）50輦を集結させ、他へ輸送すべく貨車3輦の入替作業中、貨車2輦から突然煙を吐き、貨車3輦（45 t）の弾薬が大爆発し一瞬の間に辻堂駅前商店街及び駅北側工場等の建物が吹き飛び、飛び散った火薬で火災が発生し、死者8人、重傷者7人、軽傷者多数が発生、住宅の被害、全焼14戸、全壊63戸、半壊335戸、その他山本鋳業(株)工場1棟、松下乾電池工場1棟、吉田製作所工場4棟の計6棟が全壊した。

9 1 自治体消防発足以来の火災状況

年 次		人 口	世 帯 数	1万人	火 災	損 害 額
西 暦	元 号	12月1日調（29年以前は10月1日調）		出火率	件 数	（万円）
1948年	昭和23年	78,759	17,451	4.4	35	882
1949	24	82,679	17,867	4.0	33	1,148
1950	25	84,581	17,735	3.9	33	1,163
1951	26	86,407	18,002	4.2	36	1,935
1952	27	89,464	18,677	2.1	19	665
1953	28	92,013	19,370	3.4	31	3,841
1954	29	94,481	20,114	3.2	30	2,929
1955	30	109,750	22,694	5.0	55	1,678
1956	31	112,095	23,698	6.1	68	332
1957	32	115,054	24,650	6.9	79	7,332
1958	33	117,735	25,584	7.7	91	4,500
1959	34	120,990	26,732	5.0	60	2,244
1960	35	125,968	28,493	4.1	52	902
1961	36	132,027	30,460	5.5	72	2,040
1962	37	140,138	33,371	7.2	101	11,069
1963	38	148,524	35,562	5.7	85	1,458
1964	39	164,117	40,117	8.5	139	3,815
1965	40	181,027	45,768	9.8	178	11,803
1966	41	192,326	49,414	7.3	141	3,489
1967	42	201,135	51,823	7.9	158	12,411
1968	43	211,557	55,285	6.6	139	5,654
1969	44	222,018	59,201	6.2	138	4,513
1970	45	231,022	63,121	8.7	200	15,015
1971	46	240,026	65,958	7.0	168	10,148
1972	47	246,447	68,450	5.9	146	9,592
1973	48	253,586	71,144	6.4	162	22,849
1974	49	260,299	73,554	4.4	114	7,546
1975	50	267,308	77,888	5.6	149	12,911
1976	51	272,886	79,513	2.9	80	13,889
1977	52	280,728	81,954	4.1	115	21,273
1978	53	288,361	84,170	3.3	95	47,361
1979	54	295,227	86,267	2.9	85	14,361
1980	55	301,948	97,176	3.7	112	16,764

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積(㎡)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
33	3,021					2			
30	662	3						3	3
28	1,390	4	1					1	1
30	1,835	2				4		4	4
17	604	1				1		1	1
27	3,278	2	1			1		5	5
19	1,115	3	5	1		2		1	1
35	1,449	4	6		1	9	3	5	8
40	439	15	6	1		6			
54	3,556	12	6			7		7	7
57	4,687	14	9			11		5	5
48	1,801	3	6	1		2	1	3	4
38	670	8	5			1		7	7
55	4,336	7	7			3	1	4	5
71	9,787	12	17	1				22	22
55	1,988	11	9			10		1	1
78	4,178	26	15	1		19		9	9
90	8,438	57	11			20	1	14	15
81	2,343	34	16			10		7	7
89	3,805	40	18			11	1	9	10
67	2,521	42	17			13		4	4
73	1,907	34	12			19	1	7	8
88	6,664	16	9			87	5	10	15
79	2,992	14	12			63	1	14	15
80	3,140	9	12			45	5	11	16
84	4,207	8	12			58	8	8	16
75	1,752	7	6			26	1	8	9
86	2,156	4	10			49	4	12	16
46	1,169	2	10	1		21	2	12	14
76	3,362	2	6			31	5	12	17
62	5,117	2	13			18	3	21	24
68	1,606	3	7			7	3	11	14
86	3,542	3	4			19	2	11	13

年次		人 口	世 帯 数	1万人 出火率	火 災 件 数	損 害 額 (万円)
西 暦	元 号	12月1日調（29年以前は10月1日調）				
1981	56	308, 157	99, 096	5. 1	156	35, 979
1982	57	313, 633	101, 050	3. 0	95	11, 891
1983	58	318, 587	102, 414	4. 3	136	20, 534
1984	59	323, 440	104, 584	4. 2	136	13, 521
1985	60	329, 297	108, 973	3. 4	112	22, 070
1986	61	334, 752	112, 153	4. 2	139	50, 736
1987	62	338, 331	114, 250	2. 8	95	15, 022
1988	63	342, 753	117, 095	2. 7	94	9, 076
1989	平成元年	347, 486	120, 733	2. 3	79	10, 867
1990	2	351, 317	124, 820	2. 7	95	15, 546
1991	3	355, 684	128, 774	2. 2	80	48, 171
1992	4	359, 784	131, 826	2. 1	74	14, 213
1993	5	362, 661	134, 505	2. 9	104	28, 974
1994	6	366, 441	137, 022	2. 2	80	39, 793
1995	7	369, 153	138, 134	3. 2	118	27, 400
1996	8	370, 895	140, 361	2. 5	93	8, 660
1997	9	373, 950	143, 081	3. 0	111	27, 607
1998	10	376, 109	145, 091	2. 3	86	29, 530
1999	11	377, 834	147, 208	2. 1	80	12, 512
2000	12	379, 547	148, 524	2. 4	92	35, 440
2001	13	383, 689	152, 037	2. 7	103	15, 089
2002	14	388, 408	155, 525	2. 9	111	13, 978
2003	15	391, 342	158, 229	2. 7	107	21, 993
2004	16	393, 344	160, 545	2. 6	103	24, 967
2005	17	396, 475	161, 293	3. 0	118	26, 175
2006	18	398, 964	164, 253	3. 5	136	18, 743
2007	19	402, 490	167, 419	3. 0	120	20, 635
2008	20	405, 600	170, 141	2. 6	104	9, 652
2009	21	407, 430	171, 845	2. 7	109	5, 798
2010	22	410, 258	172, 038	2. 8	113	13, 467
2011	23	414, 327	175, 076	2. 9	119	14, 837
2012	24	416, 867	177, 359	2. 6	106	15, 829
2013	25	418, 267	178, 945	2. 6	110	15, 299

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積(㎡)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
97	4,054	3	12			44	10	16	26
65	1,405	2	11			17	2	10	12
84	2,305	4	12			36	3	19	22
83	1,413	6	16			31	3	17	20
64	2,236	3	18			27	5	28	33
86	2,597	5	16	1		31	5	12	17
76	3,316	1	12			6	6	10	16
72	1,696	1	14			7	6	8	14
58	1,652	2	16	1		2	2	15	17
68	1,755		10			17	2	10	12
62	1,632		13			5	1	14	15
51	1,508		9			14	2	15	17
73	2,897	1	15			15	4	20	24
62	2,503		5			13	4	14	18
69	2,310	2	17			30	5	12	17
61	858	6	10			16	7	15	22
77	2,729	1	20			13	4	22	26
56	1,600	1	17	1		11	1	12	13
52	1,378		22			6	7	11	18
56	3,292		12			24	4	22	26
69	1,637		9			25	5	15	20
65	1,430		20			26	4	16	20
64	2,222		19			24	3	30	33
61	1,770		11			31	4	16	20
76	1,866		15			27	5	34	39
72	980		15			49	3	25	28
79	1,546		16			25	1	43	44
56	1,026		8			40	2	18	20
54	350		17			38	2	16	18
64	915		20			29	3	22	25
57	1,287		19			43	3	12	15
56	923		11			39	5	25	30
64	1,083		8			38	4	19	23

年次		人 口	世 帯 数	1万人 出火率	火 災 件 数	損 害 額 (万円)
西 暦	元 号	12月1日調（29年以前は10月1日調）				
2014	26	420, 180	180, 949	2. 4	101	10, 070
2015	27	424, 538	180, 605	1. 9	81	12, 993
2016	28	427, 044	183, 026	2. 0	86	12, 838
2017	29	429, 202	185, 514	1. 9	83	4, 961
2018	30	431, 752	188, 142	2. 0	86	12, 078
2019	令和元年	434, 716	191, 159	2. 5	108	11, 825
2020	2	437, 664	194, 365	2. 3	101	3, 457
2021	3	441, 423	197, 617	2. 0	87	2, 999
2022	4	443, 770	200, 406	2. 1	95	2, 724
2023	5	443, 795	202, 078	2. 5	113	3, 372
2024	6	443, 696	204, 197	2. 4	106	10, 321
2025	7	443, 283	205, 914	2. 9	127	20, 911
計					7, 887	1, 080, 065
過去10年間の平均数値				2. 3	99. 2	8, 548. 6

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積(m ²)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
47	1,202		6			48	3	20	23
56	914		9			16	1	20	21
55	1,186	3	15			13	7	15	22
41	655		5			37	1	9	10
46	1,848		6			34	2	14	16
57	1,523	4	10	1		36	3	13	16
59	792	1	10			31	1	18	19
49	268	3	6			29		14	14
62	732		2			31	2	13	15
64	568		13			36	2	15	17
58	722		12			36	4	14	18
78	1,068		4			45	2	13	15
4,826	171,166	453	831	10	1	1,766	202	1,020	1,222
56.9	936.2	1.1	8.3	0.1	0.0	32.8	2.4	13.8	16.2

9 2 昭和23年以降の主な火災

発生年月日	名 称	覚知時分	焼損棟数		焼損面積 (㎡)	死者	負傷者
			全焼	半焼			
S 23. 11. 14	辻堂 電気通信事業所	18:00	1		1,449		
24. 12. 30	藤沢 小売店舗	6:50	2		248		
25. 6. 10	片瀬 交通機関営業所	3:50	6	2	845		
25. 12. 9	藤沢 繊維工場（職員負傷後殉職）	23:40	1		52		1
26. 11. 24	鵜沼 公立施設	14:10	1		763		4
28. 2. 3	藤沢 繊維工場	17:42	2		519		2
28. 4. 21	鵜沼 市立小学校	4:25	4		1,053		2
29. 8. 31	藤沢 電気通信事業所	13:20	1		503		
32. 7. 7	辻堂 作業所	21:55	2	1	826		
32. 12. 18	辻堂 製鋼所	21:30	1		745		
33. 2. 24	鵜沼 県立高等学校	3:30	6		2,518		
33. 8. 10	藤沢 小売店舗	12:10	1		977		
34. 9. 29	鵜沼 市立小学校	13:40	1		801		
36. 4. 21	高倉 米軍機事故	9:15	6		422	1	1
36. 9. 11	片瀬 私立学校	5:10		1	1,123		
37. 2. 22	本町 市立小学校	16:50	5		3,099		
37. 12. 3	善行 私立高等学校	22:40	8		3,498		
37. 12. 4	藤沢駅南口商店街	5:30	9	1	1,952		
38. 10. 31	片瀬 市立小学校	19:03	1		797		
39. 3. 27	江の島 旅館	23:00	2	1	868		
39. 8. 19	江の島 旅館	16:25	1		792		3
40. 1. 14	長後 化学工場	14:00	4		285		
40. 1. 20	鵜沼神明 市立中学校	20:05	1		1,117		
40. 2. 16	川名 事業所	15:30	1		783		
40. 4. 6	長後 アパート他	3:50	6		803	1	2
40. 7. 29	鵜沼 作業場	18:10	1		876		1
40. 9. 15	石川 食品加工業	20:40	1		1,126		
40. 12. 6	藤沢 空家	20:25	1		659		
41. 11. 29	片瀬海岸 旅館	6:55	1		419		
45. 1. 14	川名 薬品工場	0:55	17	部分焼 4	2,641		
45. 3. 26	遠藤 製品工場	9:28	1		268		
45. 7. 26	大鋸 倉庫	9:20	1	部分焼 1	219		
45. 11. 11	弥勒寺 印刷工場	16:28	1		416		
45. 12. 20	鵜沼神明 市立中学校	3:40		部分焼 1	124		
45. 12. 30	石川 幼稚園	16:30	1		526		
46. 2. 26	弥勒寺 製品工場	21:45	1		661		

発生年月日	名 称	覚知時分	焼損棟数		焼損面積 (㎡)	死者	負傷者
			全焼	半焼			
47. 2. 16	辻堂 作業所	1:06	1		196		
47. 5. 25	片瀬 作業所	0:46	3		206		
47. 12. 12	藤沢 製菓工場	0:52	1		1, 377		
48. 3. 4	長後 独身寮	18:10	1		164		
48. 7. 21	辻堂 飲食店	1:18	4	2	321		
48. 9. 24	善行 歯科医院(ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ爆発火災)	8:36	4		599	6	6
48. 11. 20	高倉 製ﾊﾟﾝ工場	13:43	1		680		
48. 12. 26	藤沢 小売店舗	20:45	1		372		
49. 1. 25	藤沢 風俗店	23:20	1		223		
51. 1. 31	藤沢 寺院	15:52	1		368		
51. 6. 12	藤沢 大型小売店	14:19		部分焼 1	127		1
52. 1. 8	片瀬海岸 商店街	0:10	2	部分焼 1	257		
52. 7. 22	藤沢 倉庫	19:40	2		703		2
52. 10. 7	円行 倉庫	23:10	1	部分焼 1	316		
52. 10. 13	本町 倉庫	2:15	1	1	554		
53. 4. 10	藤沢 遊技場	22:03	3		796		2
53. 5. 29	辻堂 大型ｽｰﾊﾟｰ	16:50		1	1, 729	1	6
55. 9. 30	辻堂元町 ﾏﾊﾟｰﾄ	0:15	2	2	358		
56. 11. 8	大鋸 染色工場	0:33	2		1, 137		
56. 12. 16	長後 天満宮付近	20:54	2	1	156	3	1
57. 3. 24	鵜沼神明 家畜舎	12:19	2	部分焼 1	209		1
57. 4. 27	藤沢 遊技場	12:30		1	350		
58. 12. 16	片瀬 作業所	13:30	2	1	521		1
60. 2. 11	下土棚 マンション(ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ爆発火災)	10:03		部分焼 1	111		8
60. 5. 8	遠藤 製品工場	15:47		1	687		
61. 3. 4	遠藤 車両製造工場	16:42		部分焼 1	722		
61. 9. 2	土棚 車両製造工場	0:45		部分焼 1	316		
H5. 10. 17	善行坂 建築作業所	3:50	1	部分焼 3	768		
6. 2. 23	片瀬 製品工場	12:20		1	782		
8. 11. 9	鵜沼藤が谷 住宅	1:21	1		162	4	
9. 1. 19	辻堂元町 小売店舗	17:25	4	5	488	1	1
15. 8. 3	亀井野 間伐材集積場(防ぎょ24日間)	16:37			180㎡		
19. 5. 12	大鋸 歴史的建築物	4:48		1	228		
25. 3. 9	藤沢 店舗	23:32	2	部分焼 1	416		
28. 1. 14	土棚 車両製造工場	19:43		部分焼 1	448		

9 3 過去における風水害等

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 29. 3. 20	台風5号	1 家屋被害	倒壊 流出	8棟 14棟	
		2 屋根被害		4件	
31. 9. 27	台風15号	道路被害	埋没 流出 破損	1箇所 5m 1箇所 (6m)	
31. 10. 30	豪雨	家屋被害	全壊住家 流失非住家 半壊住家 床下浸水	2棟 1棟 3棟 15世帯	
33. 7. 23	台風11号	家屋被害	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 部分壊住家 部分壊非住家 床上浸水 流失非住家 床下浸水	42棟 3棟 69棟 14棟 36棟 1棟 15棟 11棟	災害対策本部設置
33. 9. 18	台風21号	1 家屋被害 2 堤防決壊 3 橋梁流失	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 床上浸水 床下浸水 2箇所 1箇所	2棟 2棟 2棟 4棟 14棟	災害対策本部設置
33. 9. 26	台風22号	1 人的被害 2 家屋被害	死者 全壊住家 全壊非住家 半壊非住家 床上浸水 床下浸水	3人 7棟 9棟 9棟 515棟 1, 713棟	大島西方から江の島 上陸 災害対策本部設置
34. 9. 26	台風15号	家屋被害	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 部分壊住家 部分壊非住家 床上浸水 床下浸水	22棟 2棟 7棟 20棟 19棟 4棟 5棟	災害対策本部設置

年月日	種別	被害の状況		摘要
昭和 36. 6. 28	台風6号	1 人的被害	死者 2人 負傷者 3人	降雨量 267. 0mm 救助法適用 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊住家 6棟 半壊住家 22棟 床上浸水 323棟 床下浸水 1, 573棟	
36. 9. 16	台風18号	1 家屋被害	全壊 2棟 半壊 34棟	災害対策本部設置
		2 堤防決壊	7箇所 護岸 5 防湖堤 1 防波堤 1	
40. 6. 27	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 12棟 床下浸水 262棟	災害対策本部設置
		2 崖崩れ	15箇所	
		3 道 路	決壊及び洗堀 14箇所	
40. 8. 21	台風17号	施設被害	1箇所	
40. 9. 17	台風24号	1 家屋被害	全壊 1棟 半壊 1棟 床上浸水 6棟 床下浸水 17棟 非住家被害 57棟 一部破損 45棟 学校関係 17箇所	災害対策本部設置
		2 道路被害	決壊及び洗堀 8箇所	
		3 橋梁流失	1箇所	
		4 堤防決壊	5箇所	
		5 山崖崩れ	5箇所	
41. 6. 28	台風4号	1 人的被害	重傷者 1人 軽傷者 4人	降雨量 6. 27午後9時～ 6. 28午後7時まで 306. 5mm 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊 6棟 半壊 2棟 一部破損 4棟 床上浸水 283棟 床下浸水 479棟 非住家 4棟	
		3 田畑の被害	田流失 埋没 11. 7ha 田冠水 288. 9ha 畑流出 埋没 冠水 0. 7ha	
		4 学校及び公民館被害	4箇所	
		5 道路被害	4箇所	
		6 橋梁流失	3箇所	
		7 堤防決壊	18箇所	

年月日	種別	被害の状況				摘要
昭和 41. 6. 28	台風4号	8	農業用施設	6箇所		
		9	崖崩れ	41箇所		
41. 9. 24	台風26号	1	人的被害	軽傷者	1人	降雨量 9. 24午後6時～ 9. 25午前3時まで 85. 3mm 災害対策本部設置
		2	家屋被害	全壊	1棟	
				半壊	24棟	
				一部破損	24棟	
				床上浸水	1棟	
				床下浸水	2棟	
				非住家	72棟	
		3	田畑の被害	水稻倒伏	196. 84ha	
				陸稲倒伏	163. 85ha	
		4	学校，公民館，	保育園その他		
		45箇所				
	5	道路被害	8箇所			
	6	橋梁流失	1箇所			
	7	堤防決壊	3箇所			
43. 7. 6	集中豪雨	1	家屋被害	半壊	1棟	降雨量 7. 6午前0時～ 午後0時まで 98. 0mm 最高時雨量30. 0mm (午前4時～5時)
				床上浸水	6棟	
				床下浸水	17棟	
		2	橋梁流失	1箇所		
		3	崖崩れ	6箇所		
44. 6. 2	集中豪雨	家屋被害	半壊	2棟	降雨量 6. 25午後5時～ 6. 26午後0時まで 94. 0mm	
			一部破損	17棟		
45. 5. 2	集中豪雨	1	家屋被害	一部破損	1棟	降雨量 5. 20午後6時～ 午後11時まで 75. 0mm
				床下浸水	13棟（16世帯）	
		2	堤防決壊	1箇所		
		3	崖崩れ	2箇所		
45. 6. 14 ～6. 16	集中豪雨	1	家屋被害	床下浸水	6棟	降雨量 6. 14午後6時～ 6. 16午後3時まで 149. 0mm
		2	堤防決壊	1箇所		
		3	崖崩れ	3箇所		
45. 7. 1	集中豪雨	1	家屋被害	床上浸水	31棟（38世帯）	降雨量 7. 1午前0時～ 7. 2午前1時まで 125. 0mm 最高時雨量42. 0mm (7. 1午前9時～ 10時) 災害対策本部設置
				床下浸水	48棟（59世帯）	
		2	橋梁流失	1箇所		
		3	堤防決壊	4箇所		
		4	崖崩れ	4箇所		

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 46. 3. 7	落石事故	人的被害	死者	1人	江の島岩屋入り口
			負傷者	8人	
46. 8. 31	台風23号	1 家屋被害	一部破損	1棟	降雨量 8. 30午後7時～ 8. 31午後4時まで 96. 1mm 最高時雨量30. 0mm (8. 31午前5時～ 午前6時) 災害対策本部設置
			床上浸水	31棟	
			床下浸水	48棟	
		2 田畑の被害	田水稻倒伏	29ha	
			陸稲倒伏	9. 9ha	
		3 堤防決壊	4箇所		
		4 鉄道の不通	1箇所 (藤沢駅～藤沢本町駅間)		
		5 崖崩れ	5箇所		
46. 10. 12	秋雨前線	崖崩れ	1箇所		降雨量 10. 9午後10時～ 10. 14午後0時まで 116. 0mm
47. 2. 14	突風雨	1 人的被害	軽傷者	1人	
		2 家屋被害	全壊	3棟	
			半壊	1棟	
			一部破損	21棟	
			床上浸水	2棟 (2世帯)	
			床下浸水	4棟 (4世帯)	
47. 3. 20	強風	家屋被害	全壊	3棟	
			半壊	1棟	
			一部破損	13棟	
47. 7. 11	集中豪雨	家屋被害	床下浸水	2棟 (2世帯)	降雨量 7. 10午前2時～ 7. 11午後10時まで 75. 5mm
47. 7. 15	台風6号	1 人的被害	死者	1人	降雨量 7. 14午後9時～ 7. 15午後0時まで 162. 0mm
		2 家屋被害	一部破損	5棟	
			床上浸水	4棟 (4世帯)	
			床下浸水	3棟 (25世帯)	
47. 9. 16	台風20号	1 家屋被害	一部破損	1棟	降雨量 9. 14午後11時～ 9. 17午前1時まで 236. 5mm
			床上浸水	15棟 (16世帯)	
			床下浸水	34棟 (48世帯)	
		2 道路決壊	2箇所		
		3 堤防決壊	3箇所		
		4 崖崩れ	5箇所		

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 48. 11. 10	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 157棟 (124世帯) 床下浸水 194棟 (183世帯) 住宅以外浸水 66棟		降雨量 11. 10午前9時～ 11. 11午前0時まで 226. 0mm 災害対策本部設置
49. 7. 8	集中豪雨	家屋被害	床上浸水 154棟 (187世帯) 床下浸水 206棟 (228世帯)		降雨量 7. 8午前0時～ 午前9時まで 153. 0mm 災害対策本部設置
49. 9. 1	台風16号	1 家屋被害 2 崖崩れ 3 堤防決壊	床上浸水 3棟 (3世帯) 床下浸水 6棟 (6世帯) 2箇所 1箇所		降雨量 8. 31午前2時～ 9. 1午後5時まで 55. 0mm
50. 7. 4	集中豪雨	家屋被害	床下浸水 3棟 (3世帯)		降雨量 7. 4午前0時～ 午後5時まで 98. 5mm
50. 10. 5	台風13号	家屋被害	床下浸水 14棟 (13世帯)		
50. 10. 8	集中豪雨	1 家屋被害 2 堤防決壊	床下浸水 2棟 (2世帯) 1箇所		降雨量 10. 8午前0時～ 午後1時まで 96. 5mm
51. 7. 11	集中豪雨	1 家屋被害 2 道路冠水	床下浸水 3棟 (3世帯) 4箇所		降雨量 7. 11午前0時～ 7. 12午前4時まで 142. 0mm
51. 9. 9 ～9. 11	台風17号 集中豪雨	1 家屋被害 2 河川損壊 3 崖崩れ 4 道路冠水 5 鉄道の不通	半壊家屋 1棟 床上浸水 14棟 (17世帯) 床下浸水 121棟 (130世帯) 6箇所 17箇所 15箇所 1箇所 (小田急藤沢本町駅～善行駅間)		降雨量 9. 9～9. 11まで 120. 0mm 災害対策本部設置
52. 9. 1	台風9号	家屋被害	床下浸水 13棟		降雨量 125. 0mm
52. 9. 19	台風11号	家屋被害	床下浸水 9棟		降雨量 9. 19午前9時～ 午後5時まで 125. 0mm

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 54. 10. 18 ～10. 19	台風20号	1 人的被害	重傷 1人 軽傷 15人		降雨量 10. 18午前2時～ 10. 19午後4時まで 137. 0mm 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊 1棟 (1世帯) 半壊 47棟 (50世帯) 一部破損 101棟 (113世帯) 床下浸水 4棟 (4世帯)		
		3 道路冠水	6箇所		
		4 道路陥没	9箇所		
55. 3. 29 ～3. 30	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 5棟 (5世帯) 床下浸水 11棟 (13世帯)		降雨量 3. 29午後8時～ 3. 30午前7時まで 51. 0mm
		2 道路冠水	5箇所		
		3 崖崩れ	2箇所		
55. 10. 14	台風19号	家屋被害	床上浸水 1棟 (1世帯) 床下浸水 2棟 (2世帯)		降雨量 10. 14午後1時～ 午後10時まで 81. 5mm
56. 7. 22	集中豪雨	家屋損壊	床下浸水 2棟 (2世帯)		降雨量 7. 22午前1時～ 午前3時まで 51. 0mm
56. 10. 22	台風24号	1 家屋被害	床上浸水 143棟 床下浸水 151棟		降雨量 10. 22午前7時～ 10. 23午前0時まで 186. 0mm 最多時雨量30. 0mm (午後10時～11時) 災害対策本部設置
		2 道路冠水	14箇所		
		3 道路陥没	5箇所		
		4 路肩の崩れ	17箇所		
		5 崖崩れ	3箇所		
57. 8. 1	台風10号	1 人的被害	重傷者 1人		降雨量 8. 1午前0時～ 8. 2午前2時まで 84. 0mm
		2 建物被害	一部破損 10棟		
		3 道路冠水	1件		
		4 街路樹倒木	429件		
		5 ブロック塀倒壊	2件		
		6 崖崩れ	3件		
57. 9. 12	台風18号	1 家屋被害	半壊 4棟 (4世帯) 一部破損 31棟 (30世帯) 床上浸水 1, 463棟 (1, 749世帯) 床下浸水 504棟 (574世帯)		降雨量 9. 10午前11時～ 9. 12午後6時まで 341. 5mm (南消防署) 411. 0mm (北消防署) 災害対策本部設置
		2 堤防決壊	1箇所		
		3 鉄道の不通	1件 (小田急藤沢駅～長後駅間)		
		4 崖崩れ	11件		

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 57. 9. 12	台風18号	5 道路冠水	25件		
		6 道路陥没	7件		
		7 田畑冠水	105. 7ha		
60. 6. 30 ～7. 1	台風6号	1 家屋被害	半壊 一部破損 床上浸水 床下浸水	2棟（2世帯） 38棟（38世帯） 5棟（5世帯） 25棟（25世帯）	降雨量 6. 30午前0時～ 7. 1午前6時まで 177. 0mm（南消防署） 146. 5mm（北消防署） 7. 1午前3時43分 最大瞬間風速 30. 3m 災害対策本部設置
63. 7. 15 ～7. 16	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	3棟（3世帯）	降雨量 7. 15午後10時～ 7. 16午前6時まで 120. 0mm（南消防署） 114. 0mm（北消防署）
63. 8. 11 ～8. 12	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 床下浸水	13棟（13世帯） 45棟（45世帯）	降雨量 8. 11午前0時～ 8. 12午前11時まで 230. 0mm（南消防署） 239. 5mm（北消防署） 災害対策本部設置
平成 1. 4. 8 ～4. 9	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 床下浸水	49棟（49世帯） 76棟（76世帯）	降雨量 4. 8午前4時～ 4. 9午前3時まで 133. 0mm（南消防署） 162. 5mm（北消防署）
1. 7. 31 ～8. 2	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	2棟（2世帯）	降雨量 7. 31午前2時～ 8. 2午前7時まで 176. 0mm（南消防署） 149. 0mm（北消防署）
1. 9. 19 ～9. 20	台風22号	1 家屋被害	床下浸水	2棟（2世帯）	降雨量 9. 19午前7時～ 9. 20午前7時まで 78. 5mm（南消防署） 68. 0mm（北消防署）
		2 道路冠水	6箇所		

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 2. 8. 8 ～8. 10	集中豪雨 台風11号	1 橋梁被害	落橋1箇所(藤沢橋)	降雨量 8. 8午後7時～ 8. 10午後2時まで 81. 0mm(南消防署) 139. 5mm(北消防署) 最大瞬間風速 23. 3m
		2 海浜施設(海の家)被害	半壊 3棟	
		3 林産被害	街路, 公園樹木の倒木 150本	
		4 道路冠水	5箇所	
		5 停電	遠藤地区50世帯 (8. 10 13:01～17:00) 藤沢・亀井野・湘南台地区 (8. 10 6:29～7:59)	
2. 9. 19 ～9. 20	台風19号	1 非住家被害	全壊 1棟	降雨量 9. 19午後0時～ 9. 20午前9時まで 44. 5mm(南消防署) 34. 0mm(北消防署) 最大瞬間風速 27. 8m
		2 道路冠水	1箇所	
		3 車両被害	3台(倒木による)	
2. 9. 30	台風20号	1 公共建物被害	床上浸水 4棟	降雨量 9. 30午前4時～ 10. 1午前0時まで 195. 5mm(南消防署) 173. 0mm(北消防署) 災害対策本部設置
		2 家屋被害	床上浸水 233棟 床下浸水 259棟	
		3 道路冠水	47箇所	
		4 崖崩れ	7箇所	
		5 橋梁被害	落橋1箇所(鵠沼橋)	
		6 護岸崩壊	1箇所	
		7 田畑被害	21. 33ha冠水	
		8 水産被害	漁船1隻損壊 遊漁船3隻流失不明	
2. 11. 30	台風28号	1 家屋被害	床下浸水 2棟	降雨量 11. 30午前9時～ 12. 1午前0時まで 157. 5mm(南消防署) 187. 5mm(北消防署)
		2 道路冠水	10箇所	
		3 護岸崩壊	1箇所	
3. 9. 18 ～9. 19	台風18号	1 家屋被害	床上浸水 77棟 床下浸水 23棟	降雨量 9. 18午前10時～ 9. 19午後8時まで 252. 0mm(南消防署) 225. 0mm(北消防署)
		2 非住家	床上浸水 12棟 床下浸水 1棟	
		3 護岸決壊	2箇所(境川)	
		4 河川溢水	4箇所(境川, 白旗川)	
		5 道路冠水	27箇所	
		6 田畑被害	41. 1ha冠水	
		7 畜産被害	豚19頭	

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 5. 11. 13 ～11. 14	集中豪雨	1	家屋被害	床上浸水 154棟 床下浸水 175棟	降雨量 11. 13午前8時～ 11. 14午後1時まで 163. 0mm(南消防署) 143. 5mm(北消防署)
		2	非住家被害	床上浸水 74棟	
		3	護岸損壊	3箇所(引地川2, 境川)	
		4	河川溢水	5箇所 (境川, 引地川, 白旗川, 滝川, 不動川)	
		5	道路冠水	41箇所	
		6	田畑被害	ハウス破損等6件	
6. 7. 12	集中豪雨	1	家屋被害	床上浸水 1棟 床下浸水 3棟	降雨量 7. 12午後6時～ 午後8時まで 30. 0mm(南消防署) 40. 5mm(北消防署)
2	道路冠水	6箇所			
6. 7. 18	集中豪雨	1	家屋被害	床上浸水 2棟 床下浸水 3棟	降雨量 7. 18午前0時～ 午後6時まで 67. 5mm(南消防署) 89. 0mm(北消防署)
2	電気施設被害	湘南大庭・鵠沼海岸地区落雷に よる停電(9, 100戸)			
3	道路冠水	6箇所			
6. 8. 20	大雨	1	家屋被害	床上浸水 12棟 床下浸水 8棟	降雨量 54. 5mm(南消防署) 11. 0mm(北消防署)
2	道路冠水	8箇所			
7. 9. 16	台風12号	1	人的被害	重傷者 1人	降雨量 9. 16～9. 17 104. 5mm(南消防署) 113. 0mm(北消防署) 災害対策本部設置
2	建物被害	家屋一部損壊 18棟 学校関係 8棟			
3	公共施設被害	61件 (樹木倒木・保護ネット破損)			
8. 7. 9	台風15号	土砂崩れ	4箇所	降雨量 7. 7午後6時～ 7. 10午後4時まで 247. 5mm(南消防署) 222. 5mm(北消防署)	
8. 7. 21	集中豪雨	1	道路冠水	23箇所	降雨量 7. 21午前0時～ 午前11時まで 139. 5mm(南消防署) 167. 0mm(北消防署)
2	道路陥没, 路面剥離	6箇所			

年月日	種別	被害の状況				摘要
平成 8. 9. 22	台風17号	1	人的被害	軽傷	1人	降雨量 9. 22午前0時～ 午後6時まで 157. 5mm(南消防署) 191. 5mm(北消防署) 災害対策本部設置
		2	建物被害	床下浸水	2棟	
				一部損壊	32棟	
				学校関係	4棟	
				公共施設	14棟	
		3	非住家被害	一部損壊	8棟	
		4	道路陥没	1箇所		
		5	道路冠水	7箇所		
		6	崖崩れ	1箇所		
		7	樹木倒木	72箇所		
		8	農産物等被害	3箇所		
9	工作物被害	14箇所				
10	その他被害	25箇所				
9. 6. 20	台風7号	1	建物被害	一部損壊	9棟	降雨量 6. 20午前0時～ 午後5時まで 96. 0mm(南消防署) 107. 5mm(北消防署)
		2	非住家被害	一部損壊	1棟	
		3	車両被害	一部破損	10台	
		4	工作物等被害	5件		
		5	道路冠水	7箇所		
		6	倒木	25箇所		
9. 8. 25	集中豪雨	1	建物被害	床上浸水	19棟	降雨量 8. 25午後5時～ 午後9時まで 96. 0mm(南消防署) 19. 0mm(北消防署)
				床下浸水	25棟	
				一部損壊	1棟	
		2	非住家被害	床上浸水	4棟	
				床下浸水	4棟	
		3	河川溢水	2箇所		
		4	道路冠水	28箇所		
		5	車両被害	22台(水没)		
6	工作物被害	1件				
7	その他被害	11件				
10. 1. 8	大雪	1	人的被害	5人 (重傷1, 中傷1, 軽傷3)	1. 8午後7時～ 午後10時まで 総積雪 12. 0cm (南消防署)	
		2	倒木	1件		
10. 1. 14	大雪	1	人的被害	7件(10人) (重傷2件, 軽傷8件)	1. 14午前4時～ 午後1時まで 総積雪 9. 5cm (南消防署)	
		2	道路陥没	1件		
		3	倒木	6件		
		4	停電	13:50～15:30 長後高校周辺(250世帯) 16:50～18:30 打戻周辺(690世帯)		

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 10. 7. 30	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	1件(1世帯)	総雨量 36. 0mm(南消防署) 27. 0mm(北消防署)
		2 道路冠水	1件		
10. 8. 28	集中豪雨	1 道路冠水	12件		総雨量 8. 28午前0時～ 午後3時まで 54. 5mm(南消防署) 134. 0mm(北消防署)
		2 車両水没	3件		
10. 8. 30	大雨	1 家屋被害	床下浸水	11件(11世帯)	総雨量 8. 30午前0時～ 午後7時まで 78. 5mm(南消防署) 25. 0mm(北消防署)
		2 道路冠水	6件		
		3 車両水没	1件		
10. 9. 15 ～9. 16	大雨 台風5号	1 家屋被害	一部破損	1件	総雨量 9. 15午後9時～
			床下浸水	3件	9. 16午前9時まで
		2 道路冠水	8件		106. 5mm(南消防署)
		3 道路陥没	1件		126. 5mm(北消防署)
		4 車両水没	3件		
		5 倒木	10件		
11. 7. 21	大雨	1 家屋被害	床上浸水	17件	総雨量 7. 21午後4時～
			床下浸水	14件	午後10時まで
			地下冠水(非住家)	2件	65. 0mm (南消防署)
		2 道路冠水	16件		47. 0mm(北消防署)
		3 車両水没	5件		
		4 その他(断水等)			
			20:15～20:30		
			柄沢, 大鋸の一部		
			断水50世帯		
			減水200世帯		
			(水道管破裂による)		
11. 8. 14	大雨	1 家屋被害	床下浸水	7件	総雨量 8. 14午前0時～
		2 道路冠水	22件		午後5時まで
		3 崖崩れ	1件		144. 0mm(南消防署)
		4 その他	1件		117. 5mm(北消防署)

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 12.7.7 ～7.8	台風3号	1 家屋被害	床下浸水 2件	総雨量 7.7午後7時～ 7.8午前6時まで 151.0mm(南消防署) 119.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	2件	
		3 崖崩れ	1件	
		4 車両水没	1件	
		5 倒木	4件	
		6 その他	停電(2:18～3:38) 藤沢一～五丁目一帯(630世帯)	
12.9.11	大雨	1 家屋被害	床下浸水 2件	総雨量 9.11午前5時～ 午後6時まで 49.5mm(南消防署) 81.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	19件	
		3 車両水没	2件	
12.9.16 ～9.17	大雨	1 道路冠水	15件	総雨量 9.16午前2時～ 9.17午後3時まで 33.5mm(南消防署) 44.5mm(北消防署)
		2 その他	5件	
13.1.27	大雪	1 人的被害	14件(14人) (重傷1, 中傷9, 軽傷4)	総積雪 1.27午前4時～ 午後1時まで 9.5cm(南消防署)
		2 交通事故	3件(6人) (中傷3, 軽傷3)	
		3 その他	停電(9:27～11:00) 弥勒寺二丁目, 村岡東二, 三, 四丁目一帯(約3,700世帯)	
13.8.21	台風11号	1 道路冠水	6件	総雨量 8.21午後1時～ 8.22午後2時まで 136.5mm(南消防署) 137.5mm(北消防署)
		2 倒木	1件	
13.9.10	台風15号	1 道路冠水	3件	総雨量 9.10午前0時～ 9.11午後3時まで 157.0mm(南消防署) 145.5mm(北消防署)
		2 車両水没	1件	
		3 倒木	4件	
14.7.16	台風7号	1 床下浸水	4件	総雨量 7.16午前0時～ 午後0時まで 52.0mm(南消防署) 22.5mm(北消防署)
		2 道路冠水	7件	

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 15. 3. 1	集中豪雨	1 床上浸水	64件	総雨量 3. 1午後3時～ 3. 2午前0時まで 207. 5mm（防災センター） 100. 5mm（北消防署） 最大時雨量 午後10時～11時 53. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	106件	
		3 崖崩れ	3件	
		4 道路冠水	11件	
15. 5. 31	台風4号	1 床上浸水	24件	総雨量 5. 31午前8時～ 午後6時まで 154. 0mm(防災センター) 123. 0mm(北消防署)
		2 床下浸水	15件	
		3 道路冠水	17件	
15. 8. 8	台風10号	1 家屋被害	5件	総雨量 8. 8午後1時～ 午後6時まで 23. 5mm（防災センター）
		2 倒木	2件	
15. 8. 15	集中豪雨	1 床下浸水	1件	総雨量 8. 14午前1時～ 8. 16午後10時まで 336. 0mm（防災センター）
		2 道路冠水	2件	
		3 崖崩れ	1件	
16. 10. 8 ～10. 9	台風22号	1 床上浸水	100件	総雨量 10. 9午前0時～ 午後10時まで 180. 0mm（防災センター）
		2 床下浸水	141件	
		3 道路冠水	22件	
		4 倒木	8件	
		5 崖崩れ	17件	
		6 家屋損壊	5件	
		7 その他	16件	
16. 10. 19 ～10. 20	台風23号	1 床下浸水	18件	総雨量 10. 19午前1時～ 10. 21午前0時まで 193. 0mm（防災センター）
		2 道路冠水	20件	
		3 崖崩れ	4件	
		4 その他	3件	
17. 9. 4	集中豪雨	1 床上浸水	2件	総雨量 9. 4午後10時～ 午後11時まで 53. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	2件	
		3 道路冠水	22件	
19. 7. 29	集中豪雨	1 床上浸水	1件	総雨量 7. 29午後8時～ 午前0時まで 62. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	8件	
		3 道路冠水	12件	

年月日	種別	被害の状況		摘要	
平成 21. 10. 7 ～10. 8	台風18号	1	床下浸水	1件	総雨量 10. 7午前3時～ 10. 8午前9時まで 121. 5mm(防災センター) 91. 5mm(北消防署)
		2	道路冠水	6件	
		3	崖崩れ	1件	
		4	家屋損壊	2件	
		5	倒壊	1件	
22. 12. 2 ～12. 3	集中豪雨	1	床上浸水	2件	総雨量 12. 2午後7時～ 12. 3午前11時まで 82. 0mm(防災センター) 86. 0mm(北消防署)
		2	床下浸水	1件	
		3	道路冠水	29件	
		4	車両水没	3件	
		5	家屋損壊	52件	
23. 9. 21	台風15号	1	家屋損壊	92件	総雨量 9. 21午前0時～ 9. 22午前0時まで 94. 0mm(防災センター) 最大瞬間風速 38. 4m
		2	倒木	23件	
		3	その他	27件	
24. 6. 19	台風4号	1	人的被害	1件(1人) (中傷1)	総雨量 6. 19午後5時～ 6. 20午前0時まで 59. 0mm(辻堂)
		2	倒木	2件	
		3	家屋損壊	16件	
		4	倒壊	1件	
		5	その他被害	2件	
25. 1. 14	大雪	1	人的被害	61件(61人) (軽傷32, 中傷28, 重傷1)	
		2	倒木	2件	
		3	家屋損壊	1件	
		4	その他被害	2件	
25. 4. 6	集中豪雨	1	人的被害	2件(2人) (軽傷1, 中傷1)	総雨量 4. 6午後4時～ 4. 7午前4時まで 97. 0mm(防災センター)
		2	道路冠水	8件	
		3	崖崩れ	1件	
		4	家屋損壊	1件	
		5	その他	1件	
25. 9. 5	集中豪雨	車両水没	1件	総雨量 9. 5午前5時～ 9. 5午後3時まで 20. 5mm(防災センター)	

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 25. 9. 15	台風18号	1 家屋被害	床上浸水 2件 床下浸水 4件 一部損壊 5件		総雨量 9. 15 午前3時～ 9. 15 午前10時まで 127. 5mm(防災センター)
		2 道路冠水	23件		
		3 道路損壊	1件		
		4 河川溢水	1件		
		5 土砂流出	1件		
		6 雨水流入	1件		
		7 その他	7件		
25. 10. 15	台風26号	1 人的被害	1件(1人)		総雨量 10. 15午後0時～ 10. 16午前8時まで 144. 0mm(防災センター)
		2 家屋損壊	4件		
		3 その他	1件		
25. 11. 25	集中豪雨	1 道路冠水	4件		総雨量 11. 25午後10時～ 11. 26午前0時まで 10. 0mm(防災センター)
		2 その他	1件		
26. 10. 5	台風18号	1 家屋被害	床上浸水 57件 床下浸水 73件 一部損壊 1件		総雨量 10. 5午前5時～ 10. 6午前11時まで 272. 5mm(防災センター)
		2 建物地下浸水	1件		
		3 道路冠水	127件		
		4 土砂流出	8件		
		5 道路損壊	9件		
		6 崖崩れ	4件		
		7 通行止め	29件		
		8 車両水損	16件		
		9 船舶被害	20件		
		10 倒木	4件		
27. 7. 3	集中豪雨	1 道路冠水	2件		総雨量 7. 3午前9時～ 7. 4午前0時まで 67. 5mm(北消防署)
27. 8. 17	竜巻	1 家屋損害	一部損壊 22件 その他 9件 非住宅被害 6件		最大瞬間風速 15. 3m
		2 その他	車両損壊 2件		
27. 9. 6	集中豪雨	1 住宅	床下浸水 1件		総雨量 9. 6午後4時～ 9. 7午前7時まで 64. 0mm (防災センター)
		2 道路冠水	7件		

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 27. 9. 8	集中豪雨	1 道路冠水	3 件	総雨量 9. 8午後4時～ 9. 10午後9時まで 105. 5mm(防災センター)
27. 12. 11	集中豪雨	1 道路冠水 2 その他	7 件 1 件	総雨量 12. 11午後5時～ 12. 11午後6時まで 64. 5mm(防災センター)
28. 1. 18	大雪	1 人的被害	6 件(6 人) (重症 1 中等症 4 軽症 1)	
29. 2. 20	強風	1 人的被害	5 件(5 人) (中等症 2 軽症 3)	
29. 6. 21	集中豪雨	1 人的被害 2 物的被害	2 件(2 人) (中等症 1 軽症 1) 2 件 (非住宅一部破損)	総雨量 6. 21 午前 4 時～ 6. 21 午前 11 時まで 36. 0mm(防災センター)
29. 7. 4	集中豪雨	1 物的被害	1 件 (車両水没 1 件)	総雨量 7. 4 午後 8 時～ 7. 4 午後 12 時まで 21. 0mm (防災センター)
29. 8. 1	集中豪雨	1 物的被害	18 件 (床上浸水 3 件 床下浸水 1 件) (道路冠水 10 件) (車両水没 3 件) (道路一部損壊 1 件)	総雨量 8. 1 午後 2 時～ 8. 1 午後 11 時まで 104. 5mm(防災センター)
29. 9. 16 ～9. 18	台風 18 号	1 物的被害	6 件 (倒木 3 件) (電線障害 3 件)	総雨量 9. 16 午後 21 時～ 9. 18 午前 9 時まで 46. 5mm(防災センター)
29. 10. 22 ～10. 23	台風 21 号	1 物的被害	23 件 (床下浸水 7 件) (非住宅被害 5 件) (道路冠水 4 件)	総雨量 10. 22 午前 5 時～ 10. 23 午後 5 時まで 131. 0mm(防災センター)

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 29. 10. 22 ～10. 23	台風 21 号	(防波堤フェンス倒壊 1 件) (倒木 1 件) (電線障害 3 件) (車破損 1 件) (駐車場アスファルト損壊 1 件)		
30. 3. 9	集中豪雨	1 物的被害	5 件 (道路冠水 2 件) (車両水没 2 件) (河川溢水 1 件)	総雨量 3. 9 午前 0 時～ 3. 9 午前 3 時まで 29. 0mm(防災センター)
30. 5. 13	集中豪雨	1 物的被害	1 件 (道路一部損壊 1 件)	総雨量 5. 13 午前 10 時～ 5. 13 午後 10 時まで 47. 0mm(防災センター)
30. 9. 4 ～9. 5	台風 21 号	1 物的被害	5 件 (住宅一部破損 2 件) (非住宅一部破損 1 件) (電線等の切断 2 件)	総雨量 9. 4 午前 5 時～ 9. 5 午前 6 時まで 31. 0mm(防災センター) 最大瞬間風速 26. 4m
30. 9. 30 ～10. 1	台風 24 号	1 物的被害	80 件 (住宅一部破損 47 件) (非住宅一部破損 6 件) (倒木 4 件) (電線等の切断 6 件) (その他 17 件)	総雨量 9. 29 午後 4 時～ 10. 1 午後 0 時まで 45. 0mm(防災センター)
令和 1. 9. 8 ～9. 9	台風 15 号	1 人的被害 2 物的被害	1 件(1 人) (軽症 1) 71 件 (住宅一部破損 38 件) (非住宅一部破損 13 件) (フェンス・堀等の破損 5 件) (電線等の障害 6 件) (倒木 5 件) (道路冠水 1 件) (その他 3 件)	総雨量 9. 8 午前 10 時～ 9. 9 午前 8 時まで 111. 5mm(防災センター) 最大瞬間風速 38. 4m

年月日	種別	被害の状況		摘要
令和 1. 10. 11 ～10. 13	台風 19 号	1 人的被害	2 件(2 人) (軽症 2)	総雨量 10. 11 午後 4 時～ 10. 13 午前 6 時まで 203. 0mm(防災センター) 最大瞬間風速 37. 6m
		2 物的被害	74 件 (住宅一部破損 24 件) (非住宅一部破損 10 件) (フェンス・堀等の破損 1 件) (電線等の障害 6 件) (倒木 13 件) (道路冠水 2 件) (その他 18 件)	
3. 3. 13	大雨	1 物的被害	7 件 (床下浸水 1 件) (道路冠水 6 件)	総雨量 3. 13 午後 1 時～ 3. 13 午後 6 時まで 77. 5mm(防災センター)
3. 7. 1 ～7. 4	大雨	1 物的被害	10 件 (倒木 2 件) (床下浸水 1 件) (道路冠水 1 件) (フェンス及び塀等の破損 1 件)	総雨量 7. 1 午前 1 時～ 7. 4 午後 10 時まで 331mm(防災センター)
3. 10. 1 ～10. 2	台風 16 号	1 人的被害	3 件(3 人) (中等症 2 軽症 1)	総雨量 10. 1 午前 3 時～ 10. 2 午前 4 時まで 71mm(防災センター)
3. 12. 1	大雨	1 人的被害	2 件(2 人) (軽症 2)	総雨量 12. 1 午前 3 時～ 12. 1 午前 8 時まで 39. 5mm(防災センター)
		2 物的被害	8 件 (住宅一部破損 1 件) (道路冠水 7 件)	
4. 10. 7	大雨	1 物的被害	2 件 (床下浸水 1 件) (床上浸水 1 件)	総雨量 10. 7 午後 2 時～ 10. 7 午後 6 時まで 66. 5mm(防災センター)

年月日	種別	被害の状況		摘要
5.6.2 ～6.3	台風2号	1 物的被害	7件 (住宅一部破損3件) (非住宅一部破損2件) (その他2件)	総雨量 6.2 150.5mm(長後) 6.3 70.0mm(防災センター)
5.9.15	大雨	1 物的被害	8件 (床下浸水1件) (住宅一部破損1件) (その他6件)	総雨量 9.15 58.0mm(防災センター)
6.2.5 ～2.6	大雨	1 物的被害	1件 (その他1件)	総雨量 2.5 11.5mm(防災センター)
6.6.28	大雨	1 物的被害	1件 (その他1件)	総雨量 6.28 104.0mm(長後)
6.8.16	台風7号	1 人的被害 2 物的被害	1件(1人) (軽症1) 1件 (その他1件)	総雨量 8.16 49.5mm(防災センター)
6.8.29 ～9.2	台風10号	1 物的被害	29件 (床上浸水1件) (床下浸水7件) (その他21件)	総雨量 8.30 115.0mm(長後)
7.5.2	大雨	1 物的被害	1件 (その他1件)	総雨量 5.2 57.0mm(防災センター)

消 防 年 報

2026年(令和8年)版

発 行 藤 沢 市 消 防 局

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
T E L 0466(25)1111(代)

編 集 藤沢市消防局 警防課
情報指令センター

発 行 日 2026年(令和8年)8月